

## VI 医学研究所

平成28年4月1日～平成29年3月31日における研究発表は、書籍55件、学術雑誌205件、学会493件、研究会261件、その他の講演217件、院内集談会138件、一般向け誌上・講演32件であった。また、国際学会での発表等は、台湾、カナダ、イタリア、韓国、アメリカ、フランス、モンゴル、スペイン、ドイツ、ポルトガル、南アフリカ、タイ、オーストリア、中国、ベトナムの15カ国、海外出張は55件であった。なお、科の配列順は機構図に基づいて並べ、院外の発表者・協力者には名前の右上に数字を付し、科毎の最後にその所属を凡例として記載した。

### 消化器内科

#### ◇学術雑誌

(欧文)

1. Okano A, Kato S, Ohana M: Helicobacter pylori-negative gastric cancer: advanced undifferentiated adenocarcinoma located in the pyloric gland area, *Clinical Journal of Gastroenterology* 2017; 10(1): 13-17.
2. Miyajima S, Okano A, Ohana M: Immunoglobulin G 4-related hepatic inflammatory pseudotumor invading the abdominal wall, *Clinical Journal of Gastroenterology* 201; 10(1): 57-62.
3. Isizu S<sup>1</sup>, Setoyama T<sup>1</sup>, Ueo T, Kodama Y<sup>1</sup>, Ida H<sup>1</sup>, Kawaguchi Y<sup>1</sup>, Yoshizawa A<sup>1</sup>, et al: Concomitant case of intraductal papillary neoplasm of the pancreas and functioning pancreatic neuroendocrine tumor (vasoactive intestinal tumor): first report, *Pancreas* 2016; 46(6): e 24-25.

(邦文)

4. 宮島真治, 吉川貴章, 岡部 誠, 南 竜城, 丸岡隆太郎, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永聡, 久須美房子, 大花正也: 十二指腸乳頭部への露出を伴う広範な主膵管内進展を呈した膵神経内分泌腫瘍の1切除例, *Gastroenterological Endoscopy* 2016; 58(10): 2154-2160.
5. 宮島真治, 沖永 聡: ジアルジア症を合併し、消化管穿孔を来した高齢女性腸結核の1例, *日本高齢消化器病学会誌* 2017; 19(2): 103-108.

#### ◇学会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Ohana M, Tomimatsu H: CT enterography with polyethyleneglycol electrolyte solution for diagnosis of Crohn's disease in Japanese patients. *Asian Pacific Digestive Disease Week* 2016, 2016. 11. 4, Kobe(Japan)

一般演題（ポスター）

2. Yoshikawa T: Lymph node metastasis from predominantly differentiated-type mucosal gastric adenocarcinoma with alpha-fetoprotein-producing tumor cells. Asian Pacific Digestive Disease Week 2016, 2016. 11. 4, Kobe (Japan)

(国内学会)

一般演題（口演）

3. 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: EUS-FNAにより傍大動脈周囲リンパ節転移を伴う胆嚢小細胞癌と診断しえた一例. 第96回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016. 6. 11, 大阪
4. 小澤智美, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: EUS-FNAで異型細胞がえられた腭上皮内癌の1例. 第96回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016. 6. 11, 京都
5. 水越健太, 高井利恵子, 山川 剛, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 繰り返す計40個の胃生検で診断が得られず他法で診断しえた胃悪性リンパ腫の1例. 第96回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016. 6. 11, 京都
6. 山川 剛, 高井利恵子, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 経頸静脈的肝生検の有効性と安全性 —当院における11例の検討—. 第105回日本消化器病学会近畿支部例会, 2016. 9. 17, 大阪
7. 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 稀な転移性小腸癌の2例. 第105回日本消化器病学会近畿支部例会, 2016. 9. 17, 大阪
8. 小澤智美, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 同時性多発浸潤性膵管癌の1例. 第105回日本消化器病学会近畿支部例会, 2016. 9. 17, 大阪
9. 山川 剛, 高井利恵子, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 粘膜下腫瘤の形態をとりALアミロイドーシスとの鑑別が問題となった老人性アミロイドーシスの一例. 第97回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016. 11. 26, 京都
10. 小澤智美, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 内視鏡的粘膜切除術(EMR)により診断を得た胃びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)の1例. 第97回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016. 11. 26, 京都
11. 水越健太, 高井利恵子, 山川 剛, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 胆管癌として紹介され

傍大動脈リンパ節腫大を伴った Mirizzi 症候群の 1 例. 第97回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016.11.26, 京都

12. 西村信城, 久須美房子, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 大花正也: 上部消化管内視鏡で治療経過を追えた, びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) による胃大腸瘻の一例. 第97回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2016.11.26, 京都
13. 水越健太, 高井利恵子, 山川 剛, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 肝生検で診断し化学療法が著効した肝 MALT リンパ腫の 1 例. 第106回日本消化器病学会近畿支部例会, 2017.2.25, 大阪
14. 小澤智美, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 当院における切除不能膵癌に対する GEM+nabPTX 療法の検討. 第106回日本消化器病学会近畿支部例会, 2017.2.25, 大阪
15. 山川 剛, 高井利恵子, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 術後早期に再発し急激な転帰をたどった胆管腺扁平上皮癌の一例. 第106回日本消化器病学会近畿支部例会, 2017.2.25, 大阪

#### ◇研 究 会

##### 一般演題 (口演)

1. 水越健太, 高井利恵子, 山川 剛, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 診断に苦慮した慢性多発腸潰瘍の 1 例. IBD 講演会 in 奈良, 2016.5.28, 奈良
2. 山川 剛, 高井利恵子, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 経頸静脈的肝生検の有効性と安全性 —当院における11例の検討—. 第38回奈良県肝胆膵研究会, 2016.6.18, 奈良
3. 吉川貴章, 高井利恵子, 山川 剛, 水越健太, 大村亜紀奈, 小澤智美, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 岡野明浩, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: 過形成性ポリープより発生しリンパ節転移を伴った AFP 産生粘膜内癌の一例. 第39回京大消化器内科関連病院研究会, 2016.6.4, 尼崎 (兵庫)
4. 南 竜城: 胆嚢腫瘍の 1 例. MH 画像診断研究会, 2016.6.4, 大阪
5. 大村亜紀奈: 潰瘍性大腸炎穿孔ストマ症例の手術について. 第 8 回 OM ネットワーク, 2016.7.6, 奈良
6. 小澤智美: 膵上皮内癌の 1 例. 第65回消化器画像診断研究会, 2016.9.23, 福岡
7. 岡野明浩, 高井利恵子, 水越健太, 山川 剛, 大村亜紀奈, 小澤智美, 吉川貴章, 南 竜城, 木村勇斗, 上尾太郎, 沖永 聡, 久須美房子, 大花正也: C 型肝炎 ソホスブビル+リバビリン治療の再燃例. 第21回 R24肝臓カンファレンス, 2016.9.24, 京都

8. 南 竜城：EUS-FNA で異型細胞がえられた膵上皮内癌の1例。第64回近畿膵疾患談話会，2016.10.15，大阪
9. 西村信城，久須美房子，高井利恵子，山川 剛，水越健太，大村亜紀奈，小澤智美，吉川貴章，南 竜城，木村勇斗，上尾太郎，岡野明浩，沖永 聡，大花正也：上部消化管内視鏡で治療経過を追えた，びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）による胃大腸瘻の一例。第38回奈良胃腸研究会，2016.10.15，奈良
10. 小澤智美，高井利恵子，山川 剛，水越健太，大村亜紀奈，吉川貴章，南 竜城，木村勇斗，上尾太郎，岡野明浩，沖永 聡，久須美房子，大花正也：当院における切除不能膵癌に対する GEM+nabPTX 療法の検討。第15回大阪消化器化学療法懇話会，2016.11.19，大阪
11. 南 竜城：症例提示。第11回胆膵若手スペシャリストミーティング，2016.11.26，大阪
12. 水越健太：胆嚢ポリープの1例。MH 画像診断研究会，2017.3.4，大阪

#### ◇その他の講演

1. 大花正也：消化器疾患フォローの要点。天理市医師会定例会講演会，2016.5.28，天理
2. 岡野明浩：こんな方を紹介ください ―肝疾患―。消化器疾患医療連携の会，2016.6.23，天理
3. 南 竜城：当院における胆膵内視鏡の実際。消化器疾患医療連携の会，2016.6.23，天理
4. 大花正也：クローン病の基礎知識。第6回 IBD 交流会，2016.7.23，天理
5. 南 竜城：当院における EUS-FNA の実際。細胞技師勉強会，2017.2.4，天理
6. 岡野明浩：当院の肝癌診療の紹介。Hepatology Seminar in 天理，2017.2.16，天理
7. 大花正也：潰瘍性大腸炎の基礎知識。第7回 IBD 交流会，2017.2.18，天理
8. 南 竜城：Sono Tip 使用レポート。MH 画像診断研究会，2017.3.4，大阪

#### ◇院内集談会

1. 岡野明浩：肝。消化器病棟勉強会，2016.5.11，東西病棟10階
2. 岡野明浩：B 型肝炎。感染対策講習会，2016.6.14，外来診療棟5階講堂
3. 吉川貴章：膜性腎症加療中に肝酵素上昇を来した一例。平成28年度第1回グランドカンファレンス，2016.6.28，天理
4. 大花正也：炎症性腸疾患診療の基本。看護講義，2016.8.9，東10病棟
5. 久須美房子：食道癌が判る？ 勉強会。院内勉強会，2016.8.16，東10病棟
6. 南 竜城：胆膵内視鏡の実際。エコー室勉強会，2016.10.25，天理
7. 岡野明浩：論文のすゝめ ―だれにでも書ける英文症例報告 実践編―。消化器内科若手医師勉強会，2016.11.16，内視鏡センター
8. 岡野明浩：免疫抑制・化学療法で B 型肝炎は悪化する。感染対策講習会，2017.1.20，外来診療棟5階講堂
9. 大花正也：潰瘍性大腸炎の基礎知識。院内勉強会，2017.2.7，外来診療棟南館1階会議室

(凡例) 1 = 京都大学大学院医学研究科

## 循環器内科

### ◇書籍

1. 中川義久：抗血小板療法の継続 短縮？・延長？・抗凝固との併用，Annual Review 2016 循環器，pp88-92，小室一成 他編集，中外医学社（東京），2016
2. 中川義久：安定狭心症に対する血行再建（PCI/CABG）の適応と効果，循環器研修ノート 改訂第2版，pp363-365，永井良三 総監修，診断と治療社（東京），2016
3. 田巻庸道，中川義久：虚血性心疾患による心不全に強心薬を使うべきか？，ここが知りたい強心薬のさじ加減，pp262-266，北風政史 編集，中外医学社（東京），2016
4. 中川義久：CABGに内在する新規心筋梗塞発生抑制効果は疑いない！，心腎血管疾患クリニカル・トライアル Annual Overview 2016，pp64，臨床研究適正評価教育機構編集，ライフサイエンス出版（東京），2016
5. 中川義久：冠動脈疾患におけるスタチン系薬の役割，最新冠動脈疾患学（上），pp400-404，日本臨床社（大阪），2016
6. 中川義久：P2Y<sub>12</sub>受容体阻害薬単剤使用は有効？，血小板療法エキスパートの勘どころ，pp130-133，南江堂（東京），2016
7. 中川義久，林 秀隆：そうだったのか！絶対に読めるCAG ～シエーマでわかる冠動脈造影の読み方，羊土社（東京），2016
8. 近藤博和：アスピリン抵抗性は評価すべき？，抗血小板療法 エクスパートの“勘どころ”，pp112-115，中村正人 編集，南江堂（東京），2016
9. 泉 知里：Ⅲ大動脈弁閉鎖不全症（AR）のThe Best Treatment 4. Para-valvular leakの診断と手術適応，ザ・ベスト・トリートメント！心臓弁膜症 —ガイドラインを深読み・先読みする—，pp104-109，伊藤 浩 編集，文光堂（東京），2016
10. 泉 知里，松谷勇人：まずは正常心エコーを理解する，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp9-22，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
11. 泉 知里：右心系拡大の症例をみたら？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp23-36，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
12. 泉 知里：経皮的心肺補助装置下での心エコー，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp37-48，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
13. 泉 知里，桑野和代：息切れを訴えた症例 このエコーどう読む？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp49-66，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
14. 天野雅史：心室瘤を見たら？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp67-78，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
15. 泉 知里，西村俊亮，橋和田須美代：開心術後の下大静脈拡大症例をみたら？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp79-94，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016

16. 西村俊亮：Effusive constrictive pericarditis って何？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp92-93，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
17. 天野雅史：肺塞栓症の心エコー所見，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp109-124，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
18. 泉 知里，芳川裕亮：スポーツをしている若年男性のエコー これって正常？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp125-140，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016
19. 泉 知里，高橋佑典：原因不明の低酸素血症の症例をエコーでどうアプローチする？，Dr. チサトの考えながら撮る心エコー，pp141-153，泉 知里 編著，メディカ出版（大阪），2016

◇学術雑誌

（欧 文）

1. Kaitani K, Kondo H, Hanazawa K, Onishi N, Hayama Y, Tsujimura A, Kuroda M, Nishimura S, Yoshikawa Y, Takahashi Y, Amano M, Imamura S, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Motooka M, Izumi C, Nakagawa Y: Relationship between diastolic ventricular dysfunction and subclinical sleep-disordered breathing in atrial fibrillation ablation candidates, *Heart and Vessels* 2016 ; 31 : 1140-1147.
2. Naito R<sup>1</sup>, Miyauchi K<sup>1</sup>, Daida H<sup>1</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Hiro T<sup>3</sup>, Kimura T<sup>4</sup>, Nakagawa Y, et al: Impact of Total Risk Management on Coronary Plaque Regression in Diabetic Patients with Acute Coronary Syndrome -Sub analysis of JAPAN-ACS Study-, *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis* 2016 ; 23 : 922-931.
3. Shimomura D, Nakagawa Y, Kondo H, Tamura T, Amano M, Enomoto S, Onishi N, Tamaki Y, Miyake M, Kaitani K, Izumi C, Fukuda A, Nakamura F, Kawano S<sup>5</sup>: The influence of assay selection on prothrombin time measured in patients treated with rivaroxaban for non-valvular atrial fibrillation, *Journal of Clinical Laboratory Analysis* 2016 ; 30 : 941-946.
4. Yamaji K<sup>6</sup>, Shiomi H<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Nakatsuma K<sup>4</sup>, Toyota T<sup>4</sup>, Ono K<sup>4</sup>, Nakagawa Y, et al: Effects of Age and Sex on Clinical Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention Relative to Coronary Artery Bypass Grafting in Patients with Triple Vessel Coronary Artery Disease, *Circulation* 2016 ; 133 : 1878-1891.
5. Nakatsuma K<sup>4</sup>, Shiomi H<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Furukawa Y<sup>7</sup>, Nakagawa Y, Ando K<sup>6</sup>, Kadota K<sup>8</sup>, et al: Inter-facility Transfer versus Direct Admission in Patients with ST-segment Elevation Acute Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention, *Circulation Journal* 2016 ; 80 : 1764-1772.
6. Shiomi H<sup>4</sup>, Yamaji K<sup>6</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Shizuta S<sup>4</sup>, Nakatsuma K<sup>4</sup>, Higami H<sup>4</sup>, Nakagawa Y, et al: Very Long-term (10- to 14-Year) Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention versus Coronary Artery Bypass Grafting for

Multi-vessel Coronary Artery Disease in the Bare-Metal Stent Era, *Circulation : Cardiovascular Interventions* 2016 ; 9 : e 003365.

7. Fujii Y<sup>9</sup>, Itoh H<sup>9</sup>, Ohno S<sup>9</sup>, Kurebayashi N<sup>10</sup>, Murayama T<sup>10</sup>, Aoki H<sup>11</sup>, Nakagawa Y, et al : A type 2 ryanodine receptor variant associated with reduced Ca<sup>2+</sup> release and short-coupled torsade de pointe ventricular arrhythmia, *Heart Rhythm* 2017 ; 14 : 98–107.
8. Shiomi H<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>4</sup>, Kitaguchi S<sup>12</sup>, Nakagawa Y, Ishii K<sup>13</sup>, Haruna Y<sup>12</sup>, Takamisawa I<sup>14</sup>, et al : Randomized Evaluation of Routine Follow-up Coronary Angiography after Percutaneous Coronary Intervention Trial (ReACT), *Journal of the American College of Cardiology* 2017 ; 10 : 109–117.
9. Yamashita Y<sup>4</sup>, Shiomi H<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Yaku H<sup>4</sup>, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K<sup>6</sup>, et al : Cardiac and Non-cardiac Causes of Long-term Mortality in ST-segment Elevation Acute Myocardial Infarction Patients Who Underwent Primary Percutaneous Coronary Intervention, *Circulation : Cardiovascular Quality and Outcomes* 2017 ; 10 : e 002790.
10. Ikari Y<sup>15</sup>, Awata M<sup>16</sup>, Mitsudo K<sup>8</sup>, Akasaka T<sup>17</sup>, Saito S<sup>18</sup>, Ishihara T<sup>2</sup>, Nakagawa Y, et al : Efficient Distal Tip Size of Primary Guidewire for Antegrade Percutaneous Coronary Intervention in Chronic Total Occlusion : the G-FORCE study, *International Journal of Cardiology* 2017 ; 227 : 94–99.
11. Kitamura Y<sup>10</sup>, Suzuki K<sup>10</sup>, Teramukai S<sup>19</sup>, Sonobe M<sup>4</sup>, Toyooka S<sup>20</sup>, Nakagawa Y, Yokomise H<sup>21</sup>, et al : Japanese Association for Chest Surgery. Feasibility of pulmonary resection for lung cancer in patients with coronary artery disease or atrial fibrillation, *Annals of Thoracic Surgery* 2017 ; 103 : 432–440.
12. Nishimura S, Amano M, Izumi C, Kuroda M, Yoshikawa Y, Takahashi Y, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y : Multiple Coronary Artery Aneurysms and Thoracic Aortitis Associated with IgG 4-related Disease, *Internal Medicine* 2016 ; 55(12) : 1605–1609.
13. Nishimura S, Izumi C, Nishiga M, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y : Predictors of Rapid Progression and Clinical Outcome of Asymptomatic Severe Aortic Stenosis, *Circulation Journal* 2016 ; 80(8) : 1863–1869.
14. Nishimura S, Izumi C, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y : Long-Term Clinical Outcomes and Prognostic Factors After Pericardiectomy for Constrictive Pericarditis in a Japanese Population, *Circulation Journal* 2016 ; 81(2) : 206–212.
15. Kuroda M, Amano M, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T, Kaitani K, Izumi C, Nakagawa Y : Severe right ventricular and tricuspid valve dysfunction

- after pericardiocentesis, *Journal of Medical Ultrasonics* 2016 ; 43 : 533–536.
16. Izumi C : Asymptomatic severe aortic stenosis : challenges in diagnosis and management, *Heart* 2016 ; 102 : 1168–1176.
  17. Onishi N, Kaitani K, Yasuda K, Sugimura S, Imanaka M, Kuroda M, Nishimura S, Takahashi Y, Yoshikawa Y, Amano M, Imamura S, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Izumi C, Nakagawa Y : Successful Ablation with a Multipolar Mapping Catheter for Swallowing–Induced Atrial Tachycardia, *Internal Medicine* 2016 ; 55 : 2423–2427.
  18. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y : Progression of aortic regurgitation after subpulmonic infundibular ventricular septal defect repair, *Heart* 2016 ; 102 : 1479–1484.
  19. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y : Late recurrence of left ventricular dysfunction after aortic valve replacement for severe chronic aortic regurgitation, *International Journal of Cardiology* 2016 ; 224 : 240–244.
  20. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y : Pre- and Postoperative Predictors of Long–Term Prognosis After Aortic Valve Replacement for Severe Chronic Aortic Regurgitation, *Circulation Journal* 2016 ; 80(12) : 2460–2467.
  21. Kitai T<sup>7</sup>, Taniguchi T<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Toyota T<sup>4</sup>, Izumi C, Kaji S<sup>7</sup>, Kim K<sup>7</sup>, et al (CURRENT AS registry Investigators) : Different clinical outcomes in patients with asymptomatic severe aortic stenosis according to the stage classification : Does the aortic valve area matter?, *International Journal of Cardiology* 2017 ; 228 : 244–252.  
(2015年度追加)
  22. Taniguchi T<sup>4</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Shiomi H<sup>4</sup>, Ando K<sup>6</sup>, Kanamori N<sup>22</sup>, Izumi C, Miyake M, et al (CURRENT AS registry Investigators) : Initial Surgical Versus Conservative Strategies in Patients With Asymptomatic Severe Aortic Stenosis, *Journal of the American College of Cardiology* 2015 ; 66 : 2827–2838.  
(邦 文)
  23. 中川義久 : *Open Heart* ・ 医師の言葉 最近あったできごとから, *心臓* 2016 ; 48(3) : 261.
  24. 中川義久 : BRS/BVS は break through となるか ～どこまで Stentless Strategy は可能か～, *Coronary Intervention* 2016 ; 12 ( 2 ) : 73–76.
  25. 中川義久 : 専門医に訊く Common Disease の最新の知識・虚血性心疾患, *糖尿病診療マスター* 2016 ; 14(10) : 814–815.
  26. 中川義久 : 循環器疾患治療薬 冠攣縮性狭心症での使い方, *Heart View* 2016 ; 20



(12) : 130-134.

27. 中川義久：高度石灰化病変への最適な PCI を考える, *Mebio* 2016 ; 34 ( 1 ) : 91-98.
28. 中川義久：抗血小板療法をめぐる最新の話, *日本内科学会雑誌* 2017 ; 106 : 232-237.
29. 中川義久：非 ST 上昇型急性心筋梗塞の急性期診療, *循環器内科* 2017 ; 81 ( 3 ) : 223-226.
30. 泉 知里：【心エコー塾 身につけたい心エコー】治す 心エコーが活きる 大動脈弁狭窄症の治療, *Heart View* 2016 ; 20 : 64-70.
31. 泉 知里：【救急エコーを臨床でどこまで活かすか】急性心室中隔破裂をいかに診断するか エコー所見・血行動態所見で手術は可能か, *月刊心エコー* 2016 ; 17 : 428-435.
32. 泉 知里：【治療の流れを変える心エコー Game-changing echocardiography】structural heart disease における game-changing echocardiography 感染性心内膜炎 (IE), *月刊心エコー* 2016 ; 17 : 802-808.
33. 田村俊寛：大動脈弁狭窄症に伴う消化管出血：ハイド症候群, *Bio Clinica* 2016 ; 31 ( 6 ) : 23-26.
34. 三宅 誠：【ここまで ここからは 専門医紹介のタイミング】大人になった心室中隔欠損症の「ここまでは」の見極め所, *心エコー* 2016 ; 17 ( 4 ) : 330-336.
35. 三宅 誠：【高齢者のエコーの撮り方・読み方】高齢者に多い心房細動と三尖弁逆流, *心エコー* 2017 ; 18 ( 2 ) : 172-177.
36. 大西尚昭, 中川義久：【心電図を詠む一心に残る24症例から】不整脈 嚔下誘発性心房頻拍, *medicina* 2016 ; 53 ( 5 ) : 654-657, 708, 740.
37. 大西尚昭, 中川義久：心房細動を合併した PCI 症例での抗血栓療法, *循環器内科* 2016 ; 80 ( 3 ) : 215-220.
38. 天野雅史, 泉 知里：人工弁機能不全, *月刊心エコー* 2016 ; 17 ( 12 ) : 1094-1101.

#### ◇学 会

(国際学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. Izumi C : Challenges in Echocardiography of Heart Valve Disease : How severe is this TR?. American Heart Association, 2016. 11. 13, New Orleans(USA)
  2. Izumi C : Look into the Right Heart Isolated TR : Ignore or Treat?. Korean Society of Echocardiography, 2016. 11. 20, Seoul(Korea)
- 一般演題 (口演)
3. Enomoto S, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Nishimura S, Amano M, Imamura S, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Izumi C, Nakagawa Y : Successful retrograde chronic total occlusion recanalization of diffuse atherosclerotic left anterior descending artery in a young man with familial hypercholesterolemia. *Complex Cardiovascular Therapeutics* 2016, 2016. 10. 22, Kobe(Japan)
  4. Amano M, Izumi C : Tricuspid valve dysfunction after pericardiocentesis. Valve

summit 2016, 2016. 12. 2, Seoul(Korea)

一般演題 (ポスター)

5. Onishi N, Kaitani K, Imamura S, Izumi C, Nakagawa Y: The impact of left ventricular diastolic dysfunction for the very late recurrence after the multiple atrial fibrillation ablations. *Cardiostim* 2016, 2016. 6. 8, Nice(France)
6. Izumi C, Takahashi Y, Matsutani H, Hashiwada S, Kuwano K, Kuroda M, Nishimura S, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T, Kaitani K, Nakagawa Y: Long-term Prognosis and its Predictors of Severe Isolated Tricuspid Regurgitation Associated with Atrial Fibrillation without Structural Heart Diseases. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 27, Rome(Italy)
7. Izumi C, Himura Y, Imanaka M, Kuroda M, Nishimura S, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Tamura T, Kaitani K, Nakagawa Y: Very long-term follow-up data of patients with idiopathic dilated cardiomyopathy undergoing  $\beta$ -blocker therapy; Usefulness of  $^{123}\text{I}$ -meta-iodobenzylguanidine scintigraphy as a predictor of prognosis. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 27, Rome(Italy)
8. Nishimura S, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: The incidence and severity of aortic plaque in patients with aortic stenosis and its relation with severity of aortic stenosis. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 27, Rome (Italy)
9. Nishimura S, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: Predictive value of aortic arch plaque for perioperative cerebral infarction in patients with severe aortic stenosis. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 28, Rome (Italy)
10. Nishimura S, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Amano M, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: Impact of aortic plaque on the progression rate and prognosis of aortic stenosis. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 28, Rome(Italy)
11. Amano M, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Onishi N, Imamura S, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: Chronological Changes in Cardiac Morphology and Function and Predictors of Prognosis in Light-chain Amyloidosis; Follow-up Data by Echocardiography. *European Society of Cardiology Congress 2016*, 2016. 8. 28, Rome(Italy)

12. Miyake M, Izumi C, Taniguchi T<sup>1</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Nakagawa N, Sakata R<sup>1</sup>, Kimura T<sup>1</sup>: Long-term outcomes and its predictors of aortic valve replacement for asymptomatic severe aortic stenosis; Comparison between initial surgical strategy and conservative strategy. European Society of Cardiology Congress 2016, 2016. 8. 28, Rome(Italy)
13. Enomoto S, Tamura T, Nakagawa Y: Successful percutaneous revascularization for highly angulated left main true bifurcation lesion by TAP technique. Transcatheter Cardiovascular Therapeutics 2016, 2016. 10. 29, Washington, D. C. (USA)
14. Amano M, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Imamura S, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: The Recent Trend of Natural History and Prognosis in Patients with Symptomatic Severe Aortic Stenosis. American Society of Cardiology congress 2016, 2016. 11. 15, New Orleans(USA)
15. Amano M, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Imamura S, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: The Usefulness of Echocardiographic Indices of Right Ventricular Systolic Function in Patients with Interstitial Pneumonia. American Society of Cardiology congress 2016, 2016. 11. 15, New Orleans(USA)
16. Tamaki Y, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Amano M, Onishi N, Sakamoto J, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Izumi C, Nakagawa Y: Long term prognosis of patients with cardiac resynchronization therapy. International Society of Cardiomyopathies and Heart Failure Congress 2016, 2016. 12. 2, Kyoto(Japan)

(国内学会)

特別講演・教育講演

17. 泉 知里: 大動脈弁狭窄症: 最近の知見. 第7回ストラクチャークラブ・ジャパン 近畿・中四国支部会 ~学術講演会~, 2016.9.10, 大阪
18. 泉 知里: 至適三尖弁形成術の手術時期をどう考えるか. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.24, 東京
19. 泉 知里: 「超高齢化社会を迎えて考えておくべきこと」必然性の高い治療適応と疑問の残る治療適応. 第7回日本心臓弁膜症学会, 2016.10.21, 札幌

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

20. 天野雅史, 西村俊亮, 三宅 誠, 本庄 原, 泉 知里: JSE Case Conference (JCC) このMR どうする?. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.23, 大阪
21. 泉 知里: 救急現場での肺血栓塞栓症の診断. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.24, 大阪
22. 泉 知里: これで決断 TRの手術適応. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.24, 大阪

23. 三宅 誠：心エコー図で心サルコイドーシスが診断できるか。日本心エコー図学会第27回学術集会，2016.4.24，大阪
24. 泉 知里：高齢者の心房細動と三尖弁閉鎖不全症。第89回日本超音波学会学術集会，2016.5.27，京都
25. 中川義久：PCIの適応・緊急PCI。第25回日本心血管インターベンション治療学会，2016.7.7，東京
26. 中川義久：AMI治療における至適ステントの選択。第25回日本心血管インターベンション治療学会，2016.7.7，東京
27. 田村俊寛：PCPS (percutaneous cardiopulmonary support) 装着患者に合併する後天性フォンウィルブランド病。第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会，2016.7.15，東京
28. 中川義久：虚血性心疾患 ～新しい冠動脈デバイスとその課題～。第64回日本心臓病学会学術集会，2016.9.24，東京
29. 中川義久：Drug-Coated Stent テクノロジーと臨床成績 ～POBA から BMS&DES, そしてDCS～。第64回日本心臓病学会学術集会，2016.9.25，東京
30. 中川義久：PCIと術後2次予防をめぐる話題脂質管理を中心に。第30回日本心臓血管内視鏡学会，2016.10.1，西宮（兵庫）
31. 三宅 誠：負荷エコーの最前線。第43回日本超音波医学会関西地方会，2016.10.29，大阪  
一般演題（口演）
32. 天野雅史，泉 知里，三宅 誠，西村俊亮，松谷勇人，橋和田須美代，貝谷和昭，中川義久：心病変合併ALアミロイドーシス患者の予後と心エコー図検査によるフォローアップデータ。日本心エコー図学会第27回学術集会，2016.4.24，大阪
33. 黒田真衣子，田村俊寛，三宅 誠，貝谷和昭，泉 知里，中川義久：Figulla Flex II ASD occluderを使用した2症例。第212回日本内科学会近畿地方会，2016.6.25，大阪
34. 黒田真衣子，田村俊寛，大林祐樹，布木誠之，今中雅子，西村俊亮，天野雅史，大西尚昭，坂本二郎，田巻庸道，榎本操一郎，三宅 誠，近藤博和，貝谷和昭，泉 知里，中川義久：Figulla Flex 2 ASD Occluderが有効であった心房中隔欠損症の2例。第212回日本内科学会近畿地方会，2016.6.26，大阪
35. 榎本操一郎，田村俊寛，大林祐樹，布木誠之，今中雅子，黒田真衣子，西村俊亮，天野雅史，今村沙梨，大西尚昭，坂本二郎，田巻庸道，三宅 誠，近藤博和，貝谷和昭，泉 知里，中川義久：A recurrent drug-eluting stent failure case successfully treated with drug-coated balloon. A serial OCT assessment. 第25回日本心血管インターベンション治療学会，2016.7.7，東京
36. Tamura T, Sakaguchi H, Izumi C, Miyake M, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Amano M, Onishi N, Imamura S, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y: Short-term clinical outcomes of TAVI in patients with severe aortic stenosis : A single center

- experience. 第26回日本心血管インターベンション治療学会学術総会, 2016.7.7, 東京
37. 榎本操一郎, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: The potent therapeutic effects of balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension. 第25回日本心血管インターベンション治療学会, 2016.7.8, 東京
  38. 今中雅子, 田村俊寛, 西村俊亮, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) により貧血の改善を認めた後天性フォンウィルブランド病 (ハイド症候群) の一例. 第121回日本循環器学会近畿地方会, 2016.7.16, 京都
  39. 辻野絵美, 三宅 誠, 田村俊寛, 今中雅子, 西村俊亮, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 田卷庸道, 榎本操一郎, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: 経皮的心房中隔欠損閉鎖術に先行してバルーンオクルージョンテストを施行した陳旧性心筋梗塞の一例. 第121回日本循環器学会近畿地方会, 2016.7.16, 京都
  40. 西村俊亮, 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 田卷庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: 上肢虚血症状を有する右鎖骨下動脈起始部の慢性完全閉塞に対し血管内治療を施行した一例. 第121回日本循環器学会近畿地方会, 2016.7.16, 大阪
  41. 今中雅子, 田村俊寛, 西村俊亮, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) により貧血の改善を認めた後天性フォンウィルブランド病 (ハイド症候群) の一例. 第121回日本循環器学会近畿地方会, 2016.7.16, 京都
  42. Onishi N, Kaitani K, Imamura S, Izumi C, Nakagawa Y: The impact of sleep-disorder breathing and left atrium dilation at baseline for recurrence after multiple atrial fibrillation ablations. 第63回日本不整脈心電学会, 2016.7.17, 札幌
  43. 西村俊亮, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久: 心房中隔欠損症閉鎖術後の僧帽弁逆流の経時変化および増悪の予測因子について. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.23, 東京
  44. 西村俊亮, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: TF-TAVI 後に IE が疑われた一例. 第2回ストラクチャークラブジャパン ライブデモンストレーション, 2016.10.7, 京都
  45. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: Distal bifurcation を有する LAD CTO に対して antegrade PCI が

- failure し, retrograde approach にて血行再建に成功した一例. 第27回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2016.10.8, 大阪
46. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 血管径の小さい SFA CTO に対し POBA および SeQuent Please にて中期的開存を維持しえた一例. 第27回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2016.10.8, 大阪
  47. 近藤博和: 5 m walking time is well correlated with peak oxygen consumption in chronic heart failure patients. 第20回日本心不全学会学術集会, 2016.10.9, 札幌
  48. 黒田真衣子, 貝谷和昭, 杉村宗典, 安田健治, 中野雄太, 今村沙梨, 大西尚昭, 泉知里, 中川義久: 9 種類の心房頻拍を認めアブレーションに成功した一例. カテーテルアブレーション関連秋期大会2016, 2016.10.28, 福岡
  49. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 高度石灰化を伴った LMT 分岐部 ~LAD を責任病変とする心原性ショック STEMI の一例. 第2回 Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2016, 2016.11.18, 京都
  50. 黒田真衣子, 田巻庸道, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: ループ利尿薬抗性心不全に対しトルバプタンが著効した一例. 第122回日本循環器学会近畿地方会, 2016.11.26, 大阪
  51. 梅宮楨樹, 坂本二郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 膝窩動脈瘤による下肢動脈血栓塞栓症が疑われた一例. 第122回日本循環器学会近畿地方会, 2016.11.26, 大阪
  52. 布木誠之, 田村俊寛, 大林祐樹, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久, 阪口仁寿, 山中一郎: 超重症大動脈弁狭窄症に対して Corevalve 留置時に順行性の pop-out を生じた一例. 第122回日本循環器学会近畿地方会, 2016.11.26, 大阪
  53. 布木誠之, 田村俊寛, 大林祐樹, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久, 阪口仁寿, 山中一郎: 超重症大動脈弁狭窄症に対して Corevalve 留置時に順行性の pop-out を生じた一例. 第122回日本循環器学会近畿地方会, 2016.11.26, 大阪
  54. 小西啓司, 大西尚昭, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久: 心室性期外収縮による心機能低下に対してカテーテルア

- ブレーション治療が奏功した1例. 第122回日本循環器学会近畿地方会, 2016.11.26, 大阪
55. 西村俊亮, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: Optimo®を用いてPTAを施行した右外腸骨動脈および左総腸骨動脈慢性完全閉塞の一例. 第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会, 2017.3.11, 大阪
56. Amano M, Izumi C, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Imamura S, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Nakagawa Y: The Usefulness of Echocardiographic Indices of Right Ventricular Systolic Function in Patients with Interstitial Pneumonia. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.17, 金沢 (石川)
57. Tamura T, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Amano M, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Kondo H, Izumi C, Nakagawa Y: Acquired von Willebrand Syndrome in Patients with Percutaneous Cardiopulmonary Support System. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.17, 金沢 (石川)
58. Miyake M, Izumi C, Taniguchi T<sup>1</sup>, Morimoto T<sup>2</sup>, Nakagawa N, Sakata R<sup>1</sup>, Kimura T<sup>1</sup>: Long-term Outcomes after Aortic Valve Replacement for Asymptomatic Severe Aortic Stenosis; Comparison between Initial Surgical Strategy and Initial Conservative Strategy. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.19, 金沢 (石川)
59. Onishi N, Kaitani K, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Nishimura S, Amano M, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Izumi C, Nakagawa Y: The Clinical Impact of the Timing of Early Recurrence after Atrial Fibrillation Ablation: From Kansai Plus Atrial Fibrillation Registry. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.19, 金沢 (石川)
60. 相山佑樹, 坂本二郎, 田村俊寛, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: アドリアマイシン心筋症が疑われた急性心不全の1例. 第215回日本内科学会近畿地方会, 2017.3.25, 神戸一般演題 (ポスター)
61. 天野雅史, 泉 知里, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久: AA アミロイドーシスの予後と心病変合併による影響. 第113回日本内科学会総会・講演会, 2016.4.16, 東京
62. 西村俊亮, 泉 知里, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久: 大動脈弁狭窄症患者における大動脈プラークの頻度とその重症度について —経食道心エコー図検査を用いた検討—. 第27回日本心エコー図学会学術集会, 2016.4.22, 大阪
63. 今中雅子, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 貝谷和昭, 中川義久: 膠原病患者における心血管合併症の頻度と実際のマネージメントに

- ついて. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.23, 東京
64. 西村俊亮, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久:重症大動脈弁狭窄症に対する外科的大動脈弁置換術周術期脳梗塞発症の予測因子について —大動脈弓部プラークの術前評価の有用性—. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.23, 東京
  65. 天野雅史, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 黒田真衣子, 大西尚昭, 今村沙梨, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久:黄色ブドウ球菌菌血症患者の診療において経食道心エコー図検査による感染性心内膜炎診断除外は必要か?. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.24, 東京
  66. 天野雅史, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 黒田真衣子, 大西尚昭, 今村沙梨, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久:左室壁厚が厚くない心病変合併AL アミロイドーシス患者の予後は悪いのか?. 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016.9.24, 東京
  67. Sakamoto J, Seno H<sup>1</sup>, Nishi E<sup>1</sup>: Nardilysin regulates intestinal tumor progression by modulating p 53. 第75回日本癌学会学術総会, 2016.10.7, 横浜
  68. 天野雅史, 泉 知里, 三宅 誠, 山中一朗, 中川義久:自己僧帽弁感染性心内膜炎に対する僧帽弁術後の長期成績並びに術式による比較. 第7回日本弁膜症学会, 2016.10.22, 札幌
  69. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久:当院における慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈拡張術の治療効果. Complex Peripheral Angioplasty Conference 2016, 2016.11.26, 豊橋 (愛知)
  70. Tamaki Y, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Nishimura S, Kuroda M, Amano M, Onishi N, Sakamoto J, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Izumi C, Nakagawa Y: Predictors of heart failure in patients with ST elevation myocardial infarction undergoing percutaneous coronary intervention. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.17, 金沢 (石川)
  71. Kondo H, Obayashi Y, Fuki M, Imanaka M, Kuroda M, Nishimura S, Amano M, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kaitani K, Izumi C, Nakagawa Y: Relationship between Five Meters Walking Time and Peak Oxygen Consumption in Chronic Heart Failure Patients. 第81回日本循環器学会学術集会, 2017.3.19, 金沢 (石川)
  72. 大西尚昭, 貝谷和昭, 今村沙梨, 黒田真衣子, 泉 知里, 中川義久:左室流出路起源の心室性期外収縮アブレーションにおいてコンタクトフォースモニタリングの有用性が示唆された二症例. 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2016, 2016.10.28, 福岡



## ◇研究会

### 特別講演・教育講演

1. 中川義久：PCI患者における抗血小板療法についてのわかりやすいお話. SANOFI Web Conference, 2016.4.18, 東京
2. 中川義久：BRS Clinical Information Update. 近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2016, 2016.4.21, 京都
3. 中川義久：DESの未来 BVS, DFS. 近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2016, 2016.4.22, 京都
4. 中川義久：冠動脈インターベンションの最前線 ～生体吸収性スキャフォールドを中心に～. 第43回関西心臓血管カテーテル研究会, 2016.5.8, 大阪
5. 泉 知里：感染性心内膜炎：症例から学ぶチーム医療の重要性. 第22回沖縄心臓血管エコー図研究会, 2016.5.20, 那覇 (沖縄)
6. 中川義久：抗血小板薬と抗凝固薬の必要性和課題 ～抗血栓療法の実際, 私はこうしている～. 抗血栓セミナー, 2016.7.21, 八戸 (青森)
7. 中川義久：Ambitious Session Part 1, いつかメジャー学会発表をしたい！ 研究プランの構築をどうする. Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference (TOPIC) 2016, 2016.7.23, 東京
8. 泉 知里：症例から学ぶ心不全診療：心エコー所見をどのように活用するか？. 若手医師フォーラム, 2016.8.4, 天理
9. 中川義久：循環器臨床研究から学ぶ実践的臨床統計. 循環器診療ステップアップ・セミナー, 2016.8.6, 大阪
10. 泉 知里：症例から学ぶ心不全診療：心不全治療における心エコーの役割. 奈良心エコーカンファレンス, 2016.9.12, 奈良
11. 泉 知里：大動脈弁狭窄症および心房中隔欠損症のカテーテル治療 ～心エコー図検査が果たす役割～. 若草山心エコーセミナー, 2016.9.15, 奈良
12. 中川義久：虚血性心疾患合併心房細動における抗凝固療法・抗血小板療法の実際. これからの抗凝固療法を考える講演会, 2016.10.15, 山科 (京都)
13. 中川義久：虚血性心疾患についてわかりやすい最新知見. 循環器研究会 in 宮古, 2016.10.19, 宮古 (岩手)
14. 中川義久：眼からウロコが落ちるように判る心電図の話. Complex Catheter Therapeutics 2016, 2016.10.22, 神戸
15. 泉 知里：心不全治療における心エコーの役割. 和歌山循環器勉強会, 2017.2.4, 和歌山
16. 泉 知里：三尖弁閉鎖不全症の手術をどう考えるか？. 第15回山口県東部心不全勉強会, 2017.2.21, 山口
17. 泉 知里：心内異常構造物：どのように診断を進めるか？. 第14回京都循環器検査研究会学術集会, 2017.3.26, 京都

一般演題（口演）

18. 田村俊寛：いずれも急性心筋梗塞を発症した家族性。レパース フォーラム in Nara, 2016.5.12, 奈良
19. 大西尚昭, 貝谷和昭, 今村沙梨, 黒田真衣子, 泉 知里, 中川義久：左室流出路起源の心室性期外収縮アブレーションにおいてコンタクトフォースモニタリングの有用性が示唆された二症例。Educational meeting for Arrhythmia by Experts in Nara, 2016.5.20, 奈良
20. 黒田真衣子, 田卷庸道, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久：ループ利尿薬抗性心不全に対するトルバプタンの使用経験。第3回 Network Meeting, 2016.6.13, 奈良
21. 田卷庸道：トルバプタン使用経験からの考察 —薬理学的特性から考える—。第3回 Network Meeting, 2016.6.13, 奈良
22. 天野雅史, 田村俊寛：急性B型大動脈解離に急性冠症候群を合併した一例。鴨川カンファレンス, 2016.6.15, 京都
23. 田村俊寛：Shaggy aorta に対し pull-through テクニック。KTAVI, 2016.6.17, 大阪
24. 田村俊寛：肺高血圧症を合併した狭小弁輪に対して。KTAVI, 2016.6.17, 大阪
25. 今中雅子, 田村俊寛, 西村俊亮, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久：STJに高度石灰化を伴うハイド症候群に対し Sapien XT® を断念し, CoreValve® を留置した一例。ストラクチャークラブ・ジャパン近畿・中四国支部会, 2016.9.10, 大阪
26. 今中雅子, 田村俊寛, 西村俊亮, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉知里, 中川義久：STJに高度石灰化を伴うハイド症候群に対し TAVI を施行した一例。第7回ストラクチャークラブ・ジャパン近畿・中四国支部会, 2016.9.10, 大阪
27. 西村俊亮, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 今村沙梨, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久：僧帽弁狭窄症に対する僧帽弁置換術後, 胸水および下腿浮腫が遷延した一例。心エコーカンファレンス, 2016.9.12, 奈良
28. 西村俊亮, 泉 知里, 天野雅史, 田卷庸道, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 中川義久：当院救急搬送症例の搬送後経過について。救急診療懇話会, 2016.9.17, 奈良
29. 田卷庸道：大量胸水貯留を認めた右心不全症例におけるトルバプタンの使用経験。心不全治療 MEETING, 2016.9.29, 奈良
30. 西村俊亮, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田卷庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久, 阪口仁寿, 山中一郎：TF-TAVI 後に IE が疑われた一例。ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2016, 2016.10.7, 京都

31. 油谷英孝, 黒田真衣子, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: 胸痛を主訴として救急搬送中に心室頻拍を生じた一例. 木曜カンファレンス, 2016.10.27, 神戸
32. 坂本二郎, 田村俊寛: 冠動脈内に脱落したステントをスネアで回収した1例. 第4回 K-PCI カンファレンス, 2016.11.11, 大阪
33. Kurod M, Kaitani K, Sugimura S, Yasuda K, Nakano Y, Onishi N, Izumi C, Nakagawa Y: A difficult case; Radiofrequency Catheter Ablation of Supraventricular Tachycardia after Senning Operation. 第6回奈良県不整脈臨床カンファレンス, 2016.11.19, 奈良
34. 西村俊亮, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: Optimo®を用いてPTAを施行した右外腸骨動脈および左総腸骨動脈慢性完全閉塞の一例. 奈良若草山 Intervention conference, 2016.11.25, 奈良
35. 西村俊亮, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: Optimo®を用いてPTAを施行した右外腸骨動脈および左総腸骨動脈慢性完全閉塞の一例. 奈良若草山 Intervention conference, 2016.11.25, 奈良
36. 今中雅子, 天野雅史, 大林祐樹, 布木誠之, 黒田真衣子, 西村俊亮, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 泉 知里, 中川義久: 労作時呼吸苦, その鑑別は?. 天神京循環器セミナー, 2016.11.26, 大阪
37. 田村俊寛, 大西尚昭, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 黒田真衣子, 天野雅史, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: 非責任病変を伴った超高齢者ST上昇型急性心筋梗塞の一例 (~ To PRAMI or not to PRAMI? ~). 第2回 Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2016, 2016.11.29, 京都
38. 田村俊寛: 胸痛を主訴として救急搬送中に心室頻拍を生じた一例. 第18回鴨川カンファレンス, 2016.11.30, 京都
39. 大西尚昭, 貝谷和昭, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 今村沙梨, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 泉知里, 中川義久: 当院における持続性心房細動アブレーションの基本戦術 ~低電位領域と左房後壁一括隔離アブレーション. Catheter Ablation Summit in Kansai 2016 (Kansai CAS 2016), 2016.12.17, 大阪
40. 大西尚昭, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: 当院における成人先天性心疾患患者の頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションの取り組み ~具体的症例を交えて. 第15回京都大学循環器内科心血管フォーラム, 2017.1.7, 京都

41. 大林祐樹, 田村俊寛, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: PCPS (percutaneous cardiopulmonary support) 装着患者に合併する後天性フォンウィルブランド病. 第15回京都心血管疾患フォーラム, 2017.1.7, 京都
42. Tamura T: Retrieval of Embolized Amplatzer Cribriform Device in Patient with PFO after Cryptogenic Stroke. 第11回 ASD, PDA デバイス閉鎖術症例検討会, 2017.1.28, 東京
43. 吉田篤史, 西村 亮, 泉 知里, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 中川義久: 心肥大および失神発作を認めた一例. 大阪木曜カンファレンス, 2017.2.2, 大阪
44. 黒田真衣子, 田巻庸道, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 榎本操一郎, 三宅 誠, 近藤博和, 田村俊寛, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: 大量の胸水貯留を認めた心不全症例に対するトルバプタンの使用経験. 第1回奈良若手 HF ネットワーク, 2017.2.4, 奈良
45. 黒田真衣子, 榎本操一郎, 田村俊寛, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 近藤博和, 泉 知里, 中川義久: 冠動脈 CT がプラーク組織性状の診断に有用であった不安定狭心症の一例. 第9回京滋奈良カテラボカンファレンス, 2017.2.18, 京都
46. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: LAD 閉塞による STEMI で来院し, 併存する RCA long CTO に staged PCI を行った一例. 第55回京滋奈良 Interventional Cardiology 研究会, 2017.2.18, 京都

◇その他の講演

1. 泉 知里: 大動脈弁狭窄症の診断と治療: 最近の話題. 第30回 Clinical Cardiac Conference, 2016.4.16, 名古屋
2. 近藤博和: 循環器疾患と睡眠呼吸障害. 慢性心不全における呼吸補助療法, 枚方公済病院心臓センター勉強会, 2016.5.17, 枚方 (大阪)
3. 泉 知里: 心エコーで学ぶ心疾患『虚血性心疾患』. 信濃町心エコーカンファレンス, 2016.6.25, 東京
4. 泉 知里: IE の診断と治療: チーム医療の重要性. Tokushima 超音波セミナー, 2016.7.6, 徳島
5. 近藤博和, 下村大樹, 中川義久: アピキサバン内服患者における凝固検査と血中濃度の検討. エリキユース発売3周年記念講演会, 2016.7.9, 奈良
6. 坂本二郎: 抗がん剤治療と心不全 ~Cardio-oncology への取り組み~. 第13回やまと循環器連携懇話会, 2016.7.16, 奈良
7. 泉 知里: 変動する TR: どのように対処するか?. 第25回心エコー図学会夏期講習会, 2016.7.24, 神戸

8. 榎本操一郎：血管内 imaging modality の基礎. アボットバスキュラー workshop, 2016. 8.3-4, 福岡
9. 近藤博和, 下村大樹, 中川義久：リバーロキサバン内服患者における凝固検査と血中濃度の検討. バイエル講演会, 2016.9.3, 奈良
10. 泉 知里：三尖弁の構造と機能. 山口心エコースキルアップセミナー, 2016.11.26, 山口
11. 泉 知里：「右心系を極める」不整脈原性右室心筋症. 日本心エコー図学会第21回冬期講習会, 2017.1.21, 大阪
12. 泉 知里：「弁膜症を極める」右心系 IE. 日本心エコー図学会第21回冬期講習会, 2017.1.21, 大阪
13. 三宅 誠：ファロー四徴症術後. 日本心エコー図学会第21回冬期講習会, 2017.1.22, 大阪
14. 榎本操一郎, 大林祐樹, 布木誠之, 今中雅子, 黒田真衣子, 西村俊亮, 天野雅史, 大西尚昭, 坂本二郎, 田巻庸道, 三宅 誠, 田村俊寛, 近藤博和, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久：PCI の為の IVUS 読影テクニック. 第12回日本 PCI フェローコース, 2017.2.5, 福岡
15. 近藤博和：循環器疾患と睡眠呼吸障害. 宇陀地区病診連携カンファレンス, 2017.2.18, 宇陀 (奈良)
16. 泉 知里：知っておきたい肺血栓塞栓症・静脈血栓症. 高齢者 Total Care Management ～抗凝固療法について考える～, 2017.3.4, 天理
17. 坂本二郎：癌治療患者への血栓リスクマネージメント. Onco-Cardiology を考える ～癌治療患者へのリスクマネージメント, 2017.3.23, 天理

#### ◇院内集談会

1. 近藤博和：心臓リハビリテーションについて. クリパソ講演会, 2016.4.19, 外来診療棟5階講堂
2. 山崎誠太, 天野雅史：救急現場における CPA 蘇生. M&M カンファレンス, 2016.7.4, 外来診療棟中会議室
3. 西村信城, 西村俊亮：夜間のコードイエローについて. M&M カンファレンス, 2016.10.3, 外来診療棟中会議室
4. 田村俊寛：後天性フォンウィルブランド病を合併した大動脈弁狭窄症 (ハイド症候群) に対する TAVI 治療. 2016天理よろづ相談所学術発表会, 2016.11.10, 外来診療棟5階講堂

(凡例) 1 = 京都大学大学院医学研究科, 2 = 兵庫医科大学

## 呼吸器内科

### ◇書籍

1. 羽白 高：10 慢性閉塞性肺疾患(COPD)，内科処方実践マニュアル 改訂第2版，pp 237-243，日本臨床内科医会 編集，日本医学出版（東京），2016

### ◇学術雑誌

(邦文)

1. 羽白 高：【救急から在宅までとことん使える！酸素療法まるごとブック】（第3章）急性期の巻 酸素療法が行われる場面を見てみよう！ 慢性呼吸不全の増悪，呼吸器ケア 2016；冬季増刊：48-51.
2. 羽白 高：【周術期マネジメント】「重症」COPDでも安全に手術を行えるか？ 1秒量は患者全体の状態を反映する指標ではない，Hospitalist 2016；4（2）：296-300.

### ◇学会

(国際学会)

一般演題（ポスター）

1. Hashimoto S, Ueyama M, Terada S, Nakanishi T, Hamao N, Inao T, Kaji Y, Yasuda T, Hajiro T, Tanaka E, Nishimoto Y, Noma S, Honjo G, Kobashi Y, Taguchi Y: Patients with both possible UIP pattern on high-resolution CT and consistent with UIP pattern on histopathological criteria could include those of interstitial lung diseases with known causes rather than idiopathic pulmonary fibrosis -a retrospective analysis of 60 cases-. ATS International Conference 2016, 2016. 5. 13-18, San Francisco(USA)
2. Hamao N, Ueyama M, Terada S, Nakanishi T, Inao T, Kaji Y, Yasuda T, Hashimoto S, Hajiro T, Tanaka E, Taguchi Y: Efficacy and Safety of Mizoribine Administered in Patients with Interstitial Pneumonia. 21st congress of Asian Pacific Society of Respiriology, 2016. 11. 14, Bangkok(Thailand)

(国内学会)

特別講演・教育講演

3. 田口善夫：教育セミナー2 間質性肺炎1. 第77回日本呼吸器学会・日本結核病学会日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会，2016.7.23，福岡
4. 橋本成修：びまん性肺疾患のBAL・TBLB. 第15回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会気管支鏡セミナー，2016.7.23，大阪

一般演題（口演）

5. 濱尾信叔，中西智子，寺田 悟，上山維晋，稲尾 崇，安田有斗，森本千絵，岡森 慧，加持雄介，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，田口善夫，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎：当院における間質性肺炎に対するミゾリビンの使用経験. 第56回日本呼吸器学会学術講演会，2016.4.10，京都
6. 橋本成修，上山維晋，寺田 悟，中西智子，濱尾信叔，笹井恒雄，稲尾 崇，加持雄介，

- 安田武洋, 羽白 高, 田中栄作, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎, 田口善夫: シューグレン症候群合併間質性肺炎の経過中に ANCA 関連血管炎を発症した一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
7. 濱尾信叔, 黄 文禧, 中西智子, 寺田 悟, 上山維晋, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: EBUS-TBNA 後に縦隔リンパ節炎を発症した LCNEC の一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  8. 稲尾 崇, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: 経過中に MPO-ANCA が陽性化した間質性肺炎の一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  9. 中西智子, 上山維晋, 寺田 悟, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 西本優子, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎, 田口善夫: 潰瘍性大腸炎に合併した亜急性発症の間質性肺炎の一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  10. 寺田 悟, 上山維晋, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎: 緩徐な進行を認めた EML4-ALK 陽性肺癌の一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  11. 加持雄介, 笹井恒雄, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 富松浩隆, 谷口尚範, 野間恵之: 転移性肝腫瘍へ肝動注療法中に肝破裂をきたした非小細胞肺癌の一例. 第87回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  12. 安田武洋, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 笹井恒雄, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 野間恵之: 肺腺癌放射線化学療法後にニューモシスティス肺炎を発症した一例. 第87回呼吸器学会近畿地方会, 2016.7.9, 大阪
  13. 濱尾信叔, 上山維晋, 中西智子, 寺田 悟, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎: 気管支鏡により診断に至った気管支内リンパ腫の一例. 第99回日本呼吸器内視鏡学会近畿地方会, 2016.7.23, 大阪
  14. 橋本成修, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 笹井恒雄, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 羽白 高, 田中栄作, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎, 田口善夫: 外科的肺生検にて診断し得た肺 Botrytis 症の一例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都
  15. 濱尾信叔, 上山維晋, 中西智子, 寺田 悟, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: 関節痛発症から2か月の経過で肺胞出血を認め, リウマトイド血管炎が疑われた一例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都
  16. 稲尾 崇, 加持雄介, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: 関節リウマチと慢性閉塞性肺疾患に合併した肺高血圧症に対して PDE 5 阻害薬を使用した一例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都

17. 中西智子, 上山維晋, 寺田 悟, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 西本優子, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎, 田口善夫: 健診で指摘された肺多発結節影の精査にて結節性硬化症に伴う *angiomyolipomas* と診断した 1 例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都
18. 寺田 悟, 上山維晋, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎: 右膝の創部感染から鼠径部のリンパ節炎に進展した難治性 *Mycobacterium fortuitum* 感染症の一例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都
19. 加持雄介, 笹井恒雄, 寺田 悟, 上山維晋, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: 慢性骨髄性白血病の治療中に発症した非小細胞肺癌の一例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都
20. 安田武洋, 蓑田紗希, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 笹井恒雄, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎: 比較的急速な経過をとり肺胞出血を契機に診断した顕微鏡的多発血管炎の 1 例. 第88回呼吸器学会近畿地方会, 2016.12.10, 京都

一般演題 (ポスター)

21. 橋本成修, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 羽白 高, 田中栄作, 野間恵之, 本庄 原, 小橋陽一郎, 田口善夫: HRCT 上 possible UIP パターンを呈した外科的肺生検例の検討. 第56回日本呼吸器学会学術講演会, 2016.4.8-10, 京都
22. 橋本成修, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 羽白 高, 田中栄作, 野間恵之, 飯岡 大, 大野仁嗣, 田口善夫: 悪性リンパ腫に対する rituximab を含む治療が合併する肺 MAC 症に及ぼす影響について. 第90回日本感染症学会総会・学術講演会, 2016.4.15-16, 仙台 (宮城)
23. 安田武洋, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: 当科における漸増法を中心としたアファチニブ投与方法の検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.20, 福岡
24. 稲尾 崇, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫: EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に伴う癌性髄膜炎に対するアファチニブ投与症例の検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.21, 福岡

◇研究会

特別講演・教育講演

1. 田口善夫: 臨床現場から IPF を再考する. 第13回北大阪間質性肺疾患研究会, 2016.6.10, 大阪
2. 田口善夫: 私が症例から学んだこと. ウフィーチ研究会, 2016.7.23, 福岡
3. 田口善夫: 臨床現場から特発性肺線維症を考える. 第2回お茶の水間質性肺疾患研究会, 2016.9.7, 東京



4. 田口善夫：臨床現場から IPF の診断と治療を考える。第 3 回 IPF 研究会 in 金沢，2016.10.26，金沢（石川）
  5. 田口善夫：膠原病と間質性肺炎：呼吸器内科医から。大和免疫研究会，2016.12.6，生駒（奈良）
- 一般演題（口演）
6. 寺田 悟，上山維晋，中西智子，濱尾信叔，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，田口善夫，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎：アバスタチン併用が有効であった肺癌脳転移症例の一例。奈良肺癌研究会，2016.6.23，奈良
  7. 濱尾信叔，上山維晋，中西智子，寺田 悟，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，田口善夫：当院における間質性肺炎に対するミゾリビンの使用経験。NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構夏季学術講演会，2016.7.30，神戸
  8. 橋本成修，上山維晋，寺田 悟，中西智子，濱尾信叔，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，羽白 高，田中栄作，野間恵之，田口善夫：nivolumab 投与中に大腸炎を発症した一例。阪奈和がん免疫療法セミナー，2016.9.3，大阪
  9. 橋本成修，上山維晋，寺田 悟，中西智子，濱尾信叔，笹井恒雄，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，羽白 高，田中栄作，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎，田口善夫：外科的肺生検にて診断し得た肺 Botrytis 症の一例。第13回奈良県感染症診療フォーラム，2016.9.17，奈良
  10. 稲尾 崇，加持雄介，上山維晋，寺田 悟，中西智子，濱尾信叔，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，田口善夫：慢性閉塞性肺疾患と関節リウマチに合併した肺高血圧症の一例。奈良呼吸器疾患研究会，2016.10.15，奈良
  11. 羽白 高，飯岡 大：閉塞性細気管支炎の症状増悪時にネーザルハイフローが有効だった 1 例。第 4 回ネーザルハイフロー療法勉強会，2016.11.12，大阪
  12. 橋本成修，上山維晋，寺田 悟，中西智子，濱尾信叔，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，羽白 高，田中栄作，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎，田口善夫：大葉性肺炎の所見を呈した肺非結核性抗酸菌症の検討。第47回結核・非定型抗酸菌症治療研究会，2016.12.4，大阪
  13. 寺田 悟，上山維晋，中西智子，濱尾信叔，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，田口善夫，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎：VATS 下肺生検の数年後に診断のついたびまん性肺疾患の一例。奈良びまん性肺疾患フォーラム，2017.1.19，奈良
  14. 中西智子，上山維晋，寺田 悟，濱尾信叔，稲尾 崇，加持雄介，安田武洋，橋本成修，羽白 高，田中栄作，西本優子，野間恵之，本庄 原，小橋陽一郎，田口善夫：当院で経験した *Schizophyllum commune* によるアレルギー性気管支肺真菌症 3 例の臨床的検討。NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構第12期総会，2017.2.4，京都

◇その他の講演

1. 羽白 高：リウマチ診療に役立つ胸部画像読影の ABC。第60回日本リウマチ学会総会・学術集会，2016.4.22，横浜

2. 田口善夫：肺癌治療における薬剤性肺障害を考える。Lung Cancer Meeting in Osaka, 2016.4.22, 大阪
3. 羽白 高：オプジーボが奏功した1例。Nara Immuno-Oncology Meeting for Lung Cancer, 2016.7.1, 奈良
4. 田口善夫：臨床現場からIPFの診断を考える。IPF academy in NARA, 2016.7.7, 奈良
5. 田口善夫：特別講演「特発性肺線維症：臨床現場から再考する」。2016.7.30, 大阪
6. 田口善夫：間質性肺炎の基本的理解と看護師の役割。日総研グループ公開セミナー, 2016.8.20, 大阪
7. 田口善夫：ベッドサイドフィジオロジー 症例2。第56回呼吸機能講習会, 2016.8.25, 岡山
8. 安田武洋：EGFR 遺伝子変異陽性 NSCLC の最新の治療戦略。奈良県薬剤師生涯研修セミナー, 2016.9.1, 奈良
9. 田口善夫：特別講演「臨床現場からIPFの診断と治療を考える」。オフエブ発売1周年記念講演会, 2016.10.12, 大阪
10. 羽白 高：実地医家のためのCOPD診療のエッセンス。第18回 Single Topic Seminar in 鳴尾, 2016.10.27, 西宮(兵庫)
11. 羽白 高：実地医家のための喘息・COPD診療のエッセンス。呼吸器疾患医療連携の会, 2016.11.17, 天理
12. 橋本成修, 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫：天理よろづ相談所病院 呼吸器内科医局紹介と紹介事例。呼吸器疾患医療連携の会, 2016.11.17, 天理
13. 上山維晋, 寺田 悟, 中西智子, 濱尾信叔, 稲尾 崇, 加持雄介, 安田武洋, 橋本成修, 羽白 高, 田中栄作, 田口善夫：当院におけるハトリンパ球刺激試験陽性例と陰性例の比較検討。平成28年度びまん性肺疾患に関する調査研究班・びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究班合同第3回班会議総会, 2016.12.10, 東京
14. 田口善夫：知って得する呼吸器臨床 Part II。おかたに病院病病連携の会, 2016.12.13, 奈良  
(2015年度追加)
15. 田口善夫：IPF(特発性肺線維症)の診療について。宇陀市立病病連携の会, 2016.3.10, 宇陀(奈良)

#### ◇院内集談会

1. 羽白 高：新人看護師のための呼吸器系解剖のABC。呼吸器系院内勉強会, 2016.4.26, 西病棟1階会議室
2. 羽白 高：看護師さんのための胸部X線写真読影のABC。呼吸器系院内勉強会, 2016.6.11, 西病棟1階会議室
3. 加持雄介：結核と感染対策。院内感染対策講習会, 2016.8.24, 外来診療棟5階講堂
4. 羽白 高：喘息とCOPDの吸入療法のエッセンス。院内薬剤部勉強会, 2016.9.21, 外

来診療棟薬剤部控室

5. 羽白 高：インシデントから学ぶ呼吸管理のいろは．呼吸ケア対策チーム活動報告会，2016.11.25，外来診療棟 5 階講堂

◇一般向け

(講演)

1. 加持雄介：肺炎とワクチン．憩の家講座，2016.8.26，本館 7 階講堂
2. 羽白 高：咳・タン・息切れ 年のせい？ 知って納得！COPD. COPD 市民公開講座，2016.11.13，奈良

## 内分泌内科

◇書籍

1. 飯降直男，辻井 悟：糖尿病，ステロイド治療のエッセンス，pp75-81，川合眞一 編集，じほう（東京），2016
2. 辻井 悟，林野泰明：糖尿病の自己管理教育と療養支援，糖尿病診療ガイドライン2016，pp147-173，日本糖尿病学会 編集，南江堂（東京），2016

◇学術雑誌

(欧文)

1. Imamura F<sup>1</sup>, O'Connor L<sup>1</sup>, Ye Z<sup>1</sup>, Mursu J<sup>2</sup>, Hayashino Y, Bhupathiraju SN<sup>3</sup>, Forouhi NG<sup>1</sup>: Consumption of sugar sweetened beverages, artificially sweetened beverages, and fruit juice and incidence of type 2 diabetes: systematic review, meta-analysis, and estimation of population attributable fraction, *British Journal of Sports Medicine* 2016 ; 50(8) : 496-504.
2. Speyer E<sup>4</sup>, Morgenstern H<sup>5</sup>, Hayashino Y, Kerr PG<sup>6</sup>, Rayner H<sup>7</sup>, Robinson BM<sup>4</sup>, Pisoni RL<sup>4</sup>: Reliability and validity of the coping strategy inventory-short form applied to hemodialysis patients in 13 countries: Results from the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS), *Journal of Psychosomatic Research* 216 ; 91 : 12-19.
3. Hayashino Y, Izumi K<sup>8</sup>, Okamura S, Nishimura R<sup>9</sup>, Origasa H<sup>10</sup>, Tajima N<sup>9</sup> (JDCP study group): Duration of diabetes and types of diabetes therapy in Japanese patients with type 2 diabetes: The Japan Diabetes Complication and its Prevention prospective study 3 (JDCP study 3), *Journal of Diabetes Investigation* 2017 ; 8(2) : 243-249.
4. Hayashino Y, Okamura S, Tsujii S, Ishii H<sup>11</sup>: Association of serum uric acid levels with the risk of development or progression of albuminuria among Japanese patients with type 2 diabetes: a prospective cohort study [Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 10)], *Acta Diabetologica* 2016 ; 53(4) : 599-607.

5. Sakushima K<sup>12</sup>, Yamazaki S<sup>13</sup>, Fukuma S<sup>13</sup>, Hayashino Y, Yabe I<sup>12</sup>, Fukuhara S, Sasaki H<sup>12</sup>: Influence of urinary urgency and other urinary disturbances on falls in Parkinson's disease, *Journal of the Neurological Sciences* 2016 ; 360 : 135–137.
6. Sakane N<sup>14</sup>, Sato J<sup>15</sup>, Tsushita K<sup>16</sup>, Tsujii S, Kotani K<sup>17</sup>, Tominaga M<sup>18</sup>, Kuzuya H<sup>14</sup>, et al: Determinants of Glycated Hemoglobin in Subjects With Impaired Glucose Tolerance: Subanalysis of the Japan Diabetes Prevention Program, *Journal of Clinical Medicine Research* 2017 ; 9(4) : 360–365.
7. Kuwata H<sup>11</sup>, Okamura S, Hayashino Y, Tsujii S, Ishii H<sup>11</sup>: Higher levels of physical activity are independently associated with a lower incidence of diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes: A prospective cohort study, *Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 15)*, *PLoS ONE* 2017 ; 12(3) : e 0172890.
8. Sakane N<sup>14</sup>, Sato J<sup>15</sup>, Tsushita K<sup>16</sup>, Tsujii S, Kotani K<sup>17</sup>, Kawazu S, Kuzuya H<sup>14</sup>, et al: Effects of lifestyle intervention on weight and metabolic parameters in patients with impaired glucose tolerance related to beta-3 adrenergic receptor gene polymorphism Trp 64 Arg(C/T): Results from the Japan Diabetes Prevention Program, *Journal of Diabetes Investigation* 2016 ; 7(3) : 338–342.
9. Hayashino Y, Okamura S, Tsujii S, Ishii H<sup>11</sup>: Association of serum uric acid levels with the risk of development or progression of albuminuria among Japanese patients with type 2 diabetes: a prospective cohort study [Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT 10)], *Acta Diabetologica* 2016 ; 53(4) : 599–607.

(邦 文)

10. 古家美幸, 古賀正史, 石橋みどり, 豊田充宏, 辻井 悟: 免疫法で測定した HbA1c が偽高値を示し抗糖尿病薬を投与された非糖尿病の異常ヘモグロビン HbC の 1 例, *糖尿病* 2016 ; 59(7) : 463–468.
11. 北谷真子: 糖尿病医療学としての食事療法 そっぽを向く人に手向ける言葉, *糖尿病診療マスター* 2017 ; 15(3) : 222–230.
12. 林野泰明: 患者さんの心にアプローチする糖尿病治療, *Astellas Square: 明日の医療を考える* 2016 ; 2–3月号 : 16–18.
13. 林野泰明, 石丸吹雪<sup>20</sup>, 門脇 孝<sup>13</sup>, 石井 均<sup>11</sup>: DAWN 2<sup>TM</sup> 調査より考察する世界における糖尿病治療の心理的側面と日本の課題, *糖尿病* 2016 ; 59(9) : 652–660.
14. 林野泰明: インスリン治療のアドヒアランス, *糖尿病診療マスター* 2017 ; 15(1) : 58–64.
15. 辻井 悟: 【糖尿病診療の障壁 (バリア) をのりこえる】薬物治療を効果的に行うために 注射薬に対する障壁 (バリア) をのりこえるために, *糖尿病診療マスター* 2016 ; 14(8) : 610–615.
16. 辻井 悟: 【CGM・CSII・SAP……ここまで知っておきたい インスリン療法最前線】総論: よくわかるインスリン療法 Q&A (Q2) インスリンを導入するのはどん

なとき？, 糖尿病ケア 2016; 13(8): 686-687.

## ◇学会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 林野泰明: 行動医学的アプローチの基礎 総論編. 第3回糖尿病医療学学会, 2016.10.9, 京都
2. 北谷真子: 糖尿病患者のこころと行動 —行動変化ステージモデルを中心に—. 第51回糖尿病学の進歩, 2017.2.17, 京都
3. 辻井 悟: 糖尿病昏睡. 第51回糖尿病学の進歩, 2017.2.17, 京都

一般演題 (口演)

4. 岡村真太郎, 黒澤健太郎, 高野季代子, 飯降直男, 古家美幸, 北谷真子, 林野泰明, 辻井 悟: 周期性クッシング症候群を呈する, 原発巣不明の異所性 ACTH 症候群の一例. 第17回日本内分泌学会近畿支部学術集会, 2016.10.15, 和歌山
5. 黒澤健太郎, 高野季代子, 岡村真太郎, 飯降直男, 古家美幸, 北谷真子, 林野泰明, 辻井 悟: 摂食障害を有し, 急性膵炎と DKA を合併した肥満 2 型糖尿病患者の 1 症例. 第53回日本糖尿病学会近畿地方会, 2016.11.12, 大阪
6. 黒澤健太郎, 高野季代子, 岡村真太郎, 飯降直男, 古家美幸, 北谷真子, 林野泰明, 御前 隆, 辻井 悟: 活動性のバセドウ眼症の治療とバセドウ病のアイソトープ治療を並行して行った一例. 第215回日本内科学会近畿地方会, 2017.3.25, 神戸

一般演題 (ポスター)

7. 古家美幸, 古賀正史, 石橋みどり, 豊田充宏, 辻井 悟: 異常ヘモグロビンの HbC において免疫法で測定した HbA<sub>1c</sub> が偽性高値を示した原因の検討. 第59回日本糖尿病学会学術総会, 2016.5.20, 京都
8. 林野泰明, 黒澤健太郎, 高野季代子, 桑田博仁, 岡村真太郎, 飯降直男, 古家美幸, 北谷真子, 石井 均<sup>1)</sup>, 辻井 悟: 薬物治療中の 2 型糖尿病患者における治療関連 QOL (quality of life) は運動量と関連している. 第59回日本糖尿病学会学術総会, 2016.5.20, 京都

## ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 林野泰明: 糖尿病に併存するうつ病への対策を考える. 第20回京都 CDE の会講習会, 2016.7.31, 京都
2. 辻井 悟: 糖尿病治療の新たなる潮流は来るのか. 第26回南和地区糖尿病フォーラム, 2016.10.13, 大淀町 (奈良)
3. 北谷真子: 糖尿病医療学について考えてみませんか? ~症例心理カンファレンスを通して見えてきたもの~. 第17回糖尿病とこころ研究会, 2016.10.21, 出雲 (島根)
4. 辻井 悟: 血糖降下薬の効果を探る. 糖尿病治療の今と未来を考える会 in 奈良, 2016.11.10, 橿原 (奈良)
5. 辻井 悟: 糖尿病治療の新たなる潮流. 糖尿病セミナー, 2016.11.25, 大和高田 (奈良)

6. 林野泰明：なぜ今、糖尿病診療における医療提供者の心のケアを考えるのか？. 第7回京都糖尿病教育フォーラム, 2016.12.3, 京都
  7. 林野泰明：糖尿病に併存するうつ病・睡眠障害について考える. 身体疾患患者へのメンタルヘルス研究会, 2017.2.7, 広島
- 一般演題（口演）
8. 飯降直男：糖尿病における薬物治療と合併症について. 第13回やまと循環器連携懇話会, 2016.7.16, 奈良
  9. 岡村真太郎, 林野泰明, 辻井 悟：骨・ミネラル代謝の評価を行った甲状腺疾患の2例. 第7回奈良甲状腺研究会, 2016.9.3, 橿原（奈良）
  10. 北谷真子：病棟で行う症例心理カンファレンスについて ～その効果と実際～. 第35回天理・桜井地区 DM 懇話会, 2016.9.29, 天理
  11. 北谷真子：事例検討にあたり必要な事柄について. 第20回西東京糖尿病心理と医療研究会, 2016.10.1, 東京
  12. 辻井 悟：高齢者糖尿病の特徴. 高齢者の糖尿病治療を考える懇話会, 2016.10.29, 奈良
  13. 林野泰明：糖尿病の心理社会背景と糖尿病アウトカムに関する前向きコホート研究 Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT). 第1回糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ研究会, 2016.11.26, 東京

◇その他の講演

1. 古家美幸：これからの1型糖尿病治療 ～インスリンポンプとCGM～. 第13期糖尿病療養指導研修会, 2016.5.26, 奈良
2. 北谷真子：糖尿病医療学について考えてみませんか？ ～症例心理カンファレンスを通して見えてきたもの～. 珠洲糖尿病フォーラム, 2016.7.15, 珠洲（石川）
3. 北谷真子：糖尿病医療学 ～医学のヒューマンサイド～. 第18回和歌山糖尿病療養セミナー, 2016.7.9, 和歌山
4. 古家美幸：これからのインスリン治療 ～インスリンポンプ治療. SAPを含めて～. インスリン治療セミナー, 2016.8.26, 和歌山
5. 北谷真子：事例検討にあたり必要な事柄について. 糖尿病治療 心理面からのアプローチを考える会 in 岐阜, 2016.9.10, 岐阜
6. 古家美幸：CSII・SAP療法の導入 マネージメントの実際. 第1回奈良1型糖尿病ミーティング, 2016.10.29, 天理
7. 古家美幸：GLP-1受容体作動薬位置づけと注射への抵抗感に関して. 第2回奈良GLP-1フォーラム, 2016.11.24, 奈良
8. 北谷真子：糖尿病医療学とは？ 心理カンファレンスから見えてきたもの. 第5回兵庫県糖尿病薬剤研修会, 2016.12.10, 神戸

◇一般向け

（講演）

1. 辻井 悟：糖尿病とはどんな病気なのか？. 天理市市民公開講座, 2016.8.7, 天理

2. 飯降直男：甲状腺疾患について．第511回憩の家講座，2016.10.26，本館7階講堂

(凡例) 1 = University of Cambridge School of Clinical Medicine, 2 = University of Eastern Finland, 3 = Harvard T H Chan School of Public Health, 4 = Arbor Research Collaborative for Health, 5 = School of Public Health, University of Michigan, 6 = Monash Health & Monash University, 7 = Birmingham Heartlands Hospital, 8 = 国立国際医療センター, 9 = 東京慈恵会医科大学, 10 = 富山大学医学部, 11 = 奈良県立医科大学, 12 = 北海道大学医学研究科, 13 = 京都大学医学研究科, 14 = 京都医療センター, 15 = 名古屋大学医学部, 16 = 愛知健康振興財団, 17 = 自治医科大学, 18 = 栃木花の舎病院, 19 = 朝日生命成人病研究所丸の内病院, 20 = ノボ ノルディスクファーマ株式会社

## 神 経 内 科

### ◇書 籍

1. 田中寛大, 石丸裕康：低リスクの軽症頭部外傷患者に対する頭部 CT, ER・ICU 100の don'ts —明日からやめる医療ケア, pp 1 - 3, 志馬伸朗 総編集, 中外医学社 (東京), 2016
2. 田中寛大, 石丸裕康：合併症のない頭痛患者に対する画像診断, ER・ICU 100の don'ts —明日からやめる医療ケア, pp 4 - 6, 志馬伸朗 総編集, 中外医学社 (東京), 2016
3. 田中寛大, 石丸裕康：意識障害の診療ですぐに CT を撮像する, ER・ICU 100の don'ts —明日からやめる医療ケア, pp 7 - 9, 志馬伸朗 総編集, 中外医学社 (東京), 2016
4. 田中寛大, 石丸裕康：めまいを安易に Ménière 病や末梢性めまいと診断する, ER・ICU 100の don'ts —明日からやめる医療ケア, pp17-19, 志馬伸朗 総編集, 中外医学社 (東京), 2016
5. 田中寛大, 石丸裕康：DNAR と「なにもしない」ことは同一ではない, ER・ICU 100の don'ts —明日からやめる医療ケア, pp31-32, 志馬伸朗 総編集, 中外医学社 (東京), 2016

### ◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Kambe D, Takeoka K, Ogawa K, Doi K, Maruyama H, Yoshida A, Suenaga T, Kageyama T: Treatment-resistant neuromyelitis optica spectrum disorders associated with *Toxocara canis* infection: A case report, *Multiple Sclerosis and Related Disorders* 2017; 13: 116-118.
2. Tanaka K, Ota N, Harada Y, Wada I, Suenaga T: Normalization of sonographical multifocal nerve enlargements in a MADSAM patient following a good clinical response to intravenous immunoglobulin, *Neuromuscular Disorders* 2016; 26: 619

-623.

3. Tsukita K, Kageyama T, Suenaga T: Hyperintense lesion along the pyramidal tract on DWI in hypoglycaemic hemiplegia, *BMJ Case Report* 2016 ; doi : 10.1136/bcr-2016-215352.
4. Tsukita K, Sakamaki-Tsukita H, Suenaga T: Convergence Spasm: The Importance of Infrared Videotaping, *Internal Medicine* 2017 ; 56(7) : 883.
5. Hayashida S<sup>1</sup>, Masaki K<sup>1</sup>, Suzuki SO<sup>1</sup>, Hiwatashi A<sup>1</sup>, Matsushita T<sup>1</sup>, Watanabe M<sup>1</sup>, Suenaga T, et al: Early and Extensive Spinal White Matter Involvement in Neuromyelitis Optica, *Brain Pathology* 2016 ; doi : 10.1111/bpa.12386.

(邦文)

6. 月田和人, 下竹昭寛<sup>1</sup>, 中谷光良<sup>1</sup>, 高橋幸利<sup>2</sup>, 池田昭夫<sup>1</sup>, 高橋良輔<sup>1</sup>: 辺縁系脳炎で発症した神経梅毒の1例, *臨床神経学* 2017 ; 57 (1) : 37-40.
7. 田中寛大, 末長敏彦: 延髄梗塞による下部尿路機能障害, *自律神経* 2016 ; 53 : 299-304.
8. 和田一孝, 高橋亜由美, 田中寛大, 古川公嗣, 島 淳, 神辺大輔, 新出明代, 景山卓, 末長敏彦: 両側感音性難聴に対して人工内耳埋込術が奏功した *Streptococcus suis* による細菌性髄膜炎の一例, *日本内科学会雑誌* 2016 ; 105 : 730-735.

#### ◇学会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Tsukita K, Sakamaki-Tsukita H, Kambe D, Yagita K, Hirose M, Yamanaka H, Wada I, Obata K, Shinde A, Kageyama T, Suenaga T: Atypical parkinsonism with oculomotor disturbance. The 16th International Parkinson's Disease Symposium in Takamatsu, 2017. 2. 17, Takamatsu(Japan)

一般演題 (ポスター)

2. Kageyama T, Miyamoto T<sup>3</sup>, Ozaki A<sup>4</sup>, Komori M<sup>1</sup>, Okunomiya T<sup>1</sup>, Kambe D, Suenaga T, et al: Long-term effect of cyclosporine A in the prophylaxis of neuromyelitis optica spectrum disorders. AAN 2016 Annual Meeting, 2016. 4. 15, Vancouver(Canada)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

3. 田中寛大, 北村智明, 松井雄哉, 堀川恭平, 山名則和, 時女知生, 秋山義典: 頸動脈ステント留置術後の早期再狭窄における, 術前 LDL コレステロール管理の重要性. *Stroke* 2016, 2016. 4. 15, 札幌
4. 田中寛大, 北川孝道, 山名則和, 秋山義典: 頸動脈ステント留置術中に認めたステント内 mobile plaque の評価に頸動脈超音波検査が有用であった1例. 第35回日本脳神経超音波学会総会, 2016. 6. 4, 横浜



一般演題（口演）

5. Tsukita K, Sawamoto N<sup>1</sup>, Misaki T, Tanaka K, Sakamaki H, Yamanaka H, Wada I, Furukawa K, Kambe D, Shinde A, Kageyama T, Suenaga T: Relation of acute levodopa challenge and striatal dopamine transporter density in Parkinson's disease. 第57回日本神経学会学術大会, 2016.5.20, 神戸
6. 土橋直史, 酒巻春日, 山中治郎, 月田和人, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 硬膜生検が有用であった IgG 4 関連肥厚性硬膜炎の 1 例. 日本内科学会近畿地方会, 2016.6.25, 大阪
7. 田中寛大, 太田奈津子, 末長敏彦: 超音波検査で著明な末梢神経腫大を認めた CIDP における腓腹神経病理所見. 第35回日本脳神経超音波学会総会, 2016.6.3, 横浜
8. 和田一孝, 田口智朗, 廣瀬正和, 八木田薫, 酒巻春日, 月田和人, 山中治郎, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 進行性の四肢筋力低下・感覚障害に加え, 声帯麻痺を呈したギランバレー症候群 (GBS) の 1 例. 第105回日本神経学会近畿地方会, 2016.7.2, 京都
9. 月田和人, 廣瀬正和, 八木田薫, 酒巻春日, 山中治郎, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: WEBINO 症候群に body lateropulsion, 手口感覚症候群を合併した橋梗塞の 1 例. 第105回日本神経学会近畿地方会, 2016.7.2, 京都
10. 酒巻春日, 和田一孝, 八木田薫, 廣瀬正和, 田口智朗, 月田和人, 山中治郎, 新出明代, 景山 卓, 橋本修治, 末長敏彦: 器質的疾患がなく発作時の 123 I-IMP-SPECT が有用であった, 複雑幻視のみを呈した単純部分発作の 1 例. 第12回日本てんかん学会近畿地方会, 2016.7.23, 大阪
11. 勝島将夫, 酒巻春日, 月田和人, 山中治郎, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦, 橋本修治: 脳アミロイドアンギオパチーを背景に非痙攣性てんかん重積を発症した 1 例. 第213回日本内科学会近畿地方会, 2016.9.24, 大阪
12. 田口智朗, 島 淳<sup>1</sup>, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 透析患者において CTRX による代謝性脳症をきたした一例. 第34回日本神経治療学会総会, 2016.11.3, 米子(鳥取)
13. 月田和人, 古川公嗣, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 限局性円蓋部くも膜下出血による異常感覚発作の抑制にカルバマゼピンが無効でバルプロ酸が有効であった 1 例. 第34回日本神経治療学会総会, 2016.11.4, 米子(鳥取)
14. 八木田薫: 多系統萎縮症の加療中に後頭葉可逆性白質脳症を発症した 1 例. 第69回日本自律神経学会総会, 2016.11.11, 熊本
15. 廣瀬正和, 田口智朗, 八木田薫, 月田和人, 酒巻春日, 山中治郎, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 金子仁彦<sup>5</sup>, 高橋利幸<sup>5</sup>, 末長敏彦: 片側で水平性半盲をきたした抗ミエリンオリゴデンドロサイト (MOG) 抗体陽性視神経炎の 2 例. 第106回日本神経学会近畿地方会, 2016.11.19, 京都
16. 田口智朗, 八木田薫, 廣瀬正和, 山中治郎, 酒巻春日, 月田和人, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: HTLV-1 associated neurological complex の一例. 第106回日本神経学会近畿地方会, 2016.11.19, 京都

17. 山中治郎：頭部 MRI DWI で異常信号が持続した Intravascular Large B Cell lymphoma の 1 例。第107回日本神経学会近畿地方会，2017.3.5，大阪
18. 油谷英孝，月田和人，酒卷春日，山中治郎，和田一孝，田中寛大，新出明代，景山 卓，末長敏彦：腰部クモ膜下腔腹腔シャント（L-P シャント）が病態に重要と考えられ，MRI で全脳びまん性の posterior reversible encephalopathy syndrome（PRES）を認めた高血圧性脳症の 1 例。第215回日本内科学会近畿地方会，2017.3.25，神戸  
一般演題（ポスター）
19. 新出明代，和田一孝，田中寛大，古川公嗣，神辺大輔，末長敏彦：ラクナ梗塞症例での再発の検討。第41回日本脳卒中学会総会，2016.4.15，札幌
20. 田中寛大，和田一孝，神辺大輔，新出明代，末長敏彦：左右で一致しない同名水平性部分半盲：外側膝状体に限局する梗塞。Stroke 2016，2016.4.16，札幌
21. Tanaka K, Ota N, Suenaga T: Proposed classification for echogenicity patterns of enlarged peripheral nerves in CIDP. 第57回日本神経学会学術大会，2016.5.18，神戸
22. 酒卷春日，田中寛大，太田奈津子，月田和人，山中治郎，和田一孝，古川公嗣，神辺大輔，新出明代，景山 卓，末長敏彦：ALS における超音波検査での筋線維束攣縮と針筋電図での高振幅運動単位電位の関連。第57回日本神経学会学術大会，2016.5.19，神戸
23. 新出明代，酒卷春日，月田和人，山中治郎，和田一孝，景山 卓，末長敏彦：帯状疱疹関連運動障害患者の MRI 画像の検討。第57回日本神経学会学術大会，2016.5.20，神戸
24. 和田一孝，酒卷春日，月田和人，山中治郎，田中寛大，古川公嗣，神辺大輔，新出明代，景山 卓，末長敏彦：Lateralized Periodic Discharge を呈した NCSE の治療後に脳萎縮を認めた 2 症例。第57回日本神経学会学術大会，2016.5.20，神戸
25. 景山 卓，酒卷春日，島 淳，月田和人，山中治郎，古川公嗣，和田一孝，田中寛大，神辺大輔，新出明代，楠 進，橋本修治，末長敏彦：抗ガングリオシド抗体関連脳幹脳炎における体性感覚誘発電位所見の検討。第57回日本神経学会学術大会，2016.5.21，神戸
26. 景山 卓，酒卷春日，島 淳，楠 進，末長敏彦：Bickerstaff 型脳幹脳炎および Miller-Fisher 症候群における体性感覚誘発電位所見の検討。第28回日本神経免疫学会学術集会，2016.9.29，長崎
27. 田中寛大，山名則和，時女知生，秋山義典：症候性内頸動脈狭窄症に対する発症早期の CAS は有用か？。第32回日本脳神経血管内治療学会学術総会，2016.11.25，神戸

#### ◇研究会

##### 一般演題（口演）

1. 月田和人，廣瀬正和，八木田薫，酒卷春日，山中治郎，和田一孝，田中寛大，新出明代，景山 卓，末長敏彦：WEBINO 症候群に body lateropulsion，手口感覚症候群を合併した橋梗塞の 1 例。亀山正邦神経懇話会（KSK），2016.6.25，大阪

2. 月田和人, 田口智朗, 廣瀬正和, 八木田薫, 酒卷春日, 山中治郎, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 急性の意識障害で来院した65歳男性例. 第129回大阪神経内科の集い, 2016.7.6, 大阪
3. 田中寛大, 末長敏彦: 右上下肢痛を伴う単純部分発作を呈した症候性てんかん. Nara Epilepsy Meeting, 2016.7.9, 奈良
4. 廣瀬正和, 田中寛大, 八木田薫, 月田和人, 酒卷春日, 山中治郎, 和田一孝, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: Logopenic progressive aphasia に類似した失語を伴ったアルツハイマー型認知症の一例. 奈良認知症研究会, 2016.7.13, 奈良
5. 田口智朗, 太田奈津子, 八木田薫, 廣瀬正和, 山中治郎, 酒卷春日, 月田和人, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: CIDP mimic —POEMS 症候群の1例—. 奈良末梢神経研究会, 2016.9.10, 奈良
6. 田口智朗, 太田奈津子, 八木田薫, 廣瀬正和, 山中治郎, 酒卷春日, 月田和人, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 血管遠征ニューロパチーにおける pseudo-conduction block 部の神経腫大所見とその内部エコー. 京滋末梢神経疾患研究会, 2016.9.16, 京都
7. 八木田薫: 左上下肢の筋力低下で発症した非典型的 HTLV-1 関連脊髄症の1例. 第16回奈良神経内科セミナー, 2016.10.1, 奈良
8. 廣瀬正和, 山中治郎, 八木田薫, 月田和人, 酒卷春日, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: 網膜動脈閉塞症とてんかんを合併し診断に苦慮した血管内リンパ腫の一例. 奈良脳卒中研究会, 2016.10.13, 橿原 (奈良)
9. 月田和人, 廣瀬正和, 八木田薫, 酒卷春日, 山中治郎, 和田一孝, 田中寛大, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: アルツハイマー病の薬物治療 (当院でのアンケートとガラントミン使用症例を交えて). 第10回京阪奈認知症研究会, 2016.10.14, 大阪
10. 山中治郎: 頭部 MRI DWI で異常信号が持続した Intravascular Large B Cell lymphoma の1例. 亀山正邦神経懇話会 (KSK), 2016.11.26, 京都
11. 田口智朗, 田中寛大, 太田奈津子, 八木田薫, 廣瀬正和, 山中治郎, 酒卷春日, 月田和人, 和田一孝, 新出明代, 景山 卓, 末長敏彦: POEMS 症候群における末梢神経エコーの重要性. 神経疾患研究会, 2017.1.13, 天理
12. 八木田薫: パーキンソン病患者の緊急入院の実際 ~当院での検討を踏まえて~. ハッピーフェイス in 奈良, 2017.2.10, 奈良

◇その他の講演

1. 末長敏彦: 認知症の鑑別診断と治療薬の選択. 宇陀地区医師会学術講演会, 2016.5.28, 宇陀 (奈良)
2. 景山 卓: MS と NMO の最新の話. 梅田神経懇話会, 2016.6.24, 大阪
3. 末長敏彦: 認知症の診断と治療. 認知症医療連携セミナー, 2016.9.8, 桜井 (奈良)
4. 末長敏彦: 認知症の診断と治療. 第3回城南内科カンファレンス, 2016.9.28, 大和郡山 (奈良)
5. 新出明代: 重症化しやすい難病の理解. 郡山保健所難病関係職員研修会, 2016.11.17,

大和郡山（奈良）

6. 末長敏彦：奈良県パーキンソン病実態調査．神経疾患セミナー in 天理，2017.1.13，天理
7. 新出明代：当院 ALS 患者のラジカット使用状況 —医療連携をふまえて—．天理 ALS 連携懇話会，2017.2.24，大和郡山（奈良）
8. 末長敏彦：高齢者のてんかん．天理地区医師会定例会講演会，2017.2.25，天理

◇院内集談会

1. 景山 卓：Cell-based assay を用いた抗アクアポリン 4 抗体定量の試み．2016天理よろづ相談所学術発表会，2016.11.10，外来診療棟 5 階講堂
2. 末長敏彦：インシデントの報告状況．医療安全講習会，2016.11.22，外来診療棟 5 階会議室

◇一般向け

（講演）

1. 末長敏彦：認知症．憩の家講座，2016.4.26，本館 7 階講堂
2. 景山 卓：視神経脊髄炎の最近の話題．MS/NMO 医療講演会，2016.10.2，奈良

（凡例） 1 = 京都大学大学院医学研究科， 2 = 静岡てんかん・神経医療センター， 3 = 近畿大学医学部， 4 = 北野病院， 5 = 東北大学医学部

## 血液内科

◇学術雑誌

（欧文）

1. Iioka F, Izumi K, Kamoda Y, Akasaka T, Ohno H: Outcomes of very elderly patients with aggressive B-cell non-Hodgkin lymphoma treated with reduced-dose chemotherapy, *International Journal of Clinical Oncology* 2016 ; 21(3): 498-505.
2. Kamoda Y, Izumi K, Iioka F, Akasaka T, Nakamura F, Kishimori C, Tsuda K, Fukutsuka K, Okumura A, Hayashida M, Ohno H: Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia is separated into two subgroups associated with survival by BCR-ABL fluorescence in situ hybridization of segmented cell nuclei: Report from a single institution, *Acta Haematologica* 2016 ; 136(3): 157-166.
3. Iioka F, Honjo G, Misaki T, Toda Y, Izumi K, Kamoda Y, Nagai Y, Akasaka T, Kitamura K, Nakagawa M, Fukutsuka K, Okumura A, Ohno H: A unique subtype of diffuse large B-cell lymphoma primarily involving the bone marrow, spleen, and liver, defined by fluorodeoxyglucose-positron emission tomography combined with

computed tomography, *Leukemia & Lymphoma* 2016 ; 57(11) : 2593–2602.

4. Izumi K, Fujita K, Fukutsuka K, Hayashida M, Akasaka T, Ohno H : MYC/BCL 2/ BCL 6 triple-hit lymphoma that presented with a suprasellar tumor and meningeal dissemination : A case report, *Tenri Medical Bulletin* 2016 ; 19(1) : 24–33.
5. Toda Y, Kamoda Y, Akasaka T, Honjo G, Misaki T, Fukutsuka K, Hayashida M, Ohno H : De novo transformed follicular lymphoma that carried a double t(14 ; 18) (q 32 ; q 21) chromosomal translocation, *Tenri Medical Bulletin* 2016 ; 19(1) : 34–43.
6. Nakanishi T, Kamoda Y, Iioka F, Okuyama H, Honjo G, Misaki T, Ohno H : Intravascular large B-cell lymphoma diagnosed on a nasal mucosal biopsy with the guide of FDG–PET/CT imaging study, *Tenri Medical Bulletin* 2016 ; 19(1) : 58–61.

(邦 文)

7. 飯岡 大, 下村大樹 : 後天性血栓性血小板減少性紫斑病の診断と治療, *天理医学紀要* 2016 ; 19 ( 2 ) : 105–113.
8. 鴨田吉正, 福塚勝弘, 大野仁嗣 : 「貧血学—最新の診断・治療動向—」 IV. 骨髄疾患による貧血 骨髄線維症 検査・診断 遺伝子変異解析, *日本臨床* 2017 ; 75 (増刊) : 315–321.

#### ◇学 会

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 大野仁嗣 : 教育シンポジウム「WHO2016–the updated version 4 病理と臨床からのメッセージ」 B 細胞リンパ腫の染色体・遺伝子診断. 第56回日本リンパ網内系学会総会, 2016.9.1–3, 熊本

一般演題 (口演)

2. 戸田有亮, 和泉清隆, 鴨田吉正, 永井雄也, 飯岡 大, 赤坂尚司, 大野仁嗣 : t (16 ; 21) (p11 ; q22) 転座を認めた急性好塩基球性白血病の 1 例. 第105回近畿血液学地方会, 2016.6.18, 大阪
3. 飯岡 大, 永井雄也, 戸田有亮, 赤坂尚司, 大野仁嗣 : Allele-specific (AS-) PCR による RHOA G17V 変異解析が微小残存病変 (MRD) の診断に有用であった末梢性 T 細胞リンパ腫の一例. 第105回近畿血液学地方会, 2016.6.18, 大阪
4. 岩崎 毅, 飯岡 大, 戸田有亮, 永井雄也, 赤坂尚司, 大野仁嗣 : 顕著な線溶亢進型 DIC を伴い, 骨髄穿刺部から持続性動脈性出血をきたした急性骨髄性白血病 (AML) の 1 例. 第212回日本内科学会近畿地方会, 2016.6.25, 大阪
5. 西村信城, 飯岡 大, 戸田有亮, 丸山 互, 永井雄也, 足立達哉, 赤坂尚司, 久須美房子, 大野仁嗣 : 胃大腸瘻孔を伴う腹部巨大腫瘤を呈して発症したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) の 1 例. 第213回日本内科学会近畿地方会, 2016.9.24, 大阪
6. 油谷英孝, 飯岡 大, 戸田有亮, 丸山 互, 永井雄也, 足立達哉, 赤坂尚司, 御前 隆,

- 大野仁嗣：低酸素血症で発症した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫 (IVLBCL) の 1 例。第213回日本内科学会近畿地方会，2016.9.24，大阪
7. 永井雄也，戸田有亮，飯岡 大，赤坂尚司，大野仁嗣：MYD88遺伝子変異が診断に有用であった IgG 産生型リンパ形質細胞性リンパ腫の一例。第106回近畿血液学地方会，2016.10.29，大阪
  8. 岡田宜孝，飯岡 大，戸田有亮，丸山 互，永井雄也，足立達哉，赤坂尚司，大野仁嗣：IGH-CCND 1 転座を認めた非分泌型骨髓腫の 6 例。第106回近畿血液学地方会，2016.10.29，大阪
  9. 戸田有亮，飯岡 大，赤坂尚司，大野仁嗣，鴨田吉正：同種造血幹細胞移植後の二次性生着不全に対してエルトロンボパグが奏功している再生不良性貧血の 1 例。第106回近畿血液学地方会，2016.10.29，大阪
  10. 飯岡 大，赤坂尚司，大野仁嗣，中村文彦：造血器腫瘍患者における基質拡張型  $\beta$  ラクタマーゼ (ESBL) 産生 E. coli 菌血症。第106回近畿血液学地方会，2016.10.29，大阪
  11. 森口 慎，足立達哉，飯岡 大，戸田有亮，丸山 互，永井雄也，赤坂尚司，大野仁嗣：対照的な骨髓像を呈した CBF $\beta$ -MHY11を伴う急性骨髄性白血病の 2 症例。第214回日本内科学会近畿地方会，2016.12.3，大阪
  12. 戸田有亮，飯岡 大，丸山 互，永井雄也，足立達哉，赤坂尚司，中村文彦，大野仁嗣：同種造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎症候群 (BOS) を発症した 9 例の臨床転帰。第39回日本造血細胞移植学会総会，2017.3.2-4，松江 (島根)
  13. 山口聡子，飯岡 大，戸田有亮，丸山 互，永井雄也，足立達哉，赤坂尚司，大野仁嗣：60歳以上の高齢者再生不良性貧血 (AA) に対するウサギ抗胸腺細胞グロブリン (rATG) の治療成績。第215回日本内科学会近畿地方会，2017.3.25，神戸
- 一般演題 (ポスター)
14. 赤坂尚司，戸田有亮，和泉清隆，鴨田吉正，永井雄也，飯岡 大，大野仁嗣：t (8 ; 22) (q24 ; q11) /MYC-IGI と t (14 ; 15) (q32 ; q22) /IGH-BCL 2 A 1 を認めた double-hit lymphoma の 1 症例。第56回日本リンパ網内系学会総会，2016.9.1-3，熊本
  15. 戸田有亮，飯岡 大，永井雄也，赤坂尚司，大野仁嗣：MYC/BCL 2/BCL 6 triple-hit lymphoma with bone marrow replacement and leukemic manifestation. 第78回日本血液学会学術集会，2016.10.13-15，横浜
  16. 鴨田吉正，赤坂尚司，戸田有亮，和泉清隆，永井雄也，飯岡 大，大野仁嗣：Prognostic impact of NPM 1 mutations and FLT3-ITDs on AML patients with normal karyotype. 第78回日本血液学会学術集会，2016.10.13-15，横浜
  17. 永井雄也，戸田有亮，飯岡 大，赤坂尚司，大野仁嗣：Allele-specific PCR and melting analysis assays for G17V RHOA mutation in AITL. 第78回日本血液学会学術集会，2016.10.13-15，横浜
  18. 岩崎 毅，飯岡 大，戸田有亮，永井雄也，赤坂尚司，大野仁嗣：Prognostic significance of PML-RARA isoform in patients with acute promyelocytic leukemia (APL). 第78

回日本血液学会学術集会, 2016.10.13-15, 横浜

19. 赤坂尚司, 戸田有亮, 永井雄也, 飯岡 大, 本庄 原, 大野仁嗣: BCL 2 A 1, a novel partner of IGH gene in DLBCL having t(14;15)(q32;q22) with t(8;22)(q24;q11). 第78回日本血液学会学術集会, 2016.10.13-15, 横浜
20. 飯岡 大, 赤坂尚司, 戸田有亮, 鴨田吉正, 永井雄也, 大野仁嗣: Clinical impact of MYC rearrangement determined by FISH in diffuse large B-cell lymphoma. 第78回日本血液学会学術集会, 2016.10.13-15, 横浜
21. 飯岡 大, 中村文彦, 戸田有亮, 丸山 互, 永井雄也, 足立達哉, 赤坂尚司, 大野仁嗣: 自家・同種タンドム移植が奏功した若年者治療抵抗性アグレッシブリンパ腫の2症例. 第39回日本造血細胞移植学会総会, 2017.3.2-4, 松江(島根)
22. 足立達哉, 戸田有亮, 丸山 互, 永井雄也, 飯岡 大, 赤坂尚司, 大野仁嗣: Flu/BU/TBIを用いた55歳以上の高齢AML/MDS症例に対する同種造血幹細胞移植の成績. 第39回日本造血細胞移植学会総会, 2017.3.2-4, 松江(島根)
23. 赤坂尚司, 戸田有亮, 丸山 互, 永井雄也, 飯岡 大, 足立達哉, 大野仁嗣: 悪性リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植後の慢性GVHDの経過中に, 多発性筋炎を発症した1例. 第39回日本造血細胞移植学会総会, 2017.3.2-4, 松江(島根)

#### ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 大野仁嗣: 悪性リンパ腫の染色体異常とFISH・遺伝子診断. 第10回京都若手血液セミナー, 2016.6.4, 京都
- 一般演題(口演)
2. 戸田有亮, 飯岡 大, 永井雄也, 赤坂尚司, 大野仁嗣: PT-CY HLA半合致移植を実施した成人T細胞白血病の1例. 第4回奈良県輸血・造血細胞治療研究会, 2016.5.21, 奈良
  3. 永井雄也: 当院のPh+ ALLにおける好中球FISHの解析. 第3回神戸白血病症例検討会, 2016.6.3, 神戸
  4. 飯岡 大: DLBCL with MYC translocation. 第10回京都若手血液セミナー, 2016.6.4, 京都
  5. 戸田有亮, 飯岡 大, 永井雄也, 足立達哉, 赤坂尚司, 大野仁嗣: FISHで決定したMYC遺伝子再構成がDLBCLの治療成績に与える影響. 第11回Meet the Hematologists, 2016.7.2, 京都
  6. 飯岡 大: 血液腫瘍患者の菌血症における疫学的特徴. 血液内科領域における感染管理フォーラム in 奈良, 2016.7.15, 奈良
  7. 戸田有亮: 対麻痺で発症したCCND1-IGHベンスジョーンズ型多発性骨髄腫の一例. Kyoto Myeloma Conference, 2016.8.6, 京都
  8. 森 拓人, 飯岡 大, 大野仁嗣, 川西博晃, 本庄 原: 後腹膜鏡下リンパ節生検で診断が確定したホジキンリンパ腫の2症例. 第27回奈良悪性リンパ腫談話会, 2016.9.10, 奈良

9. 永井雄也：臍帯血移植後に血球貪食症候群を伴う生着不全をきたした AML の一例。第 3 回 NARA 血液内科セミナー，2016.11.4，奈良
10. 岡田宜孝：POEMS 症候群の一例。骨髓腫フォーラム in 奈良，2016.11.11，奈良
11. 大野仁嗣：t (3 ; 8) (q27 ; q24) /BCL 6-MYC 転座 を 認 め た double/triple-hit lymphoma. 第24回近畿リンパ腫研究会，2017.2.3，京都
12. 飯岡 大，本庄 原：肝・脾に多発腫瘤を生じた methotrexate (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の一例。第28回奈良悪性リンパ腫談話会，2017.2.18，奈良

◇院内集談会

1. 赤坂尚司：自己免疫疾患を背景とし t (X ; 14) (p11 ; q32) /IgH-GPR34を認めた MALT リンパ腫の 2 例。2016天理よろづ相談所学術発表会，2016.11.10，外来診療棟 5 階講堂

## 小 児 科

◇書 籍

1. 福島正大：単純型熱性けいれんに対する頭部画像診断，ER・ICU100の dont's 明日からやめる医療ケア，pp15-16，志馬伸朗 総編集，中外医学社（東京），2016
2. 福島正大：小児の虫垂炎疑いに対する腹部超音波検査を先行させない CT 検査，ER・ICU100の dont's 明日からやめる医療ケア，pp24-26，志馬伸朗 総編集，中外医学社（東京），2016
3. 福島正大：4 歳未満の小児に対する感冒対症療法，ER・ICU100の dont's 明日からやめる医療ケア，pp40-42，志馬伸朗 総編集，中外医学社（東京），2016
4. 福島正大：熱性けいれんに対する安易な解熱薬投与，ER・ICU100の dont's 明日からやめる医療ケア，pp43-44，志馬伸朗 総編集，中外医学社（東京），2016
5. 福島正大：軽度～中等度脱水の小児に対しての，経口補液トライアルなしでの経静脈輸液，ER・ICU100の dont's 明日からやめる医療ケア，pp194-196，志馬伸朗 総編集，中外医学社（東京），2016
6. 南部光彦：気管支喘息，ガイドラインと最新文献による小児科学レビュー2016- '17，pp273-283，五十嵐隆 監修，三浦 大，島袋林秀 編集，総合医学社（東京），2016
7. 南部光彦：生活改善とアレルギーマーチ進展予防，アレルギーマーチを断つ ―ガイドライン準拠による拡大予防―，pp197-202，荒川浩一 編集，医薬ジャーナル（大阪），2016

◇学術雑誌

(欧 文)

1. Fujimori A<sup>1</sup>, Yamashita T<sup>1</sup>, Kubota M<sup>1</sup>, Saito H<sup>1</sup>, Takamatsu N<sup>2</sup>, Nambu M: Comparison of the prevalence and characteristics of food hypersensitivity among adolescent and older women, Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition 2016 ; 25 :



858-862.

2. Nambu M, Maeda C<sup>3</sup>, Katsura Y<sup>3</sup>, Shirai H<sup>4</sup>: The effect of washing futons (bedding) on asthma control in children with house dust mite allergy, Tenri Medical Bulletin 2016; 19(1): 11-17.

(邦文)

3. 福島正大, 芝剛, 吉村真一郎, 土井拓, 三木直樹, 山中忠太郎, 南部光彦: 全身性強皮症の6歳女児の1例, 天理医学紀要 2016; 19(2): 65-70.
4. 田口智朗, 芝剛, 福島正大, 吉村真一郎, 土井拓, 三木直樹, 山中忠太郎, 南部光彦: 喉頭軟化症に喉頭浮腫を合併した高IgE症候群の2か月女児例, 天理医学紀要 2016; 19(2): 44-50.
5. 土井拓: タイプ別肺高血圧症診療のポイント 小児の門脈肺高血圧症診療のポイント, Pulmonary Hypertension Update 2016; 2: 122-130.
6. 南部光彦: 第52回学術大会の会長招聘講演報告, 日本小児アレルギー学会誌 2016; 30: 1-7.
7. 村田卓士<sup>5</sup>, 岡藤郁夫<sup>6</sup>, 福家辰樹<sup>7</sup>, 海老島優子<sup>8</sup>, 二村昌樹<sup>9</sup>, 森川みき<sup>10</sup>, 南部光彦: あなたはアトピー性皮膚炎と診断できるか? ~適切な治療のために, とくに一般小児科医として~, 日本小児アレルギー学会誌 2016; 30: 63-74.
8. 海老島優子<sup>8</sup>, 末廣豊<sup>8</sup>, 岡藤郁夫<sup>6</sup>, 福家辰樹<sup>7</sup>, 二村昌樹<sup>9</sup>, 村田卓士<sup>5</sup>, 森川みき<sup>10</sup>, 南部光彦: アトピー性皮膚炎に効果的なスキンケアは? ~入浴, 体の洗い方, 石けんの使用, 保湿剤について考える~, 日本小児アレルギー学会誌 2016; 30: 75-83.
9. 森川みき<sup>10</sup>, 岡藤郁夫<sup>6</sup>, 福家辰樹<sup>7</sup>, 海老島優子<sup>8</sup>, 二村昌樹<sup>9</sup>, 村田卓士<sup>5</sup>, 南部光彦: 患者さんのために医師はどう連携すればよいか? ~小児科と皮膚科, 開業医と病院, 専門医と非専門医の関係~, 日本小児アレルギー学会誌 2016; 30: 84-90.
10. 二村昌樹<sup>9</sup>, 岡藤郁夫<sup>6</sup>, 福家辰樹<sup>7</sup>, 海老島優子<sup>8</sup>, 村田卓士<sup>5</sup>, 森川みき<sup>10</sup>, 南部光彦: 「プロアクティブ療法」を日常診療のどのように取り入れていくか?, 日本小児アレルギー学会誌 2016; 30: 91-97.
11. 南部光彦: 第52回日本小児アレルギー学会を終えて, アレルギー・免疫 2016; 23: 846-849.
12. 南部光彦: 第52回日本小児アレルギー学会を終えて, 天理医学紀要 2016; 19(2): 44-50.
13. 南部光彦: 【小児の症候群】血液・腫瘍 好酸球増加症候群, 小児科診療 2016; 79(増刊): 195.

#### ◇学会

一般講演(口演)

1. 岩崎毅, 福島正大, 芝剛<sup>11</sup>, 吉村真一郎, 樋垣諒, 齊藤瞬, 土井拓, 三木直樹, 南部光彦: 回盲部潰瘍, 口腔内アフタなどにより不全型ベーチェット病と診断された1例. 第120回日本小児科学会奈良地方会, 2016.7.2, 天理
2. 吉村真一郎, 土井拓, 樋垣諒, 齊藤瞬, 福島正大, 三木直樹, 南部光彦: 新生児

- 期に発症し、乳児期にバルーンアシストテクニックを用いてコイル塞栓術を行った右巨大冠動脈瘤（CAF）の女児例。第120回日本小児科学会奈良地方会，2016.7.2，天理
3. 南部光彦，木寺さやか：喘息発作で入院した患児の背景因子の検討。第33回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会，2016.7.17，仙台（宮城）
  4. 南部光彦，高橋泰生<sup>12</sup>，萬砂秀雄<sup>12</sup>：「学校生活管理指導表」の改訂と「食物アレルギー問診票」の導入。第53回日本小児アレルギー学会，2016.10.10，前橋（群馬）
  5. 南部光彦，高橋泰生<sup>12</sup>，萬砂秀雄<sup>12</sup>：「学校生活管理指導表」の改訂と「食物アレルギー問診票」の導入。第47回全国学校保健・学校医大会，2016.10.29，札幌
  6. 豊田文興，吉村真一郎，樋垣 諒，齊藤 瞬，土井 拓，三木直樹，南部光彦：冠動脈瘤の形成及び関節炎を合併し長期間の治療を要したくすぶり型川崎病の1例。第121回日本小児科学会奈良地方会，2016.11.5，橿原（奈良）
  7. 大野堯之，土井 拓，齊藤 瞬，樋垣 諒，福島正大，吉村真一郎，三木直樹，山中忠太郎，南部光彦，義本裕次： $\beta$ 遮断薬が奏功した乳児血管腫の1例。第121回日本小児科学会奈良地方会，2016.11.5，橿原（奈良）

#### ◇研究会

##### 特別講演・教育講演

1. 南部光彦：小児喘息治療の展望とダニ対策の重要性。第5回三河小児アレルギー研究会，2016.9.24，刈谷（愛知）

##### 一般演題（口演）

2. 南部光彦：アレルゲンが喘息に及ぼす影響について。第16回小児科医のための喘息治療フォーラム，2016.6.4，大阪
3. 土井 拓，吉村真一郎，齊藤 瞬，樋垣 諒，福島正大，三木直樹，南部光彦：思春期の先天性心疾患患者をどのようにして小児科外来から卒業させるか？。第3回京滋成人先天性心疾患治療研究会，2016.9.16，京都
4. 南部光彦：ダニアレルギー児へのダニ対策として布団丸洗いは有効か？。第38回奈良小児アレルギーカンファレンス，2016.10.1，奈良
5. 南部光彦：小児喘息治療の最新の話。第12回北和地区小児科の集い，2016.11.12，奈良
6. 土井 拓，吉村真一郎：ransition：先天性心疾患患者を小児科外来から卒業させるための問題点と試み Case presentation：単心室術後遠隔期にAFL（AT）を生じた30代女性へのablation治療。第6回奈良県不整脈臨床カンファレンス，2016.11.19，奈良
7. 土井 拓，吉村真一郎，齊藤 瞬，樋垣 諒，福島正大，三木直樹，南部光彦：治療に難渋した「くすぶり型」川崎病の1例。第1回免疫ロジーフォーラム奈良，2016.11.26，奈良
8. 南部光彦，中農昌子<sup>13</sup>，河原信吾<sup>14</sup>，清益功浩<sup>15</sup>：奈良県の教育現場における食物アレルギー対策の現状 —アンケート調査結果から—。第65回近畿医師会連合学校医研究協議会総会，2017.1.15，神戸

#### ◇その他の講演

1. 南部光彦：小児慢性特定疾病医療意見書ならびに重症患者認定申請書の審査について。平成28年度第一回小児慢性特定疾病指定医養成研修会，2016.6.11，奈良
2. 南部光彦：小児気管支喘息と関連疾患。第50回日本アレルギー学会専門医教育セミナー，2016.8.28，東京
3. 南部光彦：小児喘息治療の展望とダニ対策の重要性。奈良県社会保険診療報酬支払基金職員研修会，2016.10.13，奈良
4. 南部光彦：アトピー性皮膚炎におけるダニ対策の重要性。奈良皮膚小児アレルギー講演会，2016.12.15，奈良

#### ◇一般向け

(雑誌・書籍)

1. 南部光彦：アレルギーから子どもを守る ―ダニ対策24の秘訣―，東京図書出版（東京），2016

(講演)

2. 南部光彦：食物アレルギーの症状とその対応（エピペン使用法）。奈良市教育委員会新任教員研修会，2016.5.10，奈良
3. 南部光彦：食物アレルギーの症状とその対応（エピペン使用法）。奈良市教育委員会新任教員研修会，2016.5.12，奈良
4. 南部光彦：学校における食物アレルギーへの対応について。奈良市立大宮小学校研修会，2016.8.4，奈良
5. 南部光彦：食物アレルギーとアナフィラキシー。平成28年度第2回生涯教育講座兼第60回社会保険指導者講習会伝達講習会，2016.12.9，橿原（奈良）
6. 南部光彦：事例から学ぶ：学校におけるアレルギー疾患対応の危機管理について。平成28年度学校保健総合支援事業 学校保健課題解決研修会，2017.2.9，田原本（奈良）
7. 南部光彦：アトピー性皮膚炎との上手なつきあい方。第7回市民公開講座 in 奈良，2017.2.11，奈良

(凡例) 1 = 奈良女子大学，2 = 別府大学，3 = Duskin，4 = 東京環境アレルギー研究所，5 = むらた小児科，6 = 神戸市立医療センター中央市民病院，7 = 浜松医科大学，8 = 大阪府済生会中津病院，9 = 名古屋医療センター，10 = 森川小児科アレルギー科クリニック，11 = 京都大学，12 = たかはしファミリークリニック，13 = 国保中央委病院，14 = かわはらこどもクリニック，15 = 大和高田市立病院

## 皮 膚 科

#### ◇書 籍

1. 田邊 洋：エフィナコナゾールの使い方について教えてください，マイスターから学ぶ

皮膚科の治療薬の服薬指導術, pp100-101, 大谷道輝, 宮地良樹 他編集, メディカルレビュー社 (東京), 2016

2. 田邊 洋: 白癬, 皮膚疾患最新の治療2017-2018, pp191-193, 渡辺晋一, 古川福実編集, 南江堂 (東京), 2017

#### ◇学 会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 田邊 洋: ランチョンセミナー25 爪白癬診療の最近の話題, 第115回日本皮膚科学会総会, 2016.6.5, 京都
2. 田邊 洋: 直接鏡検で見えるあれこれ, 第329回日本皮膚科部会長崎地方会・学術講演会, 2016.7.24, 長崎

一般演題 (口演)

3. 小川万里依, 三宅俊哉, 藤井弘子, 是枝 哲, 田邊 洋, 佐々木洋香<sup>1</sup>, 大野佐代子<sup>2</sup>: Itraconazole 内服で治療した小児頭部白癬の2例. 日本皮膚科学会第109回近畿皮膚科集談会 (第456回大阪地方会・第447回京滋地方会), 2016.7.10, 大阪
4. 小川万里依, 三宅俊哉, 藤井弘子, 田邊 洋, 大野佐代子<sup>2</sup>: 第2期梅毒の2例. 日本皮膚科学会第447回京滋皮膚科集談会, 2016.12.17, 京都
5. 田邊 洋, 三宅俊哉, 小川万里依, 藤井弘子: ウッド灯検査陽性であった *Microsporum canis* による小児頭部白癬の1例. 第460回日本皮膚科学会大阪地方会, 2017.3.11, 和歌山

一般演題 (ポスター)

6. 三宅俊哉, 小川万里依, 藤井弘子, 田邊 洋, 佐々木洋香: 弾性ストッキング『ジャクスタライト』を使用し改善した難治性下腿潰瘍の2例: 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2016.10.22, 大阪

#### ◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 田邊 洋: 爪真菌症治療剤の治療経験. 富山県爪真菌症研究会, 2016.7.28, 富山
2. 田邊 洋: 爪白癬の最新の薬物療法. 第6回関西医療薬学研究会勉強会, 2016.11.20, 神戸
3. 田邊 洋: ニキビダニ, その不思議な生態と皮膚疾患のあれこれ. 2017二上山難治性皮膚疾患研究会, 2017.2.6, 大阪

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

4. 田邊 洋: KOH 直接鏡検の方法と真菌培養. 第104回関西真菌懇話会学術集会 真菌講習会, 2016.7.30, 大阪

一般演題 (口演)

5. 小川万里依, 三宅俊哉, 藤井弘子, 是枝 哲, 田邊 洋, 佐々木洋香<sup>1</sup>, 大野佐代子<sup>2</sup>: Itraconazole 内服で治療した小児頭部白癬の2例. 第48回奈良県皮膚科研究会, 2016.6.23, 奈良

6. 三宅俊哉, 小川万里依, 藤井弘子, 是枝 哲, 田邊 洋: 当院における ipilimumab の使用経験. 奈良県がん免疫療法研究会, 2016.7.15, 奈良
7. 藤井弘子, 三宅俊哉, 小川万里依, 田邊 洋, 阿部教行: 質量分析装置による皮膚糸状菌菌種同定の試み. 第104回関西真菌懇話会学術集会, 2016.7.30, 大阪
8. 田邊 洋, 三宅俊哉, 小川万里依, 藤井弘子: 5歳女兒の頭部白癬の1例. 第104回関西真菌懇話会学術集会, 2016.7.30, 大阪
9. 田邊 洋: 紅色陰癬の数症例. Nara Clinical Dermatology Forum 2016, 2016.9.15, 奈良
10. 小川万里依, 三宅俊哉, 藤井弘子, 田邊 洋, 大野佐代子: 第2期梅毒の3例. 臨床奈良県皮膚科医会, 2017.1.12, 奈良

#### ◇その他の講演

1. 田邊 洋: 直接鏡検で見えるあれこれ. 京都皮膚科医会学術講演会, 2016.4.28, 京都
2. 田邊 洋: 直接鏡検で見えるあれこれ. 福井県最新医療セミナー, 2016.6.11, 福井
3. 田邊 洋: これからの爪白癬治療. 第68回大阪皮膚科医会例会 学術講演会, 2016.6.25, 大阪
4. 田邊 洋: 直接鏡検で見えるあれこれ. 第55回奈良県医師会皮膚科部会総会・学術講演会, 2016.7.2, 奈良
5. 田邊 洋: 爪白癬診療の最近の話題. 第44回埼玉皮膚科医会記念講演, 2016.9.4, 高崎(埼玉)
6. 田邊 洋: 爪白癬へのクレナフィンの使用経験. 爪白癬治療薬クレナフィン発売2周年記念講演会, 2016.10.28, 福岡
7. 田邊 洋: 褥瘡の治療: 薬剤・創傷被覆材. 第10回日本褥瘡学会奈良県在宅褥瘡セミナー教育講演6, 2016.11.20, 天理
8. 田邊 洋: 褥瘡に使う創傷被覆材とおむつについて. 関西電力病院褥瘡委員会院内勉強会, 2017.2.17, 大阪

#### ◇院内集談会

1. 田邊 洋: 皮膚科のプライマリケア. 天理よろづ相談所病院レジデント講義, 2016.5.23, 西病棟4階画像カンファレンス室①
2. 田邊 洋: 皮膚科領域の感染対策. 天理よろづ相談所病院感染対策講習会, 2016.9.6, 外来診療棟5階講堂

#### ◇一般向け

(講演)

1. 田邊 洋: 水虫について. 憩の家講座, 2016.7.26, 本館7階講堂
2. 田邊 洋: 都会での皮膚科のあり方. 金沢医科大学3年生皮膚科系統講義, 2016.9.2, 内灘町(石川)
3. 田邊 洋: ハンセン病について. 金沢医科大学3年生皮膚科系統講義, 2016.9.2, 内灘町(石川)
4. 田邊 洋: 性行為感染症, 皮膚真菌感染症. 京都大学医学部4年生皮膚科学系統講義,

2016.12.16, 京都

(凡例) 1 = 大阪府済生会野江病院, 2 = おおの皮膚科

## 消化器・一般外科

### ◇学術雑誌

(欧文)

1. Hori T, Oike F, Furuyama H, Machimoto T, Kadokawa Y, Hata T, Kato S, Yasukawa D, Aisu Y, Sasaki M, Kimura Y, Takamatsu Y, Naito M, Nakauchi M, Tanaka T, Gunji D, Nakamura K, Sato K, Mizuno M, Iida T, Yagi S, Uemoto S, Yoshimura T: Protocol for laparoscopic cholecystectomy: Is it rocket science?, *World Journal of Gastroenterology* 2016 ; 22(47) : 10287–10303.
2. Hori T, Ogura Y<sup>1</sup>, Onishi Y<sup>1</sup>, Kamei H<sup>1</sup>, Kurata N<sup>1</sup>, Kainuma M<sup>1</sup>, Takahashi H<sup>1</sup>, et al : Systemic hemodynamics in advanced cirrhosis : Concerns during perioperative period of liver transplantation, *World Journal of Hepatology* 2016 ; 8(25) : 1047–1060.
3. Hori T, Onishi Y<sup>1</sup>, Kamei H<sup>1</sup>, Kurata N<sup>1</sup>, Ishigami M<sup>1</sup>, Ishizu Y<sup>1</sup>, Ogura Y<sup>1</sup> : Fibrosing cholestatic hepatitis in a complicated case of adult recipient after liver transplantation : diagnostic findings and therapeutic dilemma, *American Journal of Case Reports* 2016 ; 17 : 597–604.
4. Hori T, Onishi Y<sup>1</sup>, Kamei H<sup>1</sup>, Kurata N<sup>1</sup>, Ishigami M<sup>1</sup>, Ishizu Y<sup>1</sup>, Ogura Y<sup>1</sup> : Fibrosing cholestatic hepatitis C in post-transplant adult recipients of liver transplantation, *Annals of Gastroenterology* 2016 ; 29(4) : 454–459.
5. Aisu Y, Furuyama H, Hori T, Machimoto T, Hata T, Kadokawa Y, Kato S, Ando Y, Uchida Y, Yasukawa D, Kimura Y, Sasaki M, Takamatsu Y, Yoshimura T : Solitary Metastasis to a Distant Lymph Node in the Descending Mesocolon After Primary Resection for Hepatocellular Carcinoma : Is Surgical Resection Valid?. *American Journal of Case Reports* 2016 ; 17 : 909–915.

### ◇学会

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 吉村玄浩 : 特別企画 1 新たな専門医制度における消化器外科学会の役割. 第71回日本消化器外科学会総会, 2016.7.15, 徳島
2. 伊藤達雄, 増井俊彦<sup>2</sup>, 上本伸二<sup>2</sup> : I 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) Update PMN に対する膵全摘術の選択. JDDW2016 (第14回消化器外科学会大会), 2016.11.5, 神戸

一般演題（口演）

3. 加藤 滋, 門川佳央, 愛須佑樹, 木村有佑, 中原麻帆, 安川大貴, 内田雄一郎, 安藤恭久, 浅生義人, 吉村玄浩: 当院における進行直腸癌に対する術前化学療法症例の検討. 第71回日本消化器外科学会総会, 2016.7.14, 徳島
4. 高松雄一, 門川佳央, 木村有佑, 佐々木麻帆, 愛須佑樹, 安川大貴, 加藤 滋, 畑 俊之, 堀 智英, 待本貴文, 吉村玄浩: 当科での人工肛門閉鎖術における創閉鎖の変遷と工夫. 第78回日本臨床外科学会, 2016.11.25, 東京
5. 佐々木麻帆: 当院における腹腔鏡下ヘルニア修復術の定型化. 第29回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.9, 横浜
6. 安川大貴: 経会陰内視鏡アプローチを併用した腹腔鏡下直腸切断術における安全性と有用性の検討 ～単施設17症例の導入経験から～. 第29回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.10, 横浜

一般演題（ポスター）

7. 愛須佑樹, 加藤 滋, 木村有佑, 中原麻帆, 安川大貴, 安藤恭久, 内田雄一郎, 門川佳央, 浅生義人, 吉村玄浩: 局所進行直腸癌に対する術前化学療法 腹腔鏡下側方リンパ節郭清の取り組み. 第71回日本消化器外科学会総会, 2016.7.14, 徳島
8. 門川佳央: 肺浸潤が疑われた食道癌に対して胸腔鏡下に肺合併切除し完全切除し得た1例. 第29回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.10, 横浜

一般演題（ビデオ）

9. 愛須佑樹: 食道癌根治術における安全性を重視した腹腔鏡下胃管作成の手技と工夫. 第29回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.9, 横浜
10. 加藤 滋: 当院での腹腔鏡下側方リンパ節郭清について. 第29回日本内視鏡外科学会総会, 2016.12.9, 横浜

◇研究会

一般演題（口演）

1. 佐々木麻帆: 術後胆汁漏に対する無水エタノールによる焼灼治療の経験. 第38回奈良県肝胆膵研究会, 2016.6.18, 奈良
2. 木村有佑: 当院での標準的膵頭十二指腸切除術. 第38回奈良県肝胆膵研究会, 2016.6.18, 奈良

(凡例) 1 = 名古屋大学医学部附属病院, 2 = 京都大学医学部

## 乳 腺 外 科

◇書 籍

1. Sugie T<sup>1</sup>, Inamoto T: Chapter 9 Lymphatic mapping and optimization of sentinel lymph node dissection, Personalized Treatment of Breast Cancer, pp 119–128, Toi

M, Winer E, Benson J, Klimberg S, Springer(Japan), 2016

2. Morii N, Yamashiro H, Takahashi H<sup>2</sup>, Taniyama K<sup>2</sup>: Is It Possible to Optimize Neoadjuvant Chemotherapy Response by EGFR and CK 5/6 Expression Status in Breast Cancer Patients?, *Advances in Modern Medicine*, pp 21–33, Taniyama K, Kamiike W, Benthamscience(USA), 2017

◇学術雑誌

(欧文)

1. Kotake T<sup>3</sup>, Kikawa Y<sup>3</sup>, Takahara S<sup>4</sup>, Tsuyuki S<sup>5</sup>, Yoshibayashi H<sup>6</sup>, Suzuki E<sup>7</sup>, Yamashiro H, et al: Impact of Eribulin Monotherapy on Post-Progression Survival in Patients with HER 2-Negative Advanced or Metastatic Breast Cancer, *International Journal of Cancer and Clinical Research* 2016 ; 3(5): DOI: 10.23937/2378-3419/3/4/1061.
2. Kiba T<sup>2</sup>, Morii N<sup>2</sup>, Takahashi H<sup>2</sup>, Ozaki S<sup>2</sup>, Atsumi M<sup>2</sup>, Masumoto F<sup>2</sup>, Yamashiro H: Pathological complete response rate in hormone negative breast cancer patients treated with neoadjuvant FEC and weekly paclitaxel: A case series and review of the literature, *Oncology letters* 2016 ; 11(5): 3064–3070.
3. Tsuyuki S<sup>5</sup>, Senda N<sup>5</sup>, Kanng Y<sup>5</sup>, Yamaguchi A<sup>8</sup>, Yoshibayashi H<sup>6</sup>, Kikawa Y<sup>3</sup>, Inamoto T, et al: Evaluation of the effect of compression therapy using surgical gloves on nanoparticle albumin-bound paclitaxel-induced peripheral neuropathy: a phase II multicenter study by the Kamigata Breast Cancer Study Group. *Breast Cancer Research and Treatment* 2016 ; 160(1): 61–67.

(邦文)

4. 近藤(有田) 恵<sup>9</sup>, 稲本 俊: 医療職を目指す学生の生殖を巡る選択の枠組み, *生命倫理* 2016 ; 26 ( 1 ) : 115 – 123.
5. 森井奈央, 山城大泰: 乳房温存療法 局所制御は生存率の全身薬物療法は局所制御率の向上に寄与する, *Hospitalist* 2016 ; 4 ( 3 ) : 575 – 577.

◇学会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Kondo-Arita M, Inamoto T: Framework on life choices by medical students – selection criteria between career and childbirth. 31st International Congress of Psychology, 2016. 7. 24 – 29, 横浜
2. Takada M<sup>8</sup>, Sugimoto M<sup>10</sup>, Masuda N<sup>11</sup>, Iwata H<sup>12</sup>, Kuroi K<sup>13</sup>, Yamashiro H, Inamoto T, et al: Development of mathematical prediction models to identify disease-free survival events for primary breast cancer patients with HER 2-positive disease treated by neoadjuvant chemotherapy and trastuzumab. San Antonio Breast Cancer Symposium, 2016. 12. 6–10, San Antonio(USA)
3. Tsuyuki S<sup>5</sup>, Senda N<sup>5</sup>, Kanng Y<sup>5</sup>, Yamaguchi A<sup>8</sup>, Yoshibayashi H<sup>6</sup>, Kikawa Y<sup>3</sup>,



Inamoto T, et al:Effect of compression therapy using surgical gloves on nanoparticle albumin-bound-paclitaxel-induced peripheral neuropathy: a phase II multicenter study by the Kamigata Breast Cancer Study Group. San Antonio Breast Cancer Symposium, 2016. 12. 6-10, San Antonio(USA)

(2015年度追加)

一般演題 (ポスター)

4. Kondo N<sup>14</sup>, Yamamoto Y<sup>14</sup>, Yamashiro H, Kashiwaba M<sup>15</sup>, Nakamura R<sup>14</sup>, Takahashi M<sup>16</sup>, Toh U<sup>17</sup>, et al:Prospective observational cohort study of bevacizumab combined with paclitaxel as the first- or second-line chemotherapy for locally advanced or metastatic breast cancer (Study JBCRG-C 05: B-SHARE). 10th European Breast Cancer Conference, 2016. 3. 10, Amsterdam(Nederland)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

5. 山城大泰: コホート試験に学ぶ. 第7回 JBCRG 学術集会, 2016.10.23, 横浜

一般演題 (口演)

6. 高田正泰<sup>7</sup>, 杉本昌弘<sup>10</sup>, 増田慎三<sup>11</sup>, 岩田広治<sup>12</sup>, 黒井克昌<sup>13</sup>, 山城大泰, 稲本 俊, 他: 乳癌術前薬物療法後の乳房温存手術の現状と問題点 —HER2陽性乳癌の術前療法後の局所療法個別化を目指した治療効果予測ツール開発と今後の課題—. 第116回日本外科学会定期学術集会, 2016.4.15, 大阪
7. 露木 茂<sup>5</sup>, 仙田典子<sup>5</sup>, 康裕紀子<sup>5</sup>, 芳林浩史<sup>6</sup>, 加藤大典<sup>3</sup>, 片上信之<sup>3</sup>, 稲本 俊, 他: 原発性又は再発乳癌における nab-Paclitaxel に起因する末梢神経障害に対する手術手袋による圧迫療法の予防効果に関する多施設共同第II相試験 (UMIN000014064). 第24回日本乳癌学会学術総会, 2016.6.16, 東京
8. 澤木正孝<sup>12</sup>, 山城大泰, 増田慎三<sup>11</sup>, 奥村恭博<sup>18</sup>, 高野利実<sup>19</sup>, 徳永えり子<sup>20</sup>, 齊藤 毅<sup>21</sup>, 他: 周術期トラスツズマブ治療歴を有する再発乳癌におけるトラスツズマブ投与の観察研究 (JBCRG-C02). 第24回日本乳癌学会総会, 2016.6.17, 東京
9. 中村力也<sup>15</sup>, 近藤直人<sup>15</sup>, 山本 豊<sup>15</sup>, 山城大泰, 柏葉匡寛<sup>15</sup>, 高橋將人<sup>16</sup>, 唐 宇飛<sup>17</sup>, 他: 乳癌分子標的薬剤をどのように使いこなすか HER2陰性進行再発乳癌に対するベバシズマブとパクリタキセル併用療法の観察研究 (中間報告; JBCRG-C05). 第24回日本乳癌学会総会, 2016.6.17, 東京
10. 露木 茂<sup>5</sup>, 仙田典子<sup>5</sup>, 康裕紀子<sup>5</sup>, 芳林浩史<sup>6</sup>, 木川雄一郎<sup>3</sup>, 片上信之<sup>3</sup>, 稲本 俊, 他: 手術手袋を用いた圧迫療法による, アブラキサン起因性末梢神経障害への予防効果. 第54回日本癌治療学会学術集会, 2016.10.20, 横浜

#### ◇研究会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 山城大泰: 治療困難症例. 京都乳腺症例 TV カンファレンス, 2016.5.11, 奈良
2. 山城大泰: エリブリンの適応について. エリブリン ExpertMeeting, 2016.12.18, 大阪

3. 山城大泰：コホート試験について．京都大学乳腺外科ミニシンポジウム，2017.1.25，  
京都  
一般演題（口演）
4. 森井奈央：当院におけるハラヴェン長期投与例の検討．北和乳腺フォーラム，2016.11.17，  
奈良

（凡例） 1 = 関西医科大学外科学， 2 = 呉医療センター， 3 = 神戸市立医療センター中央  
市民病院， 4 = 北野病院， 5 = 大阪赤十字病院， 6 = 日本赤十字社和歌山医療セ  
ンター， 7 = 京都大学医学部附属病院， 8 = 京都大学大学院医学研究科， 9 = 天  
理医療大学， 10 = 慶應義塾大学先端生命科学研究所， 11 = 大阪医療センター， 12  
= 愛知県がんセンター， 13 = がん・感染症センター都立駒込病院， 14 = 千葉県が  
んセンター， 15 = 岩手医科大学， 16 = 北海道がんセンター， 17 = 久留米大学医学  
部医学科， 18 = 熊本市立熊本市市民病院， 19 = 虎の門病院， 20 = 九州がんセンタ  
ー， 21 = さいたま赤十字病院

## 呼吸器外科

### ◇学術雑誌

（欧 文）

1. Nakagawa T, Toyazaki T, Chiba N, Ueda Y, Gotoh M: Prognostic value of body mass index and change in body weight in postoperative outcomes of lung cancer surgery, *Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery* 2016 ; 23(4) : 560-566.
2. Ueda Y, Nakagawa T, Toyazaki T, Chiba N, Gotoh M: Rib resection using a pneumatic high-speed power drill system for lung cancer with chest wall invasion: our clinical experience, *Surgery today* 2016 ; doi : 10.1007/s 00595-016-1437-y.

（邦 文）

3. 上田雄一郎，中川達雄，戸矢崎利也，千葉直久，後藤正司：胸腔鏡下肺区域切除における区域間切離の工夫，*日本呼吸器外科学会雑誌* 2016；30（6）：788-792.
4. 千葉直久，富岡泰章，戸矢崎利也，上田雄一郎，後藤正司，中川達雄：左肺上舌区域間に明過な分葉を伴う肺癌に対し区域切除を施行した2例．*胸部外科* 2016；30（7）：834-839.
5. 戸矢崎利也，富岡泰章，千葉直久，上田雄一郎，坂口泰人，後藤正司，石川真也，中川達雄：自動縫合器を用いない胸腔鏡下肺部分切除術．*日本呼吸器外科学会雑誌* 2017；31（1）：13-19.

◇学 会

(国際学会)

一般演題 (ポスター)

1. Toyazaki T, Nakagawa T, Tomioka Y, Ueda Y, Gotoh M: Thoracoscopic Partial Resection for Peripheral Pulmonary Nodules without Using Stapler. IASLC 17th World Conference on Lung Cancer, 2016. 12. 4-7, Viena(Austria)
2. Ueda Y, Toyazaki T, Nakagawa T, Tomioka Y, Gotoh M: Clinical experience of rib resection for lung cancer with chest wall invasion using a pneumatic high speed power drill system. IASLC 17th World Conference on Lung Cancer, 2016. 12. 4-7, Viena(Austria)

(国内学会)

一般演題 (口演)

3. 中川達雄, 戸矢崎利也, 千葉直久, 上田雄一郎, 後藤正司: 術前 BMI および体重変化が非小細胞肺癌術後予後に与える影響の検討. 第33回日本呼吸器外科学会総会, 2016.5.12-13, 京都
4. 富岡泰章, 戸矢崎利也, 千葉直久, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 胸腔鏡補助下に切除した胸壁腫瘍の1例. 第59回関西胸部外科学会学術集会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
5. 上田雄一郎, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 後藤正司, 中川達雄: 悪性孤立性線維性腫瘍との鑑別を要した肺原発肉腫の1切除例. 第59回関西胸部外科学会学術集会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
6. 中川達雄, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 後藤正司: 呼吸機能障害を伴う肺癌患者での6分間歩行テストと術後アウトカムの関係. 第69回日本胸部外科学会定期学術集会, 2016.9.28-10.1, 岡山

一般演題 (ポスター)

7. 戸矢崎利也, 千葉直久, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 当院における局所進行非小細胞肺癌に対する術前導入療法後手術施行例の検討. 第33回日本呼吸器外科学会総会, 2016.5.12-13, 京都
8. 後藤正司, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 中川達雄: 3軸加速度センサー搭載活動量計による肺癌手術患者の術前・術後の身体活動の測定と評価. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.19-21, 福岡
9. 上田雄一郎, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 後藤正司, 中川達雄: WHO 新分類による病理病期 1A 期肺腺癌における臨床的検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.19-21, 福岡
10. 千葉直久, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 肺癌に対して左肺全摘除術を施行後に Benign Emptying of the Postpneumonectomy Space を認めた1例. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.19-21, 福岡
11. 戸矢崎利也, 富岡泰章, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 横隔膜切除を施行した手術

症例の検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 2016.12.19-21, 福岡

#### ◇研究会

一般演題 (口演)

1. 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 胸腔鏡補助下に切除した胸壁腫瘍の1例. 平成28年京大呼吸器外科教室同門会夏季研究会, 2016.7.23, 箱根 (神奈川県)
2. 戸矢崎利也, 富岡泰章, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 気胸を契機に発見された両側多発肺嚢胞の1手術例. 奈良呼吸器疾患研究会, 2016.10.15, 奈良
3. 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 後藤正司, 中川達雄: 当院における deep wedge 症例の検討. 第45回京大呼吸器外科教室同門会冬季研究会, 2017.2.11, 京都
4. 中川達雄, 富岡泰章, 戸矢崎利也, 上田雄一郎, 後藤正司: ソフト凝固モード・モノポーラーシザーを用いた安全な手術操作. 第36回近畿胸腔鏡研究会, 2017.2.18, 京都

## 脳神経外科

#### ◇学会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 光野優人, 北村智章, 松井雄哉, 山名則和, 時女知生, 秋山義典: 診断に苦慮した原発巣不明の転移性悪性黒色腫 (amelanotic melanoma) の一例. 第72回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会, 2016.9.3, 大阪
2. 山名則和, 田中寛大, 光野優人, 松井雄哉, 時女知生, 秋山義典: 高齢者に対する血栓回収療法の治療成績. 日本脳神経外科学会学術総会, 2016.9.30, 福岡

一般演題 (ポスター)

3. 時女知生, 山名則和, 田中寛大, 光野優人, 松井雄哉, 秋山義典: 脳梗塞急性期の CAS の検討. 日本脳神経外科学会学術総会, 2016.9.30, 福岡
4. 山名則和, 田中寛大, 光野優人, 松井雄哉, 時女知生, 秋山義典: 当院における高齢者に対する急性期血栓回収療法の治療成績. 日本脳神経血管内治療学会総会, 2016.11.24, 神戸

#### ◇研究会

一般演題 (口演)

1. 山名則和, 田中寛大, 光野優人, 松井雄哉, 堀川恭平, 北村智章, 時女知生, 秋山義典: SAH で発症した後頭蓋窩 dAVF の一例. DSA 道場 WEST, 2016.4.23, 大阪
2. 山名則和, 田中寛大, 光野優人, 松井雄哉, 時女知生, 秋山義典: 部分血栓化椎骨動脈瘤の一例. Platinum Summit in KOHNAN Hospital, 2016.9.14, 仙台 (宮城)

## 心臓血管外科

### ◇学術雑誌

(欧文)

1. Shirai S<sup>1</sup>, Taniguchi T<sup>2</sup>, Morimoto T<sup>3</sup>, Ando K<sup>1</sup>, Korai K<sup>1</sup>, Izumi C, Yamanaka K, et al; CURRENT AS Registry Investigators: Five-Year Clinical Outcome of Asymptomatic vs. Symptomatic Severe Aortic Stenosis After Aortic Valve Replacement, *Circulation Journal* 2017 ; 81(4) : 485–494.
2. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Sakamoto J, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y: Pre- and Postoperative Predictors of Long-Term Prognosis After Aortic Valve Replacement for Severe Chronic Aortic Regurgitation, *Circulation Journal* 2016 ; 80 : 2460–2467.
3. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y: Late recurrence of left ventricular dysfunction after aortic valve replacement for severe chronic aortic regurgitation, *International Journal of Cardiology* 2016 ; 24 : 240–244.
4. Amano M, Izumi C, Imamura S, Onishi N, Tamaki Y, Enomoto S, Miyake M, Tamura T, Kondo H, Kaitani K, Yamanaka K, Nakagawa Y: Progression of aortic regurgitation after subpulmonic infundibular ventricular septal defect repair, *Heart* 2016 ; 102 : 1479–1484.
5. Uchida N<sup>4</sup>, Katayama A<sup>5</sup>, Higashiue S<sup>6</sup>, Shiono M<sup>7</sup>, Hata M<sup>7</sup>, Minami K<sup>8</sup>, Yamanaka K, et al: A new device as an open stent graft for extended aortic repair: a multicentre early experience in Japan, *European Journal of Cardio-Thoracic Surgery* 2016 ; 49 : 270–278.

(邦文)

6. 仁科 健, 水野明宏, 吉田幸代, 谷口尚範, 坂本憲昭, 山中一郎: B型大動脈解離に対するメタルステントグラフト使用の1例, *日本血管外科学会雑誌* 2016 ; 25 : 144–148.
7. 山中一郎, 仁科 健, 三和千里, 阪口仁寿, 廣瀬圭一, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平: 大動脈食道瘻の治療戦略, *脈管学* 2016 ; 56 ( 5 ) : 59–64.

### ◇学会

(国際学会)

一般演題 (ポスター)

1. Sakaguchi H<sup>9</sup>, Yamanaka K, Minakata K<sup>2</sup>, Yamazaki K<sup>2</sup>, Ikeda<sup>2</sup>: Pet-CT in Diagnosing of Prosthetic Graft Infection. The 24th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS), 2016. 4. 6–10, Taipei (Taiwan)
2. Yoshida Y, Nishina T, Mizuno A, Onga Y, Yada M, Sakaguchi H, Hirose K, Yamanaka K: Carotid Artery Dissection and Aneurysm of Arch Aorta Were Made

By Posterior Sternoclavicular Dislocation due to Lung Operation. The 25th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS). 2016. 4. 6-11, Taipei(Taiwan)

3. Yada M, Yamanaka K, Nishina T, Hirose K, Sakaguchi H, Mizuno A, Yoshida Y, Onga Y: Debranch Tevar for Thoracoabdominal Aortic Aneurysm. The 26th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS), 2016. 4. 6-12, Taipei(Taiwan)
4. Onga Y, Yamanaka K, Nishina T, Hirose K, Sakaguchi H, Mizuno A, Yoshida Y, Yada M: Our Tips of Frozen Elephant Trunk Technique. The 27th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS), 2016. 4. 6-13, Taipei(Taiwan)
5. Hirose K, Nishina T, Sakaguchi H, Mizuno A, Yoshida S, Yada M, Onga Y, Yamanaka K: The Morphology of Tricuspid Valve at TVR in Physiologic Surgery for CCTGA Patients (Plasty or Replacement?). The 28th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS), 2016. 4. 6-14, Taipei (Taiwan)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

6. 阪口仁寿, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: Shaggy aorta を呈する下行大動脈瘤. 近畿心血管治療ジョイントライブ 2016, 2016.4.22, 京都
7. 仁科 健, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 当院における Complicated Stanford B 型大動脈解離に対する TEVER の検討. 第44回日本血管外科学会学術総会, 2016.5.25-27, 東京

一般演題 (口演)

8. 矢田 匡, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 恩賀陽平, 多良祐一: 胸腹部大動脈瘤に対する debranch TEVAR の検討. 第44回日本血管外科学会学術総会, 2016.5.25-27, 東京
9. 廣瀬圭一, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 成人期大動脈縮窄症に対する外科治療 ~解剖学的か非解剖学的か~. 第44回日本血管外科学会学術総会, 2016.5.25-27, 東京
10. 吉田幸代, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 下肢静脈瘤再発に対し血管内レーザー焼灼術を施行された症例の検討. 第44回日本血管外科学会学術総会, 2016.5.25-27, 東京
11. 恩賀陽平, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 多良祐一: 半年間で進行するうっ血性心不全を呈した重症大動脈弁閉鎖不全症の一例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
12. 廣瀬圭一, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡,

- 恩賀陽平, 多良祐一: Amplatzer 導入で ASD 治療はどう変わったか. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
13. 阪口仁寿, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 大動脈弁弁輪部から右房への瘻孔形成をきたした人工弁感染の一救命例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  14. 矢田 匡, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 恩賀陽平, 多良祐一: 大動脈炎症候群に伴う大動脈狭窄に対する上行大動脈-腹部大動脈バイパス術の3症例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  15. 仁科 健, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: Stanford B型大動脈解離に対する TEVAR (Petticoat 法) 使用した5例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  16. 水野明宏, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 吐血によるショック状態の大動脈食道瘻に対し段階的治療を行い救命しえた1例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  17. 吉田幸代, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 大動脈解離の下肢虚血診断における MRI の有用性. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  18. 恩賀陽平, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 多良祐一: 右室に穿破した Valsalva 洞動脈瘤の1例. 第59回関西胸部外科学会学術総会, 2016.6.16-17, 津 (三重)
  19. 吉田幸代, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 下肢静脈瘤再発に対し血管内焼灼術を施行された症例の検討. 第36回日本静脈学会総会, 2016.6.23-24, 弘前 (青森)
  20. 廣瀬圭一, 三宅 誠, 吉村真一郎, 仁科 健, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 土井 拓, 山中一朗: 乳児期開心術後急性期うっ血性心不全に対するトルバブタンの有用性. 第52回日本小児循環器学会総会・学術総会, 2016.7.6-8, 東京
  21. 阪口仁寿, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: Transapical approach 後, 左室破裂をきたした一例. 第7回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 2016.8.11, 大阪
  22. 水野明宏, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: Complicated type B型大動脈解離に対し, 急性期, 亜急性期に治療介入した症例の検討. 第69回日本胸部外科学会定期学術総会, 2016.9.28-10.1, 岡山
  23. 吉田幸代, 山中一朗, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 大動脈解離亜急性期の下肢虚血診断における MRI の有用性. 第57回日本脈管学会総会, 2016.10.13-15, 奈良
- 一般演題 (ポスター)
24. 廣瀬圭一, 山中一朗, 仁科 健, 三和千里, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 先天性心疾患に対する成人手術症例の検討. 第116回日本外科学

会定期学術総会，2016.4.14-16，大阪

25. 水野明宏，山中一郎，仁科 健，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：右鎖骨下動脈瘤に対し upside down Excluder leg を用いて治療した1例。第44回日本血管外科学会学術総会，2016.5.25-27，東京
26. 阪口仁寿，山中一郎，三和千里，廣瀬圭一，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：人工血管感染に対する VAC 療法。第44回日本血管外科学会学術総会，2016.5.25-27，東京
27. 廣瀬圭一，山中一郎，三和千里，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：新生児・乳児期開心術後うっ血性心不全に対するトルバブタンの有用性。第69回日本胸部外科学会定期学術総会，2016.9.28-10.1，岡山
28. 三和千里，山中一郎，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：生体弁による三尖弁置換術の中長期成績の検討 ～エコーによる右心機能評価を加えて～。第69回日本胸部外科学会定期学術総会，2016.9.28-10.1，岡山
29. 矢田 匡，山中一郎，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，恩賀陽平，多良祐一：胸腹部大動脈瘤に対する debrach TEVAR の検討。第69回日本胸部外科学会定期学術総会，2016.9.28-10.1，岡山
30. 恩賀陽平，山中一郎，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，多良祐一：FET 併用 A 型急性大動脈解離の Aortic remodeling。第69回日本胸部外科学会定期学術総会，2016.9.28-10.1，岡山
31. 吉田幸代，山中一郎，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：TEVAR 術後に凝固能異常を来した症例の検討。第69回日本胸部外科学会定期学術総会，2016.9.28-10.1，岡山

(2015年度追加)

32. 三和千里，山中一郎，仁科 健，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平：急性大動脈解離術後遠隔期の再手術の検討。第46回日本心臓血管外科学会学術総会，2016.2.15-17，名古屋
33. 水野明宏，山中一郎，仁科 健，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平：ハイブリッド手術室導入前後での大動脈ステントグラフト内挿術の検討。第46回日本心臓血管外科学会学術総会，2016.2.15-17，名古屋

#### ◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 廣瀬圭一，山中一郎，三和千里，阪口仁寿，水野明宏，吉田幸代，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：心臓術後うっ血性心不全に対するトルバブタン使用経験からの考察。術後体液管理ラウンドテーブルディスカッション，2016.10.27，奈良

一般演題（口演）

2. 吉田幸代，山中一郎，三和千里，廣瀬圭一，阪口仁寿，水野明宏，矢田 匡，恩賀陽平，多良祐一：呼吸器外科手術後の後方変位した左鎖骨により頸動脈解離および弓部大動脈仮性瘤をきたした1例。第24回奈良心臓血管治療懇話会，2016.5.20，奈良



3. 阪口仁寿, 山中一郎, 三和千里, 廣瀬圭一, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: トレーニング 5 か月の医師の成績を含む組織の中で open sugeon を育てる環境・システム. 第68回近畿心臓外科研究会, 2016. 6. 11, 豊中 (大阪)
4. 吉田幸代, 山中一郎, 三和千里, 廣瀬圭一, 阪口仁寿, 水野明宏, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 大動脈解離亜急性期の下肢虚血診断における MRI の有用性. 第43回血管疾患懇話会, 2016. 8. 27, 橿原 (奈良)
5. 廣瀬圭一, 山中一郎, 三和千里, 阪口仁寿, 水野明宏, 吉田幸代, 矢田 匡, 恩賀陽平, 多良祐一: 心臓根治術後遠隔期の肺高血圧. 第11回先天性心疾患に伴う肺高血圧症治療懇話会, 2016. 11. 19, 大阪

◇その他の講演

1. 山中一郎: Acute type A dissection repair –why is the outcome record better in Far East?. Bundang Aortic Surgery Symposium, 2016. 7. 9, Soul(Korea)

◇院内集談会

1. 阪口仁寿: 大動脈弁狭窄症に対する治療 TAVI を中心に. 2016天理よろづ相談所学術発表会, 2016. 11. 10, 外来診療棟 5 階講堂

(凡例) 1 = 倉敷記念病院, 2 = 京都大学大学院医学研究科, 3 = 兵庫医科大学, 4 = 土谷総合病院, 5 = 広島市立安佐市民病院, 6 = 岸和田徳洲会病院, 7 = 日本大学医学部附属板橋病院, 8 = 北関東循環器病院, 9 = 熊本大学医学部附属病院

## 産 婦 人 科

◇学術雑誌

(欧 文)

1. Fujii A, Mogami H<sup>1</sup>, Kondoh E<sup>1</sup>: Two cases of serous retinal detachment with placental abruption, Hypertension Research in Pregnancy 2016 ; 4(1) : 33–37.
2. Tanaka T<sup>2</sup>, Hayashi S<sup>3</sup>, Aoki D<sup>3</sup>, Miki M, Kimura T<sup>4</sup>, Matsumura N<sup>1</sup>, Ohmichi M<sup>2</sup>, et al: Comparison Between Laparoscopy and Laparotomy in Systematic Para-Aortic Lymphadenectomy for Patients with Endometrial Cancer : A Retrospective Multicenter Study, Journal of Gynecologic Surgery 2017 ; doi : 10.1089/gyn.2016.0101.

◇学 会

(国際学会)

特別講演・教育講演

1. Miki M, Mandai M<sup>5</sup>: Efficient Technical Tips and Tricks. Asia & Oceania Federation of Obstetrics & Gynaecology (AOFOG), Minimally Invasive Gynecological Surgery (MIGS), 2016. 6. 23–24, Ulaanbaatar(Mongolia)

2. Miki M, Mandai M<sup>5</sup>: Most common/serious complication awareness. Asia & Oceania Federation of Obstetrics & Gynaecology (AOFOG), Minimally Invasive Gynecological Surgery (MIGS), 2016. 6. 23-24, Ulaanbaatar(Mongolia)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

3. 三木通保, 小林栄仁<sup>4</sup>, 棚瀬康仁<sup>6</sup>: 内視鏡ハンズオンセミナー 子宮体癌に対する腹腔鏡手術の普及に向けて. 第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2016.7.10, 鳥取  
一般演題 (口演)
4. 藤井温子, 金本巨万: エクリズマブ投与と輸血で正期産に至った重症発作性夜間ヘモグロビン尿症合併妊娠の一例. 第52回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2016.7.16, 富山
5. 三木通保, 大須賀拓真, 山中 冨, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 金本巨万, 藤原 潔, 安藤正明<sup>7</sup>, 奥村和弘: 泌尿器科腹腔鏡指導医による腹腔鏡下膀胱子宮靱帯前層処理. 第56回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2016.9.3, 長崎
6. 金本巨万, 大須賀拓真, 山中 冨, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 三木通保, 藤原 潔: 子宮腺筋症核出術後創部妊娠に対しメトトレキサート (MTX) 投与による人工流産後に経頸管トロッカー法にて胎嚢を摘出した1例. 第56回産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2016.9.3, 長崎

一般演題 (ポスター)

7. 金本巨万, 山中 冨, 鈴木 悠, 松村直子, 藤井温子, 関山健太郎, 三木通保, 藤原 潔: 子宮と後腹膜腔に異なる組織型の肉腫を重複した一例. 第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2016.7.8, 米子 (鳥取)
8. 松村直子, 藤井温子, 金本巨万: 周産期に増悪をきたしたが生児を得た特発性好中球減少症合併妊娠の一例. 第52回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2016.7.17, 富山

## ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 三木通保, 大須賀拓真, 山中 冨, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 金本巨万, 藤原 潔, 奥村和弘: 根治性と合併症回避を目指したコツとポイント 膀胱子宮靱帯前層処理. 第6回関西腹腔鏡下婦人科悪性腫瘍会議, 2017.1.14, 大阪
2. 三木通保, 大須賀拓真, 山中 冨, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 金本巨万, 藤原 潔: 当院の腹腔鏡下手術の現状 ~今, 改めて腹腔鏡を考える. 奈良県産婦人科医会・第11回M懇話会, 2017.2.4, 奈良
3. 藤原 潔: 私の行う広汎性子宮全摘術\_\_婦人科手術の基礎として. 第8回奈良県婦人科腫瘍疾患研究会, 2017.3.18, 奈良  
(2015年度追加)
4. 三木通保, 山中 冨, 松村直子, 鈴木 悠, 藤井温子, 関山健太郎, 金本巨万, 藤原 潔: 内視鏡技術認定医への道 ~High Volume Centerでの研修経験を元に~. 第5回奈良産婦人科手術手技研究会, 2016.2.12, 奈良

一般演題（口演）

5. 三木通保, 大須賀拓真, 山中 冴, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 金本巨万, 藤原 潔：  
当院の腹腔鏡下手術の適応と対応について. 平成28年度奈良県産婦人科医会, 2016.5.14,  
橿原（奈良）
6. 松村直子, 山中 冴, 大須賀拓真, 鈴木 悠, 松原慕慶, 金本巨万, 三木通保, 藤原 潔：  
妊娠初期に尿閉をきたし間欠的自己導尿を行った嵌頓子宮の2症例. 平成28年度奈良県  
産婦人科医会, 2016.5.14, 橿原（奈良）
7. 三木通保, 谷 洋彦<sup>1</sup>, 大須賀拓真, 山中 冴, 松村直子, 鈴木 悠, 松原慕慶, 金本  
巨万, 藤原 潔, 佐川典正<sup>8</sup>: 経子宮頸管手術における（12mm trocar）留置の検討.  
第7回奈良産婦人科手術手技研究会, 2017.2.17, 奈良
8. 金本巨万, 大須賀拓真, 山中 冴, 鈴木 悠, 松村直子, 松原慕慶, 三木通保, 藤原 潔：  
術前化学療法に TC 療法が有効であった神経内分泌腫瘍への分化を示す子宮頸部腺癌の  
1例. 第8回奈良県婦人科腫瘍疾患研究会, 2017.3.17, 橿原（奈良）

（2015年度追加）

9. 三木通保, 山中 冴, 松村直子, 鈴木 悠, 関山健太郎, 金本巨万, 樋口壽宏<sup>9</sup>, 石戸  
谷哲<sup>9</sup>, 藤原 潔: TLH時の尿管断裂の一例. 第5回奈良産婦人科手術手技研究会,  
2016.2.12, 奈良
10. 三木通保, 山中 冴, 松村直子, 鈴木 悠, 藤井温子, 関山健太郎, 金本巨万, 安藤正  
明<sup>7</sup>, 藤原 潔: 当院産婦人科で施行している3D腹腔鏡下手術の現状. 第22回奈良内  
視鏡下手術研究会, 2016.2.27, 奈良

◇その他の講演

1. 藤原 潔: 復習: コルポスコピー —子宮頸癌を見逃さないために—. 奈良県産婦人科  
医会第11回女性医師懇話会, 2017.2.4, 奈良

◇一般向け

（講演）

1. 藤原 潔: これだけはしっておきたい婦人科癌の最新知識. 平成28年度奈良県民公開講  
座, 2017.3.4, 奈良

（凡例） 1 = 京都大学大学院医学研究科, 2 = 大阪医科大学, 3 = 慶應義塾大学医学部・  
医学研究科, 4 = 大阪大学大学院医学系研究科, 5 = 近畿大学医学部, 6 = 奈良  
県立医科大学, 7 = 倉敷成人病センター, 8 = 洛和会音羽病院, 9 = 滋賀県立成  
人病センター

## 眼 科

### ◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 半田壮一, 乾絵美子, 田川美穂, 松原みどり, 田村和寛, 大橋啓一, 西脇弘一: 滲出型加齢黄斑変性症に対するラニビズマブ硝子体注射後の経過, 眼科臨床紀要 2016; 9: 417-422.
2. 乾絵美子, 若園知尊, 田川美穂, 大橋啓一, 西脇弘一: 外傷性黄斑円孔に対する硝子体手術成績, 眼科臨床紀要 2016; 9: 1007-1010.
3. 宮田真衣<sup>1</sup>, 宮田良平<sup>1</sup>, 小澤摩記<sup>1</sup>, 松原 央<sup>1</sup>, 築留英之<sup>1</sup>, 西脇弘一, 近藤峰生<sup>1</sup>: 手足口病後に unilateral acute idiopathic maculopathy を発症した1例, 臨床眼科 2017; 71: 97-102.

### ◇学 会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 西脇弘一: インストラクションコース 病診連携をさらに極める 抗 VEGF 療法適応拡大での病診連携. 第70回日本臨床眼科学会, 2016. 11. 3, 東京

一般演題 (口演)

2. 與座里奈, 大庭慎平, 佐々木研輔, 乾絵美子, 松原みどり, 田村和寛, 大橋啓一, 西脇弘一: 手足口病感染後に発症した unilateral acute idiopathic maculopathy の1例. 第67回京大眼科同窓会学会, 2016. 10. 30, 京都

一般演題 (ポスター)

3. 宮田真衣<sup>1</sup>, 宮田良平<sup>1</sup>, 小澤摩記<sup>1</sup>, 松原 央<sup>1</sup>, 築留英之<sup>1</sup>, 西脇弘一, 近藤峰生<sup>1</sup>: 手足口病後に黄斑症を発症した13歳の1例. 第120回日本眼科学会総会, 2016. 4. 8, 仙台(宮城)

### ◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 佐々木研輔, 西脇弘一: 視力障害をきたした肥厚性硬膜炎の症例. 47回天理眼科臨床懇話会, 2016. 4. 14, 天理
2. 與座里奈, 西脇弘一: 網膜外層に変化を来す疾患の鑑別. 47回天理眼科臨床懇話会, 2016. 4. 14, 天理
3. 西脇弘一: 抗 VEGF 療法の逆紹介. 第10回奈良病診連携集談会, 2016. 4. 23, 奈良
4. 與座里奈, 大庭慎平, 佐々木研輔, 乾絵美子, 松原みどり, 田村和寛, 大橋啓一, 西脇弘一: 網膜外層に変化を来す疾患の鑑別. 第20回奈良黄斑疾患研究会, 2016. 5. 19, 奈良
5. 佐々木研輔, 與座里奈, 乾絵美子, 愛須奈央, 松原みどり, 田村和寛, 大橋啓一, 西脇弘一: 視力低下をきたした肥厚性硬膜炎の3例. 第108回久留米大学眼科研究会, 2016. 10. 22, 久留米 (福岡)

6. 大庭慎平, 西脇弘一: 2015年の網膜剥離手術成績. 第48回天理臨床懇話会, 2016.10.27, 天理
7. 與座里奈, 西脇弘一: 硝子体手術を施行した pit-macula syndrome の1症例. 第48回天理臨床懇話会, 2016.10.27, 天理
8. 佐々木研輔, 西脇弘一: Inverted ILM flap technique を用いた黄斑円孔の術後経過. 第48回天理臨床懇話会, 2016.10.27, 天理
9. 與座里奈, 大庭慎平, 佐々木研輔, 乾絵美子, 松原みどり, 田村和寛, 大橋啓一, 西脇弘一: 硝子体手術を施行した pit-macula syndrome の1症例. 第21回奈良黄斑疾患研究会, 2016.11.17, 奈良
10. 大橋啓一: 硝子体道場 I. 第49回天理臨床懇話会, 2017.3.23, 天理
11. 西脇弘一: 硝子体道場 II. 第49回天理臨床懇話会, 2017.3.23, 天理

◇一般向け

(講演)

1. 西脇弘一: 加齢黄斑変性症. 憩の家講座, 2016.5.26, 本館7階講堂

(凡例) 1 = 三重大学大学院医学系研究科

## 耳鼻咽喉科

◇書籍

1. 堀 龍介: 第3章 耳 B. 疾患 3 急性中耳炎・急性外耳炎, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科レジデントマニュアル, pp88-90, 伊藤壽一, 大森孝一 監修, 楯谷一郎 編集, 医学書院 (東京), 2016
2. 堀 龍介: 第3章 耳 B. 疾患 4 滲出性中耳炎, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科レジデントマニュアル, pp91-92, 伊藤壽一, 大森孝一 監修, 楯谷一郎 編集, 医学書院 (東京), 2016

◇学術雑誌

(欧文)

1. Novaleski CK, Kojima T, Chang S, Luo H, Valenzuela CV, Rousseau B: Nonstimulated rabbit phonation model: Cricothyroid approximation, Laryngoscope 2016; doi: 10.1002/lary. 25559.
2. Chang S, Novaleski CK, Kojima T, Mizuta M, Luo H, Rousseau B: Subject-Specific Computational Modeling of Evoked Rabbit Phonation, Journal of Biomechanical Engineering 2016; 138(1): doi: 10.1115/1.4032057.

(邦文)

3. 堀 龍介: 深頸部感染症の画像診断, 医薬ジャーナル 2017; 53 (2): 5-9.
4. 堀 龍介, 庄司和彦: 【耳鼻咽喉科診療スキルアップ32 —私のポイント—】 外来で可

能な穿刺吸引細胞診と生検, ENTONI 2016;192:183-188.

5. 岡上雄介, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 食道に陥入していた有茎性下咽頭腫瘍3例, 日本気管食道科学会会報 2016;67(6):412-417.
6. 児嶋 剛, 庄司和彦, 堀 龍介, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 皮膚小切開による甲状腺片葉切除術, 頭頸部外科 2016;26(2):283-288.
7. 藤村真太郎, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 当科におけるTS-1を用いた上顎洞癌三者併用療法の治療成績, 頭頸部癌 2016;42(3):322-326.
8. 奥山英晃, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 北野正之: 舌扁平上皮癌T2N0症例の予防的頸部郭清術に関する検討, 頭頸部癌 2016;42(3):334-338.
9. 児嶋 剛, 堀 龍介, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之, 庄司和彦: 舌骨・甲状軟骨と頸椎の接触により嚥下時クリック音を呈した1例, 耳鼻咽喉科臨床 2016;109(11):791-795.
10. 堀 龍介: 内視鏡下の鼓室形成術とアブミ骨手術, 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2016;119:1282-1289.
11. 岡上雄介, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 当科における接着法による鼓膜形成術とその長期成績, Otology Japan 2016;26(3):121-126.
12. 小林徹郎, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃: 外切開で摘出した局部床義歯下咽頭食道異物例, 耳鼻咽喉科臨床 2016;109(3):171-176.

#### ◇学 会

(国内学会)

##### 特別講演・教育講演

1. 堀 龍介: 内視鏡下の鼓室形成術とアブミ骨手術(臨床セミナー4). 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2016.5.19-21, 名古屋
2. 堀 龍介: 顔面神経麻痺発症3日以内に受診した患者に対する積分筋電図ENoGによる予後診断(第22回日本耳科学会奨励賞受賞者講演). 第26回日本耳科学会総会・学術講演会, 2016.10.5-8, 長野

##### 一般演題(口演)

3. 奥山英晃, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 北野正之: 1cm未満の甲状腺腫瘍に対する穿刺吸引細胞診の検討. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2016.5.19-21, 名古屋
4. 北野正之, 庄司和彦, 堀 龍介, 庄司和彦, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃: 当院で行っているエコーガイド下の甲状腺穿刺吸引細胞診. 第36回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会, 2016.5.28-29, 京都
5. 北野正之, 庄司和彦, 堀 龍介, 庄司和彦, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英

晃：甲状腺微小癌に対する穿刺吸引細胞. 第40回日本頭頸部癌学会, 2016.6.9-10, さいたま (埼玉)

6. 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 大八木誠児, 北野正之, 庄司和彦: 当科での耳科手術における内視鏡使用状況について. 第26回日本耳科学会総会・学術講演会, 2016.10.5-8, 長野
7. 岡上雄介, 堀 龍介, 児嶋 剛, 藤村真太郎, 大八木誠児, 北野正之, 庄司和彦: 当科での鼓室形成術再手術症例の検討. 第26回日本耳科学会総会・学術講演会, 2016.10.5-8, 長野
8. 田中 良, 児嶋 剛, 酒巻春日, 堀 龍介, 岡上雄介, 藤村真太郎, 大八木誠児, 北野正之, 庄司和彦: リハビリテーションで常食摂取が可能となった特発性輪状咽頭嚥下困難症の1例. 第40回日本嚥下医学会総会並びに学術講演会, 2017.2.24-25, 東京  
一般演題 (ポスター)
9. 児嶋 剛, 庄司和彦, 堀 龍介, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 甲状腺乳頭癌 N0 症例の検討. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2016.5.19-21, 名古屋
10. 岡上雄介, 庄司和彦, 堀 龍介, 児嶋 剛, 藤村真太郎, 奥山英晃, 北野正之: 当科における耳下腺癌症例の検討. 第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2016.5.19-21, 名古屋
11. 藤村真太郎, 庄司和彦, 堀 龍介, 庄司和彦, 児嶋 剛, 岡上雄介, 奥山英晃, 北野正之: 診断に苦渋した小児咽頭異物例. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 2016.6.23-24, 鹿児島
12. 北野正之, 庄司和彦, 堀 龍介, 庄司和彦, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 奥山英晃: 耳下腺多形腺腫再発11症例の検討. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会, 2016.6.23-24, 鹿児島
13. 児嶋 剛, 堀 龍介, 岡上雄介, 藤村真太郎, 大八木誠児, 北野正之, 庄司和彦: 当院における甲状腺結節核出術の検討. 第49回日本甲状腺外科学会学術集会, 2016.10.27-28, 甲府 (山梨)
14. 大八木誠児, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 北野正之, 庄司和彦: 甲状腺乳頭癌の手術後20年以上観察できた症例の検討. 第49回日本甲状腺外科学会学術集会, 2016.10.27-28, 甲府 (山梨)
15. 大八木誠児, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 藤村真太郎, 北野正之, 庄司和彦: 上縦隔に進展した甲状腺嚢胞を疑い外科的治療を行った気管支嚢胞例. 第68回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会, 2016, 11.17-18, 東京
16. 奥山英晃, 堀 龍介, 庄司和彦, 大森孝一: 頭頸部癌術後の皮膚潰瘍に対する陰圧閉鎖療法の実験. 第68回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会, 2016.11.17-18, 東京

## ◇研究会

### 一般演題（口演）

1. 堀 龍介：顕微鏡併用した経外耳道的内視鏡下耳科手術。第28回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.4.2，京都
2. 岡上雄介：当科における耳下腺癌症例の検討。第28回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.4.2，京都
3. 藤村真太郎：ポータブルデバイスによる病的音声評価法の開発。第28回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.4.2，京都
4. 藤村真太郎，岡上雄介，堀 龍介，児嶋 剛，奥山英晃，小林徹郎，庄司和彦：鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版について。第82回奈良県耳鼻咽喉科研修会，2016.4.16，橿原（奈良）
5. 藤村真太郎：グレースビットが有効であった急性扁桃炎例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
6. 大八木誠児：上顎洞真菌症の2例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
7. 岡上雄介：耳小骨奇形の2例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
8. 北野正之：内視鏡にて摘出した耳管に進展した中耳真珠腫例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
9. 堀 龍介：当科での内視鏡下耳科手術の現状。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
10. 大八木誠児：悪性黒色腫頸部リンパ節転移例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
11. 児嶋 剛：外側側頭骨切除を施行した外耳道癌例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
12. 北野正之：喉頭多形腺腫例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
13. 藤村真太郎：周囲組織浸潤を伴う高齢者甲状腺低分化癌例。第18回北和病診連携講習会，2016.7.30，奈良
14. 児嶋 剛，堀 龍介，岡上雄介，藤村真太郎，大八木誠児，北野正之，庄司和彦：当科での甲状腺片葉術の現状について。第83回奈良県耳鼻咽喉科講習会，2016.10.28，奈良
15. 庄司和彦：保険に関する問題。第83回奈良県耳鼻咽喉科講習会，2016.10.28，奈良
16. 堀 龍介：内視鏡下の接着法とI型。第2回耳科領域ワーキンググループ研究会，2016.12.17，京都
17. 藤村真太郎：ポータブルデバイスによる病的音声評価法の開発 第二報。第29回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.12.3，京都
18. 大八木誠児：甲状腺乳頭癌の長期治療成績について。第29回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.12.3，京都
19. 北野正之：甲状腺腫瘍に対する当院の穿刺吸引細胞診の検討。第29回京都耳鼻咽喉科研究会，2016.12.3，京都
20. 堀 龍介：伝音再建のコツ。第17回京都側頭骨手術手技研究会，2017.1.14，京都



21. 藤村真太郎, 堀 龍介, 児嶋 剛, 岡上雄介, 大八木誠児, 北野正之, 庄司和彦: 内頸動脈を圧排し繰り返す脳梗塞の原因となった茎状突起過長症例. 第31回近畿耳鼻咽喉科手術手技研究会, 2017.1.28, 大阪
22. 堀 龍介: 顔面神経麻痺の予後診断と顔面神経減荷術の適応について. 第8回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2017.2.11, 奈良
23. 藤村真太郎: 小児咽頭フィルム異物の1例. 第8回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2017.2.11, 奈良
24. 岡上雄介: 当科でのアレルギー性鼻炎の治療方針. 第8回東和耳鼻咽喉科医療講習会, 2017.2.11, 奈良

## 形 成 外 科

### ◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 本間幸恵, 義本裕次, 丸川雄大, 高見昌司<sup>1</sup>: Wrap Around Flap に第1趾基節骨からの vascularized bone を合併移植した経験 ~腸骨採取が不要となる WAF の提案~, 日本手外科学会誌 2017; 33 (4) : オンラインジャーナル

### ◇学 会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 徳力俊治<sup>2</sup>, 高鉦広章<sup>2</sup>, 義本裕次, 本間幸恵, 大井宏美<sup>3</sup>: 当科にて治療を行った耳下腺腫瘍症例の検討. 第59回日本形成外科学会総会, 2016.4.13-15, 福岡
2. 太田知佐<sup>2</sup>, 徳力俊治<sup>2</sup>, 前田和彦<sup>2</sup>, 高鉦広章<sup>2</sup>, 義本裕次: 熱傷後癩痕拘縮に V-N 皮弁法を用いた5例. 第113回関西形成外科学会, 2016.7.10, 大阪
3. 徳力俊治<sup>2</sup>, 高鉦広章<sup>2</sup>, 太田知佐<sup>2</sup>, 本間幸恵, 義本裕次, 大井宏美<sup>3</sup>: 開心術後の胸部創離開症例に対する手術治療についての検討. 第8回日本創傷外科学会. 2016.7.21-22, 東京
4. 丸川雄大, 義本裕次, 本間幸恵: Bi-*pedicled tube flap* による耳輪再建. 第114回関西形成外科学会, 2016.11.26, 大阪

一般演題 (ポスター)

5. 義本裕次, 本間幸恵, 萩原佳奈子, 徳力俊治<sup>1</sup>: 老人性眼瞼下垂症手術における術中挙筋張力測定. 第58回日本形成外科学会, 2015.4.8-10, 京都

### ◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 本間幸恵, 義本裕次, 丸川雄大: 血管奇形, 血管腫に対する  $\beta$  ブロッカーの使用経験. 第30回奈良形成外科研究会, 2017.2.3, 奈良

(凡例) 1 = 関西電力病院形成外科, 2 = 公立豊岡病院, 3 = 大井医院, 4 = 済生会中津病院

## 整 形 外 科

### ◇学術雑誌

(欧 文)

1. Yamaguchi R<sup>1</sup>, Kamiya N, Adapala NS<sup>2</sup>, Drissi H<sup>3</sup>, Kim HK<sup>1</sup>: HIF-1-Dependent IL-6 Activation in Articular Chondrocytes Initiating Synovitis in Femoral Head Ischemic Osteonecrosis, JBJS-A : Journal of Bone & Joint Surgery 2016 ; 98(13) : 1122-1131.
2. Badri MK<sup>4</sup>, Zhang H<sup>5</sup>, Ohyama Y<sup>4</sup>, Venkitapathi S<sup>4</sup>, Kamiya N, Takeda H<sup>6</sup>, Ray M<sup>7</sup>, et al : Ellis Van Creveld 2 is Required for Postnatal Craniofacial Bone Development, Anatomical Record, 2016 ; 299(8) : 1110-1120.
3. Badri MK<sup>4</sup>, Zhang H<sup>5</sup>, Ohyama Y<sup>4</sup>, Venkitapathi S<sup>4</sup>, Alamoudi A<sup>4</sup>, Kamiya N, Takeda H<sup>6</sup>, et al : Expression of Evc 2 in craniofacial tissues and craniofacial bone defects in Evc 2 knockout mouse, Archives of Oral Biology 2016 ; 68 : 142-152.
4. Zhang Y<sup>5</sup>, McNerny EG<sup>5</sup>, Terajima M<sup>8</sup>, Raghavan M<sup>5</sup>, Romanowicz G<sup>5</sup>, Zhang Z<sup>5</sup>, Kamiya N, et al : Loss of BMP signaling through BMPR 1 A in osteoblasts leads to greater collagen cross-link maturation and material-level mechanical properties in mouse femoral trabecular compartments, Bone 2016 ; 88 : 74-84.
5. Kamiya N, Shuxian L<sup>9</sup>, Yamaguchi R<sup>2</sup>, Phipps M<sup>2</sup>, Aruwajoye O<sup>2</sup>, Adapala NS<sup>2</sup>, Yuan H<sup>9</sup>, et AL : Targeted disruption of BMP signaling through type IA receptor (BMPR 1 A) in osteocyte suppresses SOST and RANKL, leading to dramatic increase in bone mass, bone mineral density and mechanical strength, Bone 2016 ; 91 : 53-63.
6. Agarwal S<sup>10</sup>, Loder SJ<sup>10</sup>, Cholok D<sup>10</sup>, Peterson J<sup>10</sup>, Li J<sup>10</sup>, Breuler C<sup>1</sup>, Kamiya N, et al : Scleraxis-Lineage Cells Contribute to Ectopic Bone Formation in Muscle and Tendon, Stem Cells, 2016 ; doi : 10.1002/stem.2515.
7. Zhang H<sup>5</sup>, Kamiya N, Tsuji T<sup>11</sup>, Takeda H<sup>7</sup>, Scott G<sup>7</sup>, Rajderkar S<sup>5</sup>, Ray MK<sup>7</sup>, et al : Elevated Fibroblast Growth Factor Signaling Is Critical for the Pathogenesis of the Dwarfism in Evc 2/Limbin Mutant Mice, PLOS Genetics 2016 ; 12(12) : e1006510.

### ◇学 会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Kamiya N : Targeted Disruption of BMP Signaling Through Type IA Receptor

(BMPRIA) in Osteocyte Suppresses SOST and DKK 1, Leading to a Dramatic Increase in Bone Mass, Bone Mineral Density and Mechanical Strength Oral. The annual meeting of Korean Paediatric Orthopaedic Society (KPOS), 2016.6.3, Seoul (Korea)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

2. 神谷宣広：訪問記 2015 KPOS-TPOS-JPOA Exchange Fellowship in Korea. 第27回日本小児整形外科学会学術集会, 2016.12.1-2, 仙台

3. 神谷宣広：ペルテス病の基礎研究. 第27回日本小児整形外科学会学術集会, 2016.12.1-2, 仙台

一般演題 (口演)

4. 前谷健佑<sup>12</sup>, 神谷宣広：飛込競技における怪我と心理的不安状況の調査. 日本体育学会第67回大会, 2016.8.26, 大阪

5. 神谷宣広, 水野みどり<sup>12</sup>：大学生スポーツ競技者におけるスポーツ外傷・障害ならびに前十字靭帯損傷調査. 第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2016.9.17, 札幌

一般演題 (ポスター)

6. 吉田 寿<sup>12</sup>, 神谷宣広：大学陸上競技選手における外傷・障害を予防するための意識調査に関する研究. 日本体育学会第67回大会, 2016.8.25, 大阪

7. 山口亮介<sup>1</sup>, 神谷宣広, Kim H<sup>2</sup>：最優秀ポスター賞 仙台関節軟骨における HIF-1 依存性インターロイキン6 活性化がペルテス病における股関節滑膜炎の発症機序である. 第27回日本小児整形外科学会学術集会, 2016.12.1-2, 仙台 (宮城)

(2015年度追加)

8. 神谷宣広：最優秀ポスター賞 LCPD (小児大腿骨頭壊死症：ペルテス病) は慢性的な股関節滑膜炎と関節液中インターロイキン6の上昇をきたす. 第26回日本小児整形外科学会学術集会, 2015.12.4-5, 岐阜

## ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 神谷宣広：BMP の新たな役割 —Mouse genetics を用いた挑戦—. 第17回運動器科学研究会, 2016.9.2, 大阪

一般演題 (口演)

2. 西松秀和, 大庭真央, 関 賢二, 中村賢司, 池田周正：Curved Periacetabular Osteotomy の経験. 第36回奈良骨・関節研究会, 2016.4.2, 奈良

3. 西松秀和：変形性股関節に対する手術療法 —患者さんへのアンケート結果を含めて—. 第4回奈良疼痛研究会, 2016.6.25, 奈良

4. 神谷宣広, 西松秀和：天理大学におけるスポーツ外傷・障害の現状とその対策. 第19回奈良スポーツ医学研究会, 2016.8.6, 奈良

5. 西松秀和：腰椎前方固定に併用する後方固定 (Sプレート) の使用経験. 腰椎前方固定に併用する棘突起固定の有用性研究会, 2016.11.26, 大阪

6. 関 賢二, 中村賢司, 笹井恒雄, 西松秀和: 硬膜内胸髄くも膜嚢腫と胸髄ヘルニアの1例ずつの報告. 第18回圧迫性脊髄症研究会, 2017.1.21, 東京  
(2015年度追加)
7. 西松秀和: 人工股関節置換術後病的脱臼をおこした1症例. 第15回まほろば整形勉強会, 2016.2.5, 天理

◇その他の講演

1. Kamiya N: My basic research in pediatric orthopaedics. Severance Children's Hospital, 2016.5.31, Seoul(Korea)
2. Kamiya N: My basic research in pediatric orthopaedics. Seoul National University Children's Hospital, 2016.6.1, Seoul(Korea)
3. 中村賢司: 慢性腰痛 ～痛みは辛いだがこれを聞けば役に立つ～. 奈良県薬剤師会 障害研修セミナー, 2017.3.9, 奈良

◇院内集談会

1. 西松秀和: 転倒転落の件数報告. 第8回転倒転落予防報告会, 2016.10.19, 外来診療棟5階講堂

◇一般向け

(口 演)

1. 西松秀和: 腰, 膝の痛みの治療について. 第15回健康保険教育講座, 2016.9.11, 名古屋
2. 西松秀和: 股・膝関節疾患と手術 前回アンケートの報告. 第3天理よろづの関節講座, 2016.10.10, 外来診療棟講堂  
(2015年度追加)
3. 西松秀和: 骨粗しょう症 (その予防と治療). 憩の家講座, 2015.6.26, 本館7階講堂
4. 西松秀和: 関節の痛みがまんしないで. 第1回天理よろづの関節講座, 2015.9.28, 外来診療棟講堂
5. 西松秀和: 下肢の痛み. 憩の家講座, 2015.11.26, 本館7階講堂
6. 西松秀和: 痛みからの解放を目指す ー変形性関節症と人工関節置換について. 第2回天理よろづの関節講座, 2016.2.15, 外来診療棟講堂

(凡例) 1 = 福岡市立こども病院整形外科, 2 = Texas Scottish Rite Hospital for Children, 3 = University of Connecticut Health Center, 4 = Boston University, 5 = University of Michigan, 6 = University of Liège, 7 = National Institute of Environmental Health Sciences, 8 = University of North Carolina at Chapel Hill, 9 = Texas A&M University College of Dentistry, 10 = Burn/Wound and Regenerative Medicine Laboratory, 11 = 岡山大学大学院医学系研究科, 12 = 天理大学体育学科,

## 泌 尿 器 科

### ◇学術雑誌

(欧 文)

1. Kamba T<sup>1</sup>, Kamoto T<sup>2</sup>, Maruo S<sup>3</sup>, Kikuchi T<sup>3</sup>, Shimizu Y<sup>1</sup>, Namiki S<sup>4</sup>, Kawanishi H, et al (ZAPCA Study Group): A phase III multicenter, randomized, controlled study of combined androgen blockade with versus without zoledronic acid in prostate cancer patients with metastatic bone disease: results of the ZAPCA trial, *International Journal of Clinical Oncology* 2017 ; 22(1) : 166–173.
2. Mizuno K<sup>5</sup>, Inoue T<sup>1</sup>, Kinoshita H<sup>6</sup>, Yano T<sup>7</sup>, Kawanishi H, Kanda H<sup>8</sup>, Terada N<sup>1</sup>, et al : Evaluation of predictors of unfavorable pathological features in men eligible for active surveillance using radical prostatectomy specimens : a multi-institutional study, *Japanese Journal of Clinical Oncology* 2016 ; 46(12) : 1156–1161.
3. Kawanishi H, Ito K, Kamido S, Kohno Y, Uemura T, Kato K, Uetsuki H, Ohno H, Okumura K : Advantage of urological experience with both transperitoneal and retroperitoneal laparoscopy in lymph node biopsy for malignant lymphoma diagnosis, *Investigative and Clinical Urology* 2016 ; 57(6) : 401–407.

(邦 文)

4. 川西博晃, 伊藤克弘, 高森 一, 提箸隆一郎, 植村俊彦, 河野有香, 加藤敬司, 植月祐次, 奥村和弘 : 天理よろづ相談所病院における腹腔鏡下前立腺全摘除術の治療成績 — 制癌効果を中心に —, *Japanese Journal of Endourology* 2016 ; 29 : 204 – 208.
5. 砂田拓郎, 上戸 賢, 濱田彬弘, 加藤敬司, 植月祐次, 川西博晃, 奥村和弘 : 原因不明の女子尿道狭窄症に対し, 虫垂を用いた自己導尿型尿路変向を施行した1例, *泌尿器科紀要* 2016 ; 62 ( 9 ) : 479 – 482.

### ◇学 会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Kono Y, Takamori H, Sagehashi R, Uemura T, Ito K, Kato K, Uetsuki H, Kawanishi H, Okumura K : retroperitoneoscopic Adrenalectomy in a Patient with Lumbo-peritoneal Shunt : A Case Report and Literature Review. 34th World Congress of Endourology, 2016.11.9, Cape Town(South Africa)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

2. 奥村和弘 : LRP から RALP へ : LRP の経験を活かし RALP の手技を極める, 第30回泌尿器内視鏡学会総会, 2016.11.18, 大阪

一般演題 (口演)

3. 高森 一, 提箸隆一郎, 植村俊彦, 河野有香, 加藤敬司, 植月祐次, 川西博晃, 奥村和弘 : 直腸癌前立腺浸潤に対し腹腔鏡下前立腺全摘術を施行し尿禁制を得た1例. 第233

回日本泌尿器科学会関西地方会，2016.9.24，大阪

4. 加藤敬司，高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，川西博晃，奥村和弘：前立腺肥大症に対するタダラフィル投与初期の検討．第66回日本泌尿器科中部総会，2016.10.29，四日市（三重）
  5. 植村俊彦，高森 一，提箸隆一郎，河野有香，加藤敬司，川西博晃，奥村和弘：S状結腸または直腸切除歴のある前立腺癌患者に対して前立腺全摘除術を施行した2例．第30回泌尿器内視鏡学会総会，2016.11.18，大阪
  6. 提箸隆一郎，奥村紀子，金子嘉志，植村俊彦，奥村和弘：大網卷絡に対して腹腔鏡下手術を行った2例．第41回奈良県透析部会学術総会，2017.2.5，奈良
- 一般演題（ポスター）
7. 川西博晃，植村俊彦，伊藤克弘，河野有香，加藤敬司，植月祐次，奥村和弘：去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）に対するエンザルタミド減量投与（80mg）の試み．第104回日本泌尿器科学会総会，2016.4.23，仙台（宮城）
  8. 加藤敬司，高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，川西博晃，奥村和弘：天理よろづ相談所病院におけるロボット支援前立腺全摘除術とLRPでの膀胱尿道吻合の比較検討．第104回日本泌尿器科学会総会，2016.4.24，仙台（宮城）
  9. 植村俊彦，伊藤克弘，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：天理よろづ相談所病院における腎癌に対する腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績．第104回日本泌尿器科学会総会，2016.4.25，仙台（宮城）
  10. 川西博晃，高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，奥村和弘：高リスク前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術における術前ホルモン療法の意味の検討．第30回泌尿器内視鏡学会総会，2016.11.18，大阪
  11. 河野有香，高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，伊藤克弘，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：腰椎 一腹腔シャント留置中の患者における体腔鏡下左副腎摘除術．第30回泌尿器内視鏡学会総会，2016.11.18，大阪
  12. 高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：天理よろづ相談所病院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の治療成績．第30回泌尿器内視鏡学会総会，2016.11.18，大阪
  13. 提箸隆一郎，高森 一，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：天理よろづ相談所病院における，ロボット支援腎部分切除術の導入初期の治療成績．第30回泌尿器内視鏡学会総会，2016.11.18，大阪

#### ◇研究会発表

##### 特別講演・教育講演

1. 奥村和弘：後腹膜アプローチによるRARPのポイント．第6回茨城県央県北ロボット手術研究会，2016.11.29，水戸（茨城）
2. 奥村和弘：骨盤内腹腔鏡手術について ～泌尿器科の立場から～．第17回近畿産婦人科内視鏡手術研究会，2017.2.5，大阪
3. 提箸隆一郎，高森 一，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和

弘：当院における，HoLEP の手術成績について．天理泌尿器講話会，2017.2.21，奈良

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

4. 川西博晃，高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，奥村和弘：RALP：前立腺周囲剝離 —当院での方法．第35回泌尿器科手術研究会，2017.1.28，京都  
一般演題（口演）
5. 高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：カバジタキセルの使用経験．CRPC Round Table Talk，2016.10.7，大阪
6. 高森 一，提箸隆一郎，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：当院での RALP，RAPN の治療成績．第15回北和排尿障害懇話会，2017.3.10，奈良
7. 提箸隆一郎，高森 一，植村俊彦，河野有香，加藤敬司，植月祐次，川西博晃，奥村和弘：当院におけるロボット支援手術腎部分切除術の報告．第23回奈良県内視鏡下手術研究会，2017.3.4，奈良

◇その他の講演

1. 奥村和弘：RALP：無編集ビデオで見る後腹膜アプローチの手技．日立市医師会学術講演会，2016.9.6，日立（茨城）
2. 川西博晃：前立腺がんの治療法 ～標準治療から最新治療まで～．がん診療連携拠点病院公開講座 医療従事者対象研修会，2016.10.21，天理

◇一般向け

（講演）

1. 川西博晃：前立腺がんの手術療法．憩の家講座，2016.6.26，本館7階講堂

（凡例） 1 = 京都大学大学院医学研究科， 2 = 宮崎大学医学部， 3 = 臨床研究情報センター， 4 = 大崎市民病院， 5 = 大津赤十字病院， 6 = 関西医科大学， 7 = 神戸市立医療センター中央市民病院， 8 = 三重大学大学院医学系研究科

## 腎 透 析 科

◇学術雑誌

（欧文）

1. Kanto S<sup>1</sup>, Grynberg M<sup>2</sup>, Kaneko Y, Fujita J<sup>3</sup>, Satake M<sup>1</sup>: A variant of Runx 2 that differs from the bone isoform in its splicing is expressed in spermatogenic cells, PeerJ 2016; DOI 10.7717/peerj. 1862.

（邦文）

2. 奥村紀子，金子嘉志：【腹膜透析 2016】当院のトンネル感染に対するカテーテル引き抜き法の有効性，腎と透析 2016；81巻別冊：178－179.

## ◇学 会

(国際学会)

一般演題 (ポスター)

1. Nakayama Y, Kaneko Y, Okumura N: Patient's own connective tissues may serve as future dialysis access tubes. American Heart Association Scientific sessions 2016, 2016.11.13, New Orleans(USA)

(国内学会)

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

2. 奥村紀子: 教育研修医療機関の役割と実際. 第22回日本腹膜透析学会総会, 2016.9.23, 札幌
3. 金子嘉志, 提箸隆一郎, 奥村紀子, 中山泰秀: バイオチューブの世界初臨床応用と透析医療での生体内組織工学の可能性. 第54回日本人工臓器学会, 2016.11.25, 米子
4. 金子嘉志, 提箸隆一郎, 奥村紀子, 中山泰秀: 「バイオチューブ」の臨床応用: 透析内シャント修復術. 第16回日本再生医療学会総会, 2017.3.9, 仙台 (宮城)

一般演題 (口演)

5. 奥村紀子, 金子嘉志, 奥村秀弘: バスキュラーアクセスのピットフォール. 第61回日本透析医学会学術総会, 2016.6.13, 大阪

## ◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 金子嘉志: 透析用シャントの過去, 現在, そして近未来. 第6回奈良県腎友会定時総会, 2016.5.22, 奈良

一般演題 (口演)

2. 提箸隆一郎, 奥村紀子, 金子嘉志, 植村俊彦, 奥村和弘: 大網巻絡に対して, 腹腔鏡下大網解除術を施行した2例. 第41回奈良県医師会透析部会学術総会, 2017.2.5, 奈良

## ◇その他の講演

1. 奥村紀子: 天理よろづ相談所病院が「腹膜透析」を頑張る理由. 大和郡山 CKD 講演会, 2016.4.2, 大和郡山 (奈良)
2. 金子嘉志: PD の原理, PET 検査. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.4.28, 天理
3. 奥村紀子: PD 合併症, 治療選択. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.4.28, 天理
4. 金子嘉志: PD の原理, PET 検査. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.5.26, 天理
5. 奥村紀子: PD 合併症, 治療選択. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.5.26, 天理
6. 金子嘉志: PD の原理, PET 検査. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.6.23, 天理
7. 奥村紀子: PD 合併症, 治療選択. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.6.23, 天理
8. 金子嘉志: PD の原理, PET 検査. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.7.28, 天理
9. 奥村紀子: PD 合併症, 治療選択. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.7.28, 天理
10. 金子嘉志: PD の原理, PET 検査. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.8.25, 天理
11. 奥村紀子: PD 合併症, 治療選択. CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.8.25, 天理
12. 奥村紀子: 2025年問題に向けての地域連携. 奈良医師会勉強会, 2016.9.28, 奈良



13. 金子嘉志：バイオチューブ，その後．第9回バスキュラーアクセス勉強会，2016.10.27，天理
14. 金子嘉志：PDの原理，PET検査．CAPD認定指導看護師教育研修，2016.10.27，天理
15. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2016.10.27，天理
16. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2016.11.24，天理
17. 金子嘉志：PDの原理，PET検査．CAPD認定指導看護師教育研修，2016.12.22，天理
18. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2016.12.26，天理
19. 金子嘉志：PDの原理，PET検査．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.1.26，天理
20. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.1.26，天理
21. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.2.23，天理
22. 金子嘉志：PDの原理，PET検査．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.2.23，天理
23. 金子嘉志：PDの原理，PET検査．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.3.23，天理
24. 奥村紀子：PD合併症，治療選択．CAPD認定指導看護師教育研修，2017.3.23，天理
25. 金子嘉志：「バイオチューブ」の臨床応用：透析内シャント修復術．先端医療振興財団招聘講演，2017.1.18，神戸

#### ◇院内集談会

1. 奥村紀子：天理よろづ相談所病院が「腹膜透析」を頑張る理由，2025年問題に向けての地域連携．天理地域連携，2016.10.6，外来診療棟5階大講堂

(凡例) 1 = 東北大学加齢医学研究所， 2 = Polish Academy of Sciences， 3 = 京都大学医学部

## 麻 酔 科

#### ◇書 籍

1. 石井久成：播種性血管内凝固症候群（DIC）と治療戦略，エビデンスで読み解く小児麻酔，pp132-4，川名 信，蔵谷紀文 編集，克誠堂出版（東京），2016

#### ◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Fuji H<sup>1</sup>, Hatano E<sup>1</sup>, Iguchi K<sup>1</sup>, Yamanaka K<sup>1</sup>, Yoh T<sup>1</sup>, Ikeno Y<sup>1</sup>, Ishii H, et al: Phase I clinical trial of olprinone in liver surgery, *Surgery Today* 2016; doi: 10.1007/s 00595-016-1461-y.

(邦 文)

2. 梅宮槇樹，日下裕介<sup>2</sup>，石井久成：麻酔導入前に心室頻拍を呈し非典型的な心室中部型たこつぼ型心筋症と診断され急激に増悪し死亡した症例，*麻酔* 2016；65（11）：1176

3. 石井久成：プロ・コン ―心臓麻酔にレミフェンタニルを使うか？―, *Cardiovascular Anesthesia* 2016; 20 (1) : 17-19.

◇学会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 石井久成：文献レビュー「小児」. 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜
2. 石井久成：文献検索を行う術を学ぶ (PubMed の alert 機能を使いこなす). 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

3. 石井久成：虚血性心疾患を持った透析患者の非心臓手術の麻酔管理. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016.5.26-28, 福岡

一般演題 (口演)

4. 紀 敦成, 石井久成：オープンステントグラフト遠位端の術中断面積変化率と術後断面積の相関. 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜
5. 中尾謙太, 浜川綾子, 石井久成：手術操作により新たに生じた弁逆流の3症例. 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜
6. 梅宮慎樹, 日下裕介<sup>2</sup>, 石井久成：麻酔導入前に心室頻拍から心室中部バルーンを伴う非典型的な型たこつぼ型心筋症と診断され死亡した症例. 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜

一般演題 (ポスター)

7. 小西啓司, 石井久成：FloTrac システムによる術中輸液管理は臓器手術における術中の低血圧の頻度を減らせるか？. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016.5.26-28, 福岡
8. 山崎翔太, 石井久成：全身麻酔器 AisysCS 2 (GE Healthcare, USA) に搭載された人工呼吸器の換気量測定におけるデスフルランの影響. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016.5.26-28, 福岡
9. 浜川綾子, 中尾謙太, 橋本亜希, 石村直子, 石井久成：加圧輸液装置による急速輸血の流量の検討. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016.5.26-28, 福岡
10. 中尾謙太, 浜川綾子, 橋本亜希, 石村直子, 石井久成：6% HES 130/0.4/9 (ボルベン) による血液希釈の血液凝固能への影響. 日本麻酔科学会第63回学術集会, 2016.5.26-28, 福岡
11. 尾野直美, 澤井俊幸<sup>2</sup>, 石井久成：大動脈弁置換術における人工心肺離脱後の左冠動脈口狭窄を経食道心エコーで診断し冠動脈バイパスグラフト術を追加した症例. 日本麻酔科学会第61回関西支部学術集会, 2016.9.3, 大阪
12. 浜川綾子, 石井久成：心尖部アプローチの経カテーテル大動脈弁留置術後に左室破裂をきたした1例. 日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会, 2016.9.16-18, 横浜
13. 竜野真維, 石井久成：肺高血圧症を合併した重症大動脈弁狭窄症患者に対し経皮的

- 脈弁留置術を施行した一例。日本臨床麻酔科学会第36回大会，2016.11.3－5，高知
14. 濱田 周，尾野直美，石井久成：腹部大動脈瘤破裂に対するステントグラフト内挿入術中に緊張性血胸を発症した症例。日本臨床麻酔科学会第36回大会，2016.11.3－5，高知

#### ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 石井久成：心臓麻酔。北摂手術麻酔懇話会2016，2016.8.27，大阪

(凡例) 1 = 京都大学医学部附属病院， 2 = 大阪医科大学附属病院

## 歯科・歯科口腔外科

#### ◇学会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 野田隆之，新谷素子，由井俊平，内田 浩，川本知明：同種骨髄移植後に舌腫瘍を形成した慢性 GVHD の1例。第70回日本口腔科学会学術集会，2016.4.16，福岡
2. 川本知明，野田隆之，新谷素子，土橋直史：顎関節を含む多関節に偽痛風様症状が発症した一症例。第70回日本口腔科学会学術集会，2016.4.17，福岡
3. 川本知明，野田隆之，新谷素子：口腔内難治性潰瘍の原因に人工透析による亜鉛欠乏症が疑われた一例。第36回日本歯科薬物療法学会学術大会，2016.6.18，新潟
4. 川本知明：1歳2ヶ月の幼児の下顎骨複合骨折に対して囲繞結紮を行なった一例。第29回日本顎関節学会総会・学術大会，2016.7.17，箱根 (神奈川県)
5. 川本知明：顎関節に発症した偽痛風が疑われた一例。第26回日本口腔内科学会・第29回日本口腔診断学会 合同学術大会，2016.9.23，岡山
6. 川本知明：下顎骨粉碎骨折に対しワイヤー結紮のみで骨接合を行なった症例。第61回日本口腔外科学会学術大会，2016.11.27，千葉
7. 川本知明，村上秀明<sup>1</sup>，柿本直也<sup>2</sup>，宇佐美亜衣<sup>1</sup>，堀内浩司<sup>3</sup>：上下顎骨・頬骨・前頭洞と広範囲に異なる腫瘍性病変が複合して発生したと思われる一症例。日本歯科放射線学会第36回関西・九州合同地方会，2016.12.10，福岡

一般演題 (ポスター)

8. 前田梓美，黒田典代，鴻池智恵，森本有未，中嶋愛里，志村朝美，北前由美子：某病院における周術期口腔機能管理患者の現状報告と今後の課題。日本歯科衛生学会第11回学術大会，2016.9.17－19，広島

(凡例) 1 = 大阪大学大学院歯学研究科， 2 = 広島大学大学院医歯薬保健学研究院， 3 = 天理大学

## 放射線部

### ◇書籍

#### 【診断部門】

1. 西本優子：リンパ路間質ってなんですか，ビギナーのための胸部画像診断，pp148-149，高橋雅士 編著，秀潤社（東京），2016
2. 西本優子：よくあるリンパ路疾患の種類と画像所見について教えてください，ビギナーのための胸部画像診断，pp150-151，高橋雅士 編著，秀潤社（東京），2016
3. 西本優子，東野貴徳，寺田聡子：細菌感染症（市中肺炎），呼吸器感染症 病態から考える画像診断，pp 1-9，酒井文和 編集，克誠堂出版（東京），2016

#### 【技師部門】

4. 中川義久，林 秀隆：そうだったのか！ 絶対読める CAG ～シェーマでわかる冠動脈造影の読み方，羊土社（東京），2016

### ◇学術雑誌

（欧 文）

#### 【診断部門】

1. Noguchi S, Nishimoto Y, Taguchi Y, Kobashi Y, Noma S : A Case of Disseminated Mycobacterium avium Complex Infection Mimicking Systemic Metastases From Lung Cancer, *Journal of Thoracic Imaging* 2016 ; 31(6) : W 73-W 75.

（邦 文）

#### 【診断部門】

2. 西岡真美，富松浩隆，野間恵之，中嶋香雪，野口峻二郎，小田晃義，門場智也，山田浩史，延原正英，坂本憲昭，菅 剛，西本優子，谷口尚範：Crowned dens syndrome（CDS）の経時的変化に関する画像的検討，*臨床放射線* 2016；61（12）：1677-1682.
3. 西岡真美，富松浩隆，野間恵之，中嶋香雪，野口峻二郎，小田晃義，門場智也，山田浩史，延原正英，坂本憲昭，菅 剛，西本優子，谷口尚範：中枢気道病変の CT 画像所見，*臨床放射線* 2017；62（1）：19-27.
4. 山田浩史：硬膜動静脈瘻の CT・MR 画像診断，*臨床放射線* 2016；62（2）：269-276.
5. 野口峻二郎，西本優子，野間恵之，西岡真美，小田晃義，門場智也，中嶋香雪，田口善夫：抗酸菌症の画像診断：非結核性抗酸菌症，*臨床放射線* 2016；61（1）：55-62.
6. 野口峻二郎，安田正利，野間恵之，西本優子，本庄 原，小橋陽一郎，田口善夫：肺における大切片標本の作製法とその臨床的有用性，*天理医学紀要* 2016；19（1）：18-23.
7. 西本優子：副鼻腔炎（びまん性汎細気管支炎），*medicina* 2016；53（8）：1238.
8. 西本優子：嚥下困難（びまん性誤嚥性細気管支炎），*medicina* 2016；53（8）：1239.
9. 西本優子：口腔内乾燥（シェーグレン症候群），*medicina* 2016；53（8）：1240.
10. 西本優子：鼻出血（多発性血管炎性肉芽腫症），*medicina* 2016；53（8）：1241.

11. 西本優子, 野間恵之, 野口峻二郎, 西岡真美, 小田晃義, 門場智也, 中嶋雪香, 田口善夫: 肺血管炎, 腫瘍性病変, 肉芽腫, 画像診断 2016; 36 (8) : 768-777.
12. 西本優子, 野間恵之, 田口善夫: 気管支喘息の画像診断, 日本臨床 2016; 74 (10) : 1634-1639.
13. 西本優子, 野間恵之, 野口峻二郎, 西岡真美, 門場智也, 北野雪香, 岩下和真, 谷口尚範, 田口善夫: 病変分布からみた肺疾患 —頭尾側の分布からの鑑別—, 臨床放射線 2017; 62 (1) : 1-10.
14. 仁科 健, 水野明宏, 吉田幸代, 谷口尚範, 坂本憲昭, 山中一郎: B型大動脈解離に対するメタルステントグラフト使用の1例, 日本血管外科学会雑誌 2016; 25: 144-148.

◇学 会

(国際学会)

一般演題 (ポスター)

【診断部門】

1. Oda T, Sakamoto N, Taniguchi T, Tomimatsu H, Noguchi S, Nishioka M, Nishina T, Mizuno A, Noma S: Late stage Dacron Graft Aneurysm 28 years after Extra-anatomical bypass Treated by Endovascular Stentgraft. Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe 2016, 2016.9.10-14, Barcelona(Spain)
2. Tomimatsu T, Taniguchi T, Sakamoto N, Noguchi S, Iwashita K, Kitano Y, Nishioka M, Kadoba T, Yamada H, Uemura T, Nobuhara M, Suga T, Nishimoto Y, Noma S: Successful treatment of growing hepatocellular carcinoma (HCC) supplied by portal vein with transcatheter arterial chemoembolization (TACE) via an arterio-portal shunt : A Case report. Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe 2016, 2016.9.10-14, Barcelona (Spain)
3. Noguchi S, Sakamoto N, Taniguchi T, Tomimatsu H, Iwashita K, Kitano Y, Nishioka M, Kadoba T, Yamada H, Uemura T, Nobuhara M, Suga T, Nishimoto Y, Noma S: Delayed Hemobilia Caused by Biliary Metallic Stent Placement : A Case Series. Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe 2016, 2016.9.10-14, Barcelona(Spain)

【治療部門】

4. Suwa T, Iburi T, Negoro Y, Fujii T: Radiotherapy combined with corticosteroids for Graves' ophthalmopathy: role of magnetic resonance imaging. ESTRO 35, 2016.4.29, Torino(Italy)
5. Suwa T, Mizowaki T, Ishida Y, Kusumi F, Asao Y, Negoro Y, Fujii T: Long-Term Outcomes of a Multimodal Approach Intended to Preserve the Esophagus in Patients with Operable Thoracic Esophageal Carcinoma. ASTRO's 58th Annual Meeting, 2016.9.26, Boston(USA)

(国内学会)

特別講演・教育講演

【診断部門】

6. 野間恵之：Before diagnosing idiopathic interstitial pneumonia. 第75回日本医学放射線学会 教育講演27, 2016.4.9, 横浜
7. 野間恵之：「びまん肺」膠原病関連の肺疾患 膠原病の肺病変：間質性肺炎の読み. JCR ミッドサマーセミナー2016, 2016.7.17, 神戸

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

【技師部門】

8. 山田和弥：一般撮影における災害時の対応について. 公益社団法人奈良県放射線技師会 学術大会2016, 2016.11.27, 橿原 (奈良)

一般演題 (口演)

【診断部門】

9. Nisimoto Y, Noma S, Nobuhara M, Noguchi S, Oda T, Nishioka M, Hashimoto S, Taguchi Y, Honjyo G, Kobashi Y: clinical-radiologic-pathologic diagnoses in the case of possible UIP pattern according to IPF evidence-based guidelines. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
10. Tomimatsu H, Taniguchi T, Sakamoto N, Nakashima Y, Noguchi S, Nishioka M, Kadoba T, Yamada H, Nobuhara M, Suga T, Nishimoto Y, Noma S: Drainage of small abscesses in the iliopsoas muscle. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
11. Kadoba T, Taniguchi T, Sakamoto N, Nobuhara M, Tomimatsu H, Yamada H, Oda T, Nishioka M, Nakashima Y, Noma S: Evaluation of Blood Collection Methods in Adrenal Venous Sampling. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
12. Nishioka M, Nishimoto Y, Noma S, Taniguchi T, Noguchi S, Oda T, Kadoba T, Yamada T, Taguchi Y, Kobashi Y: Imaging of central airway diseases. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
13. Kadoba T, Sakamoto N, Taniguchi T, Tomimatsu H, Noguchi S, Nobuhara M, Kitano Y, Nishioka M, Yamada H, Suga T, Nishimoto Y, Noma S: Endovascular Treatment for subclavian artery injury using stent-graft. 第45回日本 IVR 学会総会, 2016.5.26-28, 名古屋
14. 谷口尚範, 坂本憲昭, 富松浩隆, 延原正英, 門場智也, 小田晃義, 西岡真美, 野口峻二郎, 中嶋香雪, 菅 剛, 山田浩史, 野間恵之, 仁科 健, 水野明宏, 吉田幸代: 大動脈解離に対するベアメタリックステント併用 TEVAR の初期経験. 第45回日本 IVR 学会総会, 2016.5.26-28, 名古屋
15. 西本優子, 野間恵之, 田口善夫, 芦澤和人<sup>7</sup>, 林 秀行<sup>7</sup>, 加藤勝也<sup>8</sup>, 児島克英<sup>9</sup>, 他: じん肺と鑑別が必要な疾患群 胸部単純写真と CT の鑑別能の比較 多施設読影実験の結果. 第313回日本医学放射線学会関西地方会, 2016.6.11, 大阪

16. 岩下和真, 菅 剛, 北野香雪, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 延原正英, 西本優子, 谷口尚範, 野間恵之: 膀胱破裂の一例. 第313回日本医学放射線学会関西地方会, 2016.6.11, 大阪
17. 谷口尚範, 富松浩隆, 上村尚文, 門場智也, 西岡真美, 野口峻二郎, 北野香雪, 岩下和馬, 山田浩史, 延原正英, 菅 剛, 野間恵之, 水野明宏, 吉田幸代, 山中一朗: 大動脈解離に対する PETTICOAT 法を用いた TEVAR の有用性. 第57回日本脈管学会総会, 2016.10.13-15, 奈良
18. 北野香雪, 西本優子, 野間恵之, 岩下和真, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 延原正英, 菅 剛, 谷口尚範, 中西智子, 田口善夫, 本庄原, 小橋陽一郎: 検診で発見された肺 Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の一例. 第314回日本医学放射線学会関西地方会, 2016.11.5, 大阪
19. 岩下和真, 西本優子, 野間恵之, 北野香雪, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 延原正英, 菅 剛, 谷口尚範, 勝島將夫, 八田和大, 藤田久美, 小橋陽一郎: 癌性髄膜炎, 癌性リンパ管症, 骨髄癌腫症を呈した早期胃癌の一例. 第315回日本医学放射線学会関西地方会, 2017.2.25, 大阪

【治療部門】

20. Suwa T, Iburi T, Negoro Y, Fujii T: Radiotherapy combined with systemic pulsed corticosteroids for moderate-to-severe Graves' ophthalmopathy: role of magnetic resonance imaging. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.16, 横浜

【技師部門】

21. 竹内 康, 上田幸弘, 岩井啓介, 倉本美樹, 元渕慎介, 森本 明, 猪田敏之: EPID 線量測定における線量変換テーブル作成法の影響. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 2016.4.15, 横浜
22. 上田幸弘, 岩井啓介, 倉本美樹, 元渕慎介, 竹内 康, 森本 明, 猪田敏之, 笹之内洋一, 畑中慈史: Computed Radiography を用いた Fence Test の有用性の検討. 第112回日本医学物理学会学術大会, 2016.9.9, 宜野湾 (沖縄)
23. 寺口昌和, 玉井宏征<sup>1</sup>, 山田卓実<sup>2</sup>, 大園一幸<sup>3</sup>, 庄村 務<sup>4</sup>, 西村 努<sup>5</sup>, 森本栄樹<sup>6</sup>: 201TlCl 心筋 SPECT における検定日当日収集に向けた奈良県内多施設共同検討 — 投与放射エネルギー減少に対する対策の検討—. 第32回日本診療放射線技師学術大会, 2016.9.17, 岐阜
24. 畑中慈史, 上田幸弘, 竹内 康, 笹之内洋一, 猪田敏行, 森本 明, 元渕慎介, 倉本三樹, 岩井啓介: EPID によるビームプロファイル評価の基礎的検討. 第32回日本放射線技師学術大会, 2016.9.18, 岐阜
25. 上田幸弘, 岩井啓介, 倉本美樹, 元渕慎介, 竹内 康, 森本 明, 猪田敏之, 笹之内洋一, 畑中慈史: CR を用いた MLC フェンステストの有用性の検討. 第32回日本診療放射線技師学術大会, 2016.9.18, 岐阜
26. 田邊文衛, 紀太千恵子, 小西高史, 八倉建二, 奥田孝直, 北川祥美, 東慎之介, 楠 聡介, 日野泰平, 西岡宏之, 林 秀隆: 検査室がステントグラフト内挿術の施術に与える影響 — ハイブリッド手術室導入前後における比較—. 第32回日本診療放射線技師学術

大会, 2016.9.18, 岐阜

27. 寺口昌和, 辻 昭夫, 梶田貴司, 杉邑芳樹, 玉井佐知子, 鎌塚尚子, 錦 成郎, 末長敏彦: 造影 CT 検査における留置針接続部からの造影剤漏出事例とその対策. 第11回医療の質・安全学会学術集会, 2016.11.19, 千葉
28. 蔦原効平, 船曳政史, 山田和弥, 黒田大悟, 錦 成郎: 散乱線補正処理の設定管電圧による画質的影響. 公益社団法人奈良県放射線技師会学術大会2016, 2016.11.27, 橿原(奈良)
29. 楠 聡介, 東慎之介, 西岡宏之, 林 秀隆, 錦 成郎: オーバーチューブ型 X 線 TV 装置に据え付けた鉛ガラス遮蔽板の有用性. 日本放射線技術学会近畿支部第60回学術大会, 2017.1.29, 大阪
30. 上村健太, 北村一司, 寺口昌和: ドパミントランスポータシンチグラフィ解析ソフトにおける角度補正ツールの精度評価. 日本放射線技術学会近畿支部第60回学術大会, 2017.1.29, 大阪
31. 蔦原効平, 船曳政史, 山田和弥, 黒田大悟, 錦 成郎: 散乱線補正処理の設定管電圧による画質的影響. 平成28年度近畿地域診療放射線技師会学術大会, 2017.2.19, 和歌山一般演題 (ポスター)

#### 【診断部門】

32. Noguchi S, Suga T, Misaki T, Nakashima Y, Kadoba T, Yamada H, Tomimatsu H, Nishimoto Y, Taniguchi T, Noma S: FDG-PET Imaging of Malignant Lymphoma: Atypical Cases and Pitfalls. 第75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
33. Nakashima Y, Tomimatsu H, Oda T, Nishioka M, Noguchi S, Kadoba T, Yamada H, Nobuhara M, Sakamoto N, Suga N, Nishimoto Y, Taniguchi T, Noma S: Imaging of sporadic mesenteric desmoid tumors: radiographic features and histopathological correlation. 75回日本医学放射線学会総会, 2016.4.14-17, 横浜
34. Tomimatsu H, Taniguchi T, Sakamoto N, Kitano Y, Noguchi S, Nishioka M, Kadoba T, Yamada H, Nobuhara M, Suga T, Nishimoto Y, Noma S: Drainage of small abscesses in the skeletal muscle. 第45回日本 IVR 学会総会, 2016.5.26-28, 名古屋
35. 西岡真美, 延原正英, 門場智也, 北野香雪, 岩下和真, 野口峻二郎, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 菅 剛, 西本優子, 谷口尚範, 野間恵之, 松村直子, 藤原 潔: 卵巣線維腫症の1例. JSAWI 第17回シンポジウム, 2016.9.2, 淡路 (兵庫)
36. 西本優子, 野間恵之, 田口善夫, 芦澤和人, 林秀行, 加藤勝也, 児島克英, 新田哲久, 高橋雅士, 荒川浩明, 大塚義紀, 岸本卓巳, 本田純久, 菅 剛, 北野香雪, 門場智也: じん肺と鑑別が必要な疾患群 胸部単純写真と CT の鑑別能の比較 多施設読影実験の結果. 第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 2016.9.16-18, 東京
37. 上村尚文, 谷口尚範, 野間恵之: Per i-graft アプローチで塞栓し得た EVAR 後の type 2 endoleak の1例. 第57回日本脈管学会総会, 2016.10.13-15, 奈良



【技師部門】

38. 山崎 良, 日浦之和, 辻 昭夫, 錦 成郎: 膵・胆管の描出能向上を目的とした局所勃起併用 3D-T2 強調像の撮像条件の最適化. 第72回日本放射線技術学会総会学術大会, 2016.4.15, 横浜
39. 北村一司, 寺口昌和: <sup>111</sup>In-DTPA 脳槽シンチグラフィにおけるアーチファクトの1例. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 2016.11.3, 名古屋

◇研究会

特別講演・教育講演

【診断部門】

1. 野間恵之: びまん肺の読み方. 第17回名古屋肺フォーラム, 2016.7.23, 名古屋
2. 野間恵之: 病理 一画像対応の落とし穴. 第23回びまん性肺疾患勉強会, 2016.10.8, 神戸

【技師部門】

3. 日浦之和: 乳腺 MRI の撮像について. 第5回大和なでしこ特別講演会, 2016.6.11, 橿原 (奈良)

一般演題 (口演)

【診断部門】

4. 西岡真美, 延原正英, 門場智也: 骨盤内腫瘍の1例. 第47回関西 GUR 研究会, 2016.4.22, 大阪
5. 北野香雪, 西本優子, 野間恵之, 岩下和真, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 延原正英, 菅 剛, 谷口尚範, 田口善夫, 本庄 原, 小橋陽一郎: VATS を施行した間質性肺炎の1例. 第63回胸部画像検討会, 2016.5.21, 大阪
6. 富松浩隆, 中嶋香雪, 小田晃義, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 山田浩史, 延原正英, 菅 剛, 西本優子, 谷口尚範, 野間恵之: TACE 後に生じたガス産生肝膿瘍の1例. 第38回奈良県肝胆膵研究会, 2016.6.18, 奈良
7. 門場智也, 谷口尚範, 富松浩隆, 菅 剛, 延原正英, 上村尚文, 山田浩史, 西岡真美, 野口峻二郎, 岩下和真, 北野香雪, 野間恵之, 飯降直男, 河本 泉<sup>10</sup>: 超選択的動脈内カルシウム注入試験によって局在診断可能であったインスリノーマの1例. 第61回関西 IVR 研究会, 2016.6.25, 大阪
8. 富松浩隆, 中嶋香雪, 西岡真美, 野口峻二郎, 門場智也, 山田浩史, 延原正英, 菅 剛, 西本優子, 谷口尚範, 野間恵之: 門脈から供血されていた肝細胞癌の1例. 奈良県 EOB セミナー, 2016.7.15, 奈良
9. 西岡真美, 延原正英, 門場智也, 北野香雪, 岩下和真, 野口峻二郎, 上村尚文, 山田浩史, 富松浩隆, 菅 剛, 西本優子, 谷口尚範, 野間恵之, 松村直子, 藤原 潔: 両側卵巣腫瘍の1例. 第34回南大阪画像検討会, 2016.8.24, 大阪
10. 西岡真美, 西本優子, 野間恵之, 北野香雪, 岩下和真, 野口峻二郎, 門場智也, 山田浩史, 富松浩隆, 延原正英, 上村尚文, 菅 剛, 谷口尚範, 橋本成修, 田口善夫, 本庄

原，小橋陽一郎：多発浸潤影を呈し悪性リンパ腫と鑑別が困難であった肺 Mycobacterium abscessus 症の一例．第30回胸部放射線研究会，2016.9.16，東京

11. 西本優子，野間恵之，野口峻二郎，西岡真美，門場智也，北野香雪，上村尚文，山田浩史，富松浩隆，菅 剛，延原正英，谷口尚範，田口善夫，本庄 原，小橋陽一郎：VATS を施行した間質性肺炎の1例．第64回胸部画像検討会，2016.10.22，大阪
12. 谷口尚範，富松浩隆，上村尚文，門場智也，西岡真美，野口峻二郎，北野香雪，岩下和馬，延原正英，山田浩史，菅 剛，野間恵之，水野明宏，吉田幸代，山中一朗：大動脈解離に対する PETTICOAT 法を用いた TEVAR の有用性．第23回兵庫県 IVR 懇話会，2016.10.22，神戸（兵庫）
13. 上村尚文，谷口尚範，野間恵之：胆嚢捻転の一例．第42回 京奈臨床画像カンファレンス，2016.11.26，奈良
14. 野口峻二郎，野間恵之：癌性リンパ管症で発見された早期胃癌全身転移の一例．第42回京奈臨床画像カンファレンス，2016.11.26，奈良
15. 坂本憲昭，吉田幸代，水野昌宏，山中一朗，谷口尚範，富松浩隆，野間恵之：シネ MRI でダイナミック オブストラクションが証明された偽腔開存型 B 型解離の1例．兵庫県血管外科研究会，2017.1.28，神戸
16. 上村尚文，谷口尚範，野間恵之：EVAR 後の type II endoleak に対して peri-graft アプローチでの瘤内塞栓を試みた3例．第62回関西 IVR 研究会，2017.2.18，大阪

#### 【治療部門】

17. 岩下和真，諏訪達也，根来慶春，河野有香：骨盤領域に放射線治療歴のある膀胱破裂の2例．第57回 JROG，2016.6.25，神戸

#### 【技師部門】

18. 北 宗高，宮西忠史，椎名隆之，佐野孝明，錦 一聡，倉本明宣，辻 貴祐：当院における CT colonography (CTC) の役割について．第12回消化管 CT 技術研究会，2016.6.4，京都
19. 田邊文衛：当院の機器点検方法 一天理よろづ相談所病院一．第43回奈良 CR 勉強会，2017.2.15，奈良

#### ◇その他の講演

#### 【診断部門】

1. 西本優子：エキスパートへの第一歩 呼吸器放射線科医がほしい画像ってどんなもの？．CT カンファレンス，2016.6.23，奈良
2. 西本優子：急性肺障害，肺血管疾患の画像診断．第56回呼吸機能講習会，2016.8.25，岡山
3. 野間恵之：見落とし例から学ぶ胸部画像診断（その2）．2016年度明石市医師会胸部検診研修会，2016.10.13，明石（兵庫）
4. 西本優子：これも癌，あれも癌，たぶん癌，きっと癌．市立奈良病院臨床研修センター画像診断勉強会2，2016.12.2，市立奈良病院

### 【技師部門】

5. 錦 成郎：MRI 撮像技術における発展の軌跡. 第9回MRセミナー（上級編），2016.8.20，東北大学医学部臨床小講堂
6. 寺口昌和：日本診療放射線技師学会発表報告. 奈良県RIミーティング，2016.9.29，三郷（奈良）
7. 錦 成郎：日本放射線技術学会の将来構想と教育への取り組み. 第9回中部放射線医療技術学会大会，2016.11.6，鈴鹿（三重）
8. 宮西忠史：撮影技術2（基本的撮影法2）. 診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」，2017.2.26，奈良

### ◇院内集談会

#### 【技師部門】

1. 錦 成郎：安全なMR検査のための知識習得：院内看護研修，2016.4.19，外来診療棟5階中会議室
2. 錦 成郎：安全なMR検査のための知識習得. 院内看護研修，2016.4.22，外来診療棟5階講堂
3. 錦 成郎：安全なMR検査のための知識習得. 院内看護研修，2016.4.26，外来診療棟5階中会議室
4. 岩井啓介：放射線の適切な取扱と放射線の人体への影響. 平成28年度ガラスバッジ着用者講習会，2016.4.25，南病棟地下会議室
5. 錦 成郎：MRI検査における問診票の重要性. 院内医事課勉強会，2017.1.13，外来診療棟5階講堂
6. 上村健太，北村一司，中盛久満，近藤嘉光，寺口昌和：ドパミントランスポータシンチグラフィ解析ソフトにおける角度補正ツールの精度評価. 第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
7. 寺口昌和，辻 昭夫，梶田貴司，杉邑芳樹，玉井佐知子，鎌塚尚子，錦 成郎，末長敏彦：造影CT検査における留置針接続部からの造影剤漏出事例とその対策. 第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
8. 錦 一聡，山崎 良，日浦 之和，辻 昭夫，錦 成郎：パラレルイメージング併用BLADE法の基礎的検討. 第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
9. 山本大輔，宮西忠史，佐野孝明，北 宗高，錦 一聡，倉本明宜，辻 貴裕，辻 昭夫：当院におけるCTの撮影線量とDRLの比較. 第51回放射線部院内発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
10. 畑中慈史，竹内 康，上田幸弘，猪田敏行，森本 明，元淵慎介，倉本三樹，岩井啓介：呼吸動態ファントムを用いた胸部定位照射における治療計画CTの精度評価. 第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
11. 東 慎之介，楠 聡介，西岡宏之，林 秀隆，錦 成郎：ERCP検査におけるX線TV装置取り付け型防護器具の有用性. 第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療

棟5階講堂

12. 楠 聡介, 東慎之介, 西岡宏之, 林 秀隆, 錦 成郎: オーバーチューブ型 X線 TV 装置に据え付けた鉛ガラス遮蔽板の有用性. 第51回放射線部研究発表会, 2017.1.19, 外来診療棟5階講堂
13. 蔦原効平, 船曳政史, 山田和弥, 黒田大悟, 錦 成郎: 散乱線補正処理の設定管電圧による画質の影響. 第51回放射線部研究発表会, 2017.1.19, 外来診療棟5階講堂

(凡例) 1 = 高井病院放射線科, 2 = 奈良県総合医療センター, 3 = 奈良県西和医療センター, 4 = 近畿大学医学部奈良病院, 5 = 奈良県立医科大学附属病院, 6 = 済生会中和病院, 7 = 長崎大学医学部, 8 = 川崎医科大学, 9 = 岡山大学医学部, 10 = 関西電力病院

## 放射線部 (RI 部門)

### ◇書 籍

1. 御前 隆: 放射線治療, 甲状腺専門医ガイドブック, pp116-120, 日本甲状腺学会 編集, 診断と治療社 (東京), 2016

### ◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 御前 隆, 布施養善<sup>1</sup>, 浦川由美子<sup>2</sup>, 高村 昇<sup>3</sup>, 塚田 信<sup>4</sup>, 野口仁志<sup>5</sup>, 吉村 弘<sup>6</sup>, 他 15名: 甲状腺疾患に対する放射性ヨウ素内用療法施行前のヨウ素制限についての研究 第1報 —放射性ヨウ素内用療法の実施状況と施行前のヨウ素制限についての全国調査—, 日本甲状腺学会雑誌 2016; 7 (2) : 116-122.
2. 御前 隆: PET/CTにて肝転移の存在診断で迷った症例, 臨床画像 2017; 33 (2) : 246-248.
3. 御前 隆: PET サマーセミナー2016 in 熊本 印象記, Isotope News 2017; 749 : 36-37.

### ◇学 会

特別講演・教育講演

1. 御前 隆: 甲状腺内用療法. 日本核医学会第16回春季大会, 2016.4.24, 大阪
2. 御前 隆: バセドウ病に対する放射性ヨウ素内用療法. 第59回日本核医学会学術総会, 2016.11.3, 名古屋

### ◇院内集談会

1. 御前 隆: ゴーフィゴって何? —新しい内用療法の話—. 第51回放射線部研究発表会, 2017.1.19, 外来診療棟5階講堂

(凡例) 1 = 帝京大学医学部, 2 = 鎌倉女子大学家政学部, 3 = 長崎大学原爆後障害医療

研究所, 4 = 女子栄養大学家政学部, 5 = 野口病院内科, 6 = 伊藤病院内科

## 病 理 診 断 部

### ◇学 会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 藤田久美, 八田和大: 当院における剖検と CPC の現状と取り組み. 第113回日本内科学会総会, 2016.4.17, 東京
2. 藤田久美, 八田和大: バルトネラによる感染性心内膜炎に伴う ANCA 関連血管炎類似の腎病変. 第46回日本腎臓学会西部大会, 2016.10.15, 宮崎

### ◇研 究 会

特別講演・教育講演

1. 本庄 原: 病理講師. 第56回臨床呼吸機能講習会, 2016.8.24-26, 岡山

一般演題 (口演)

2. 藤田久美, 勝島將夫, 石丸裕康, 八田和大, 小橋陽一郎: 慢性に経過し多彩な免疫学的異常を伴った腎炎の1例. 第6回奈良腎生検組織検討会, 2016.7.30, 奈良

### ◇院内集談会

1. 藤田久美, 本庄 原, 小橋陽一郎, 加持雄介, 三宅啓史, 梅宮楨樹, 吉田篤志, 齊藤瞬, 大花正也, 石丸裕康, 橋本成修, 足立達哉, 新出明代, 岡村真太郎, 太田奈津子, 延原正英, 野間恵之: 肝嚢胞・腎嚢胞の経過中に発熱を繰り返した80歳代女性例. 第290回院内 CPC, 2016.6.14, 西病棟会議室
2. 藤田久美, 小橋陽一郎, 加持雄介, 天野雅史, 山崎誠太, 森 拓人, 中川義久, 八田和大, 岡野明浩, 羽白 高, 飯岡 大, 新出明代, 岡村真太郎, 野口峻二郎, 野間恵之: 重症心筋梗塞後に炎症反応が遷延した80歳代男性例. 第291回院内 CPC, 2016.7.19, 西病棟会議室
3. 藤田久美, 小橋陽一郎, 飯岡 大, 戸田有亮, 小濱さゆり, 大塚紀夫, 赤坂尚司, 貝谷和昭, 八田和大, 南 竜城, 橋本成修, 新出明代, 岡村真太郎, 西本優子, 野間恵之: MTX 関連リンパ増殖性疾患の経過中に診断, 治療に難渋した60歳代男性例. 第292回院内 CPC, 2016.9.20, 西病棟会議室
4. 藤田久美, 本庄 原, 小橋陽一郎, 長野広之, 三宅啓史, 岩崎 毅, 西村信城, 岡野明浩, 久須美房子, 大花正也, 田村俊寛, 丸山 互, 八田和大, 加持雄介, 新出明代, 岡村真太郎, 富松浩隆, 野間恵之: 呼吸苦, 倦怠感を主訴に来院し, 肝不全に至った70歳代女性例. 第293回院内 CPC, 2016.10.18, 西病棟会議室
5. 藤田久美, 小橋陽一郎, 加持雄介, 勝島將夫, 北野 拓, 油谷英孝, 新出明代, 末長敏彦, 八田和大, 上尾太郎, 田巻庸道, 羽白 高, 岡村真太郎, 赤坂尚司, 山城大奏, 津田勝代, 延原正英, 野間恵之: 意識障害, 呼吸不全にて搬送された70歳代女性例. 第294

回院内 CPC, 2016. 11. 15, 西病棟会議室

6. 藤田久美, 小橋陽一郎, 加持雄介, 寺田 悟, 田中庸介, 中村哲史, 安田武洋, 榎本操一郎, 木村勇斗, 岡野明浩, 岡村真太郎, 戸田有亮, 新出明代, 西本優子, 野間恵之: 発熱と胸水で来院した40歳代男性例. 第295回院内 CPC, 2017. 1. 24, 西病棟会議室
7. 笹井恒雄, 藤田久美, 小橋陽一郎, 長野広之, 明保洋之, 田川竣介, 大野堯之, 石丸裕康, 新出明代, 末長敏彦, 沖永 聡, 近藤博和, 羽白 高, 岡村真太郎, 足立達哉, 山田浩史, 野間恵之: SLE の治療開始後に発熱, 意識障害をきたした30歳代女性例. 第296回院内 CPC, 2017. 2. 21, 西病棟会議室

## 臨床検査部

### ◇書籍

1. 松谷勇人: まずは正常心エコーを理解する, Dr. チサトの考えながら撮る心エコー, pp 20-21, 泉 知里 編著, メディカ出版, 2016
2. 松谷勇人: この症例 人工弁機能不全?, Dr. チサトの考えながら撮る心エコー, pp 104-105, 泉 知里 編著, メディカ出版, 2016
3. 橋和田須美代: 開心術後の下大静脈拡大症例を見たら?, Dr. チサトの考えながら撮る心エコー, pp90-91, 泉 知里 編著, メディカ出版, 2016
4. 桑野和代: 息切れを訴えた症例 このエコーをどう読む?. Dr. チサトの考えながら撮る心エコー, pp64-66, 泉 知里 編著, メディカ出版, 2016
5. 嶋田昌司: 動脈血ガス分析 分析項目, 呼吸機能検査 技術教本, pp159-167, 一般社団法人日本臨床検査技師会 監修, じほう社 (東京), 2016

### ◇学術雑誌

(欧文)

1. Shimomura D, Nakagawa Y, Kondo H, Tamura T, Amano M, Enomoto S, Onishi N, Tamaki Y, Miyake M, Kaitani K, Izumi C, Fukuda A, Nakamura F, Kawano S<sup>1</sup>: The Influence of Assay Selection on Prothrombin Time Measured in Patients Treated With Rivaroxaban for Nonvalvular Atrial Fibrillation, Journal of Clinical Laboratory Analysis 2016 ; 30 : 941-946.

(邦文)

2. 嶋田昌司: なぜ 血液ガスは読めないのか? —原因を紐解いてみよう—, 医療と検査機器・試薬 2016 ; 39 ( 2 ) : 104-108.
3. 嶋田昌司: 電解質異常をみる検査, 月間薬事 2016 ; 58 : 61-70.
4. 木下真紀, 嶋田昌司, 畑中徳子, 岡山幸成, 中村文彦: POCT 対応血糖測定機器「ポケットケム BG PG-7320」の基本的性能評価, 医学と薬学 2016 ; 73 : 755-761.
5. 中村文彦, 小山明日美<sup>2</sup>, 栗林伴有<sup>3</sup>, 吉賀正亨<sup>4</sup>: 著明な高LD血症を伴った溶血性貧血症例, 臨床病理 2016 ; 64 : 1099-1106.

6. 松谷勇人, 泉 知里: 座位にて低酸素血症が増悪し, コントラストエコーにて右左シャントを認めた1例, 心エコー 2017; 18 (3) : 292-297.
7. 福田砂織, 小松 方: 近畿地区で分離した *Pseudomonas aeruginosa* の各種抗菌薬に対する薬剤感受性成績年次推移, Japanese Journal of Antibiotics 2016; 69 : 101-112.
8. 下村大樹: ヘパリン起因性血小板減少症の検査, MEDICAL TECHNOLOGY 2017; 45 (1) : 65-72.

◇学 会

(国際学会)

一般演題 (口演)

1. Ohno Y, Nakamura A, Hashimoto E, Matsutani H, Abe N, Fukuda S, Kono H, Nakamura F: A comparative evaluation of three phenotypic methods in the detection of carbapenemase-producing gram-negative rods. The 32th World Congress of Biomedical Laboratory Science, 2016.8.31, Kobe(Japan)
2. Shmomura D, Nakagawa Y, Kondo H, Fukuda A, Nakamura F, Kawano S: Performance of prothrombin time for monitoring of patients treated with rivaroxaban. The 32th World Congress of Biomedical Laboratory Science, 2016.9.2, Kobe(Japan)

一般演題 (ポスター)

3. Sugimura M, Hayama A, N.Onishi N, Kaitani K: Relationship between the long-term results of pulmonary vein isolation and left atrial bipola voltage during atrial fibrillation rhythm. Cardiostim 2016, 2016.6.8, Nice(France)
4. Sugimura M, Kurita T, Kaitani K, Yasuoka R, Miyazaki S: Ectopies from the superior vena cava after pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. Cardiostim 2016, 2016.6.10, Nice(France)
5. Abe N, Ohno Y, Hashimoto E, Matsutani H, Nakamura A, Fukuda S, Kono H, Nakamura F: A case of infectious endocarditis due to *Baltonella quintana*. The 32th World Congress of Biomedical Laboratory Science, 2016.9.2, Kobe(Japan)
6. Tsuchiya N, Hioki K, Tsuda K, Shimada M, Okayama Y, Nakamura F: Usefulness of RET channel in XN-Series automated hematology analyzers. The 32th World Congress of Biomedical Laboratory Science, 2016.9.2, Kobe(Japan)

(国内学会)

特別講演・教育講演

7. 松田江身子: メインテーマ: 甲状腺細胞診 サブテーマ: 標本作製の工夫. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
8. 津田勝代: 臨床との連携について考えるよりよい臨床支援を目指して —骨髄穿刺における連携—. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
9. 永井直治, 津田勝代, 嶋田昌司, 岡山幸成, 中村文彦: 造血幹細胞移植における臨床検

査の役割 血液検査. 第61回臨床検査医学会近畿支部例会, 2016.11.12, 大阪  
特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

10. 下村大樹: NOACs 服用患者の aPTT 値を有効活用するための留意点. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.23, 大阪
  11. 杉村宗典: カテーテルアブレーションに必要な 3D マッピングテクニック. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.14, 京都
  12. 木下真紀: 当院における検査説明 糖尿病腎症への取り組み. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.14, 和歌山
  13. 中村彰宏: 髄液検査における細菌性髄膜炎を考える. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
  14. 中村文彦: RCPC (3学会合同企画) 症例提示「労作時呼吸困難のため受診した72歳女性」. 日本臨床検査医学会第59回近畿支部総会, 2016.5.15, 和歌山
  15. 安田健治, 杉村宗典, 吉田秀人, 今村紗梨, 大西尚昭, 貝谷和昭: 心房細動中の左房低電位領域の存在と肺静脈隔離術後の長期予後の関係性 ~CE の研究に繋げる 3D マッピング装置の操作と解析~. 第63回日本不整脈心電学会学術大会, 2016.7.15, 札幌
  16. 福田砂織: 微生物検査結果 より良い報告をするために. 第65回日本医学検査学会スキルアップセミナー, 2016.9.2, 神戸
  17. 下村大樹: DOACs 製剤モニタリングの検体採取方法と結果の解釈. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.23, 横浜
  18. 嶋田昌司: Reversed Clinicopathological Conference 解説者. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.24, 横浜
  19. 吉田秀人: 次世代人工心肺システムについて装置を囲んで考える. 第42回日本体外循環技術医学会大会, 2016.10.22, 東京
- 一般演題 (口演)
20. 吉岡明治, 豊田茂美, 太田奈津子, 北川孝道, 岡山幸成: 超音波検査で診断し血管内治療が施行された巨大総肝動脈瘤の1例. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
  21. 高橋千恵子, 杉邑芳樹, 中村文彦, 奥村紀子, 金子嘉志: 腹膜透析 (PD) 治療の充実に向け, 今 CE ができることを考える. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.14, 京都
  22. 小林靖雄, 吉田秀人, 橋本武昌, 二重 実, 杉山晴彦, 井手理彦, 清水貞則: Maze 手術成績向上のための戦略. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.14, 京都
  23. 中野雄太, 杉村宗典, 安田健治, 吉田秀人, 黒田麻衣子, 今村紗梨, 大西尚昭, 貝谷和昭: 発生源の異なる2種類の ATP 感受性心房頻拍に対しカテーテルアブレーションが奏功した1症例. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.14, 京都
  24. 猪田猛久, 嶋田昌司, 畑中徳子, 岡山幸成, 中村文彦: 第一試薬の吸光度をチェックすることで異常反応が検出できた事例. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
  25. 成田真奈美, 猪田猛久, 嶋田昌司, 畑中徳子, 岡山幸成, 中村文彦: IgG 測定 (免疫比



- 濁法)における二波長測定を試み. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
26. 下村大樹, 福田 礼, 津田勝代, 岡山幸成, 中村文彦: クロスミキシングテストに直接抗経口凝固薬が及ぼす影響. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
  27. 大谷祐哉, 梶田二愛, 松谷勇人, 小出泰志, 桑野和代: 時間外救急外来における心電図検査の記録状態と自動解析所見の評価. 第56回日臨技近畿支部医学検査学会, 2016.5.15, 和歌山
  28. 今村亮太, 石谷 彩, 杉邑芳樹, 吉田秀人, 中村文彦: 骨髓濃縮における血液成分分離装置の比較検討 —COBE Spectra と Spectra Optia—. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.15, 京都
  29. 清水貞則, 藤本伸泰, 小林靖雄, 吉田秀人, 浜川綾子, 石井久成: 加圧輸液装置システム1000の流量特性 —生理食塩水と血液の比較—. 第26回日本臨床工学会, 2016.5.15, 京都
  30. 松下陽子: 県内における生理検査の実施状況について ~2015年度奈臨技アンケート調査より~. 第33回奈良県医学検査学会, 2016.5.22, 橿原 (奈良)
  31. 馬場創汰: 運動器領域における超音波検査について. 第33回奈良県医学検査学会, 2016.5.22, 橿原 (奈良)
  32. 菊田多恵子, 松下陽子, 岡山幸成, 西村 理: 乳腺カテゴリー分類の有用性についての検討 —ガイドラインを用いて. 第36回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会, 2016.5.28, 京都
  33. 太田奈津子, 田中寛大, 岡山幸成, 末長敏彦: 健常人での正中神経と尺骨神経のエコーパターン. 第35回日本脳神経超音波学会総会, 2016.6.3, 横浜
  34. 高橋千恵子, 杉邑芳樹, 奥村紀子, 金子嘉志: PD 患者入院中の最適な腎代替療法の選択に CE が介入できた2症例. 第61回日本透析医学会学術集会・総会, 2016.6.10, 大阪
  35. 高橋千恵子, 杉邑芳樹, 奥村紀子, 金子嘉志: PD 患者入院中の最適な腎代替療法の選択に ce が介入できた2症例. 第61回日本透析医学会学術集会, 2016.6.10, 大阪
  36. 松谷勇人, 岡谷 萌, 大谷祐哉, 阿部梨栄, 桑野和代, 橋和田須美代: 無冠動脈洞 —右室穿孔のバルサルバ洞動脈瘤破裂の1例. 第41回日本超音波検査学会学術集会, 2016.6.12, 仙台 (宮城)
  37. 小林靖雄, 藤本伸泰, 吉澤 潤, 杉山晴彦, 井手理彦, 清水貞則, 穂山正弥, 吉田秀人: 血液加温器の加温性能と気泡除去能の比較検討. 第91回日本医療機器学会大会, 2016.6.25, 大阪
  38. 下村大樹, 中川義久, 近藤博和, 福田 礼, 津田勝代, 古家美幸, 中村文彦, 河野誠司: ダビガトラン推定血中濃度の日差変動について. 第17回日本検査血液学会学術集会, 2016.8.6, 福岡
  39. 永井直治, 津田勝代, 嶋田昌司, 岡山幸成, 中村文彦: 血球計数装置用管理血球を用いた精度管理における問題点と当院の対策. 第17回日本検査血液学会学術集会, 2016.8.6,

## 福岡

40. 中村彰宏, 河野 紋, 川 健司, 野口延由, 橋本恵理子, 藤本宜子, 河野 久, 中村文彦, 山西八郎: 多重ロジスティック回帰分析を用いた尿一般検査成績における尿路感染症原因細菌の予測. 第8回日本臨床一般検査学会, 2016.8.6, 名古屋
41. 津田勝代, 中村文彦, 岸森千幸, 倉村あい美: IgG型高M蛋白血症を伴ったB細胞性腫瘍の1例. 第17回検査血液学会学術集会, 2016.8.7, 福岡
42. 岸森千幸, 津田勝代, 古家美幸, 中村文彦: 細胞質に多数の空胞を有するペルオキシダーゼ陽性急性白血病症例. 第17回日本検査血液学会学術集会, 2016.8.7, 福岡
43. 日置貴美子, 土屋直道, 津田勝代, 古家美幸, 中村文彦: 業務改善につながった有核赤血球数の実態調査について. 第17回日本検査血液学会学術集会, 2016.8.7, 福岡
44. 河野 久: 免疫血清検査におけるハーモナイゼーションの可能性について. 第65回日本医学検査学会, 2016.9.2, 神戸
45. 下村大樹, 福田 礼, 津田勝代, 岡山幸成, 中村文彦: 日本: 抗Xa薬におけるPT試薬反応性の比較. 第65回日本医学検査学会, 2016.9.2, 神戸
46. 猪田猛久, 嶋田昌司, 畑中徳子, 岡山幸成, 中村文彦: 奈臨技長期サーベイ実績からみた施設内変動の評価について. 第65回日本医学検査学会, 2016.9.4, 神戸
47. 木下真紀, 嶋田昌司, 岡山幸成, 中村文彦: HbA1c分析装置「HA-8180 V」導入前後のクロマトパターン異常出現率の比較. 第48回臨床検査自動化学会, 2016.9.22, 横浜
48. 土屋直道, 嶋田昌司, 中村文彦: 多項目自動血球分析装置XN-3000においてライゼセルWNR試薬交換時に白血球数が偽高値となった事例. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.23, 横浜
49. 倉村英二, 山本慶和, 猪田猛久, 嶋田昌司, 畑中徳子, 中村文彦: 反応過程近似解析ツールMiRuDaのリアルタイム解析の必要性の経験. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.23, 横浜
50. 潮崎裕也, 松村充子, 畑中徳子, 猪田猛久, 嶋田昌司: 血清アミラーゼ測定試薬における異常反応出現について. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.23, 横浜
51. 松村充子, 畑中徳子, 倉村英二, 猪田猛久, 嶋田昌司, 中村文彦: IgG4高値検体のIgG測定値は信頼できるか. 第48回日本臨床検査自動化学会, 2016.9.24, 横浜
52. 高橋明德: スライドカンファレンス「乳腺領域」回答者. 第42回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会, 2016.9.25, 大阪
53. 太田奈津子, 田中寛大, 酒巻春日, 末長敏彦: 治療反応性の評価における神経超音波検査の有用性が示唆されたMADSAMニューロパチー. 第46回日本臨床神経生理学会, 2016.10.27, 郡山(福島)
54. 中野雄太, 安田健治, 杉村宗典, 黒田真衣子, 今村沙梨, 大西尚昭, 貝谷和昭: 発生起源の異なる2種類のATP感受性心房頻拍に対しカテーテルアブレーションが奏効した1症例. 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2016, 2016.10.28, 福岡

55. 阿部梨栄, 岡谷 萌, 大谷祐哉, 松谷勇人, 桑野和代, 橋和田須美代, 天野雅史, 三宅 誠, 泉知 里: 大動脈弁・僧帽弁再々弁置換術後に左房内に異常血流を認めた1例. 日本超音波医学会第43回関西地方会学術集会, 2016.10.29, 大阪
  56. 木下真紀, 嶋田昌司, 岡山幸成, 中村文彦: Hba 1 c 分析装置「HA-8180 V」の測定モードと HbA 1 c 値の特徴. 第53回日本糖尿病学会近畿地方会, 2016.11.12, 大阪
  57. 岸森千幸, 下村大樹, 津田勝代, 中村文彦: t (16; 21) (p11: q22) 転座を有する急性好塩基性白血病の1症例. 第34回学術集会日本染色体遺伝子検査学会, 2016.11.19, 静岡
  58. 福田砂織, 中村彰宏: ステロイド内服下で転倒外傷を契機に発症した蜂窩織炎で培養検査が有用であった MRSA と原発性皮膚クリプトコッカスの一症例. 第59回感染症学会西日本地方学術集会, 2016.11.24, 宜野湾 (沖縄)
  59. 中村彰宏, 小松 方, 大野裕貴, 橋本恵理子, 阿部教行, 福田砂織, 河野 久: MALDI-TOF MS を用いた ESBL 産生 Escherichia coli タイピング法の確立 ~MLST および PFGE との識別能力の比較~. 第28回日本臨床微生物学会, 2017.1.21, 長崎
  60. 大野裕貴, 中村彰宏, 橋本恵理子, 阿部教行, 福田砂織, 河野 久, 中村文彦, 小松 方: 各種カルバペネマーゼ産生表現型確認試験の性能比較とその偽陰性反応追究の試み. 第28回日本臨床微生物学会, 2017.1.21, 長崎
  61. 高橋千恵子, 大門由輝, 外嶋彩香, 後藤光希, 佐藤めぐみ, 奥村紀子, 金子嘉志: CE による PD 業務確立に向けてのスタッフ教育の試み. 第41回奈良透析学術総会, 2017.2.5, 奈良
  62. 清水貞則, 小林靖雄, 井手理彦, 杉山晴彦, 橋本武昌, 二重 実, 吉田秀人: 腹部大動脈瘤術後の胸腹部大動脈瘤に対する体外循環の経験. 第36回体外循環技術医学会近畿地方会大会, 2017.2.11, 洲本 (兵庫)
  63. 小林靖雄, 吉田秀人, 橋本武昌, 二重 実, 杉山晴彦, 井手理彦, 清水貞則: オープンステントグラフト法に対応した体外循環. 近畿心血管ジョイントライブ2016, 2016.4.23, 京都
- 一般演題 (ポスター)
64. 岡谷 萌, 大谷祐哉, 松谷勇人, 桑野和代, 橋和田須美代, 西村俊亮, 高橋佑典, 天野雅史, 三宅 誠, 泉 知里: 僧帽弁逸脱症における逸脱部位の2次元経食道心エコー図検査の正確性. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.22, 大阪
  65. 松谷勇人, 岡谷 萌, 大谷祐哉, 桑野和代, 橋和田須美代, 西村俊亮, 高橋佑典, 天野雅史, 三宅 誠, 泉 知里: 3次元経食道心エコー法による大動脈弁複合体計測の有用性. 日本心エコー図学会第27回学術集会, 2016.4.23, 大阪
  66. 太田奈津子, 田中寛大, 岡山幸成, 末長敏彦: 健常人における超音波検査での正中神経・尺骨神経サイズ —測定方法と基準範囲—. 第57回日本神経学会学術大会, 2016.5.20, 神戸
  67. 石谷 彩, 高橋千恵子, 杉邑芳樹, 奥村紀子, 金子嘉志: 当院における PD 症例の継続率および離脱理由. 第22回日本腹膜透析医学会学術集会, 2016.9.25, 札幌

68. 高橋千恵子, 杉邑芳樹, 石谷 彩, 奥村紀子, 金子嘉志: CE 教育プログラムの構築に向けての取り組み. 第22回日本腹膜透析医学会学術集会, 2016.9.25, 札幌
69. 小林靖雄, 吉田秀人, 二重 実, 橋本武昌, 杉山晴彦, 井手理彦, 清水貞則: TAVI 後の左室破裂に対して緊急修復術により救命できた1例. 第42回日本体外循環技術医学会大会, 2016.10.22, 東京

#### ◇研究会

##### 特別講演・教育講演

1. 木下真紀: SMBG ～これだけは知っておきたいキモのキモ～. 第5回兵庫県糖尿病薬剤研修会, 2016.12.3, 神戸

##### 特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

2. 下村大樹: 当院におけるクロスミキシングテストの実際. Osaka Fibrinolysis Conference, 2016.4.6, 大阪
3. 中村彰宏: 現場でも役立つ微生物検査の POCT. 第36回 SCANIC 学術講演会, 2016.11.19, 大阪
4. 木下真紀: 糖尿病診療に携わる医療提供者のこころのケア ～臨床検査技師の立場から～. 近畿糖尿病教育フォーラム第7回講演会, 2016.12.3, 京都

##### 一般演題 (口演)

5. 高田旬生, 南 睦, 津田勝代: 検査法の変更により判明した cisAB の1症例. 第4回奈良県輸血・造血治療研究会, 2016.5.21, 奈良
6. 吉岡明治, 北川孝道, 松下陽子, 植東ゆみ, 岡山幸成: 肺血栓塞栓症合併例における下肢深部静脈血栓症の超音波所見の検討. 第2回かもがわ VenousForum, 2016.7.16, 京都
7. 松谷勇人, 岡谷 萌, 大谷祐哉, 阿部梨栄, 桑野和代, 橋和田須美代, 天野雅史, 三宅誠, 泉 知里: 大動脈弁・僧帽弁再々置換術後半年で心不全が増悪し, 左房内に異常血流を認めた一例. 第119回 UCG 談話会, 2016.8.6, 大阪
8. 八原史乃, 藤本伸泰: 当院における MR 対応デバイス業務を見直して. 第6回近畿デバイスカンファレンス, 2016.9.10, 大阪
9. 津田勝代, 永井直治, 岸森千幸, 中村文彦: 抗 $\gamma$ グロブリン血症をきたし多発性骨髄腫が疑われたリンパ形質細胞性リンパ腫の1例. 第6回ベックマンコールター関西 FCM ユーザー会, 2016.10.15, 大阪
10. 杉村宗典, 安田健治, 中野雄太, 吉田秀人, 今村沙梨, 黒田真衣子, 大西尚昭, 貝谷和昭, 泉 知里, 中川義久: 左房後壁を含めた拡大肺静脈隔離後に左肺静脈 carina 部位のみに再伝導が確認された再発症例. 第33回京滋奈良ハートリズム研究会, 2016.11.12, 京都
11. 下村大樹: 症例解説者. 東京血液カンファレンス, 2016.11.27, 東京
12. 阿部教行: 術後に *Corynebacterium striatum* による髄膜炎を発症した1症例. 技師会研究班: 奈良, 京都, 滋賀合同研修会, 2016.12.3, 京都
13. 成田真奈美: 単波長測定はリスクがあると認識した事例. 日立自動分析研究会,

2016.12.4, 大阪

14. 下村大樹, 高田章美, 長谷川真弓, 津田勝代, 岡山幸成: 当院におけるクロスミキシングテストの運用状況からみた実臨床における有用性の評価. 第8回関西凝固線溶研究会学術集会, 2017.1.28, 大阪
15. 嶋田昌司: 電解質で読める酸塩基平衡. 臨床検査セミナー in kyoto, 2017.2.18, 京都

◇その他の講演

1. 杉邑芳樹: 臨床生理学呼吸機能講義Ⅲ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2016.5.28, 神戸
2. 杉邑芳樹: 臨床生理学呼吸機能講義Ⅳ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2016.6.4, 神戸
3. 原田 讓: 臨床生理学脳波講義Ⅲ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2016.6.11, 神戸
4. 松下陽子: 超音波実技講習会 (腹部). 平成28年奈良県臨床検査技師会『超音波実技講習会 (腹部)』, 2016.11.19, 天理
5. 豊田茂美: 超音波実技講習会 (腹部). 平成28年奈良県臨床検査技師会『超音波実技講習会 (腹部)』, 2016.11.19, 天理
6. 桑野和代: 超音波実技講習会 (心臓). 平成28年奈良県臨床検査技師会『超音波実技講習会 (心臓)』, 2016.11.19, 天理
7. 橋和田須美代: 超音波実技講習会 (心臓). 平成28年奈良県臨床検査技師会『超音波実技講習会 (心臓)』, 2016.11.19, 天理
8. 阿部梨栄: 超音波実技講習会 (心臓). 平成28年奈良県臨床検査技師会『超音波実技講習会 (心臓)』, 2016.11.19, 天理
9. 吉田秀人: 認定心電検査技師に必要な ME の基礎知識. 平成28年度認定心電検査技師育成研修会講演, 2016.11.26, 東京
10. 中村彰宏: MALDI-TOF MS を用いた薬剤耐性大腸菌パンデミッククローンのプロテオミクス解析. 第22回臨床検査フォーラム, 2016.11.26, 神戸
11. 松谷勇人: 右心系の心腔計測とドプラ計測について. 平成28年奈良臨床検査技師会超音波定期勉強会, 2016.11.30, 天理
12. 原田 讓: 臨床生理学脳波講義Ⅰ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2016.12.10, 神戸
13. 原田 讓: 臨床生理学脳波講義Ⅱ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2016.12.17, 神戸
14. 杉邑芳樹: 臨床生理学呼吸機能講義Ⅰ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2017.1.7, 神戸
15. 杉邑芳樹: 臨床生理学呼吸機能講義Ⅱ. 神戸学院大学栄養学部臨床生理学講義, 2017.1.14, 神戸
16. 原田 讓: 筋電図検査実技講習 基礎編. 第10回関西脳波筋電図セミナー, 2017.1.21,

## 京都

17. 松谷勇人：不整脈疾患の心エコーへの第一歩「房室ブロック、ペースメーカー」。日本心エコー図学会第21回冬季講習会，2017.1.22，大阪
18. 中村彰宏：質量分析装置を用いたルーチンワークのコツ ～削除できる検査法と残すべき検査法～。第4回西日本MALDIバイオタイパーセミナー，2017.2.4，大阪
19. 中村彰宏：寄生虫とのふれ愛かた。第25回四国臨床検査技師協議会一般検査研修会講師，2017.2.19，徳島
20. 植東ゆみ：症例提示 [尿膜管膿瘍]。奈良県臨床検査技師会画像分野定期勉強会，2017.2.22，天理
21. 嶋田昌司：極異常値に遭遇した時にあなたならどうする。高橋開智塾，2017.2.25，大阪
22. 下村大樹：凝固線溶検査データを正しく臨床へ提供するための方策。第8回神戸CFM研究会，2017.3.4，神戸
23. 原田 讓：症例提示。第3回奈良Vaseraユーザー会，2017.3.4，橿原
24. 松尾取二：事例から学ぶ検査の読み方・使い方 ―Reversed CPC。平成28年度検査説明・相談ができる臨床検査技士育成 京都府研修会，2017.1.21，京都
25. 松尾取二：事例から学ぶ検査の読み方・使い方 ―Reversed CPC。平成28年度検査説明・相談ができる臨床検査技士育成 奈良県研修会，2017.2.26，天理
26. 松尾取二：検査の読み方とピットフォール。平成28年度兵庫県精度管理検討会，2017.3.11，神戸

## ◇院内集談会

1. 高橋千恵子：PD診療へのCEの参画。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.4.28，外来診療棟5階中会議室
2. 杉邑芳樹：PET検査と透析液処方について。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.4.28，外来診療棟5階中会議室
3. 高橋千恵子：PD診療へのCEの参画。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.5.26，外来診療棟5階中会議室
4. 杉邑芳樹：PET検査と透析液処方について。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.5.26，外来診療棟5階中会議室
5. 杉邑芳樹：PET検査と透析液処方について。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.6.23，外来診療棟5階中会議室
6. 高橋千恵子：PD診療へのCEの参画。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.6.28，外来診療棟5階中会議室
7. 高橋千恵子：PD診療へのCEの参画。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.7.28，外来診療棟5階中会議室
8. 杉邑芳樹：PET検査と透析液処方について。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修，2016.7.28，外来診療棟5階中会議室
9. 高橋千恵子：PD診療へのCEの参画。日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育

- 研修, 2016.8.25, 外来診療棟 5 階中会議室
10. 杉呂芳樹：PET 検査と透析液処方について. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.8.25, 外来診療棟 5 階中会議室
  11. 高橋千恵子：PD 診療への CE の参画. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.10.27, 外来診療棟 5 階中会議室
  12. 高橋千恵子：PD 診療への CE の参画. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.11.24, 外来診療棟 5 階中会議室
  13. 高橋千恵子：PET 検査と透析液処方について. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.11.24, 外来診療棟 5 階中会議室
  14. 梶田二愛：臍神経内分泌腫瘍の超音波所見の検討. H28年度くりばそ研究発表会 part II, 2016.11.28, 外来診療棟 5 階講堂
  15. 田上剛史：ホルマリン固定における Histra-DC の有用性. H28年度くりばそ研究発表会 part II, 2016.11.28, 外来診療棟 5 階講堂
  16. 穂山正弥：臨床工学技士による手術室直接介助業務への参入. H28年度くりばそ研究発表会 part II, 2016.11.28, 外来診療棟 5 階講堂
  17. 井手理彦：第 3 世代 HES (ボルベン®) による血液希釈の血液凝固能への影響, H28年度くりばそ研究発表会 part II, 2016.11.28, 外来診療棟 5 階講堂
  18. 清水貞則：急速大量輸血を想定したカリウム吸着フィルタの検討. H28年度くりばそ研究発表会 part II, 2016.11.28, 外来診療棟 5 階講堂
  19. 高橋千恵子：PD 診療への CE の参画. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2016.12.22, 外来診療棟 5 階中会議室
  20. 高橋千恵子：PD 診療への CE の参画. 日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師教育研修, 2017.1.26, 外来診療棟 5 階中会議室
  21. 岡本朋子：管理試料の安定性について. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂
  22. 川 健司：一般検査にて異型細胞疑いととった所見の後ろ向き調査. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂
  23. 高田旬生：全自動輸血検査装置 IH-1000 導入後の不規則抗体検出の評価. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂
  24. 土方一輝：当院における呼吸機能検査の内部精度管理に関する比較検討. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂
  25. 後藤光希：重度心疾患患者に対し腹膜透析 (PD) を導入し奏功した 2 症例. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂
  26. 佐藤めぐみ：カリウム吸着フィルタの使用後残血に対する生食回収の危険性について. H28年度くりばそ研究発表会 part III, 2017.1.30, 外来診療棟 5 階講堂

(凡例) 1 = 神戸大学大学院医学研究科, 2 = 社会保険紀南病院, 3 = 日本赤十字社和歌山医療センター, 4 = 関西医科大学

## 総合診療教育部

### ◇学術雑誌

(邦文)

1. 石丸裕康, 高北晋一<sup>1</sup>: 内科医のための耳・鼻・のどの診かた (第1回) 難聴・耳鳴, *Medicina* 2017; 54 (2) : 358-361.
2. 田口智朗, 石丸裕康: What's your diagnosis? カンが頼りです, *総合診療* 2016; 26 (12) : 976-979.
3. 竜野真維: 【腫瘍】原発不明がん 予後良好群を見逃さないためには?, *Hospitalist* 2016; 4 (3) : 657-666.
4. 長野広之: 【病院×家庭医療】社会“病院×家庭医療”と主治医意見書の書き方, *治療* 2016; 98 (10) : 1658-1662.
5. 石丸裕康, 山田康博<sup>2</sup>, 濱口杉大<sup>3</sup>, 大滝純司<sup>4</sup>, 山城清二<sup>5</sup> (日本プライマリ・ケア連合学会病院総合医委員会): 病院総合医養成プログラム認定試行事業におけるサイトビジット報告, *プライマリ・ケア* 2016; 1 (1) : 70-73.
6. 八田和大, 富井啓介<sup>6</sup>: 抗好中球細胞質抗体 (ANCA) の診断的意義 血管炎の1指標ではあるが, 血管炎以外でも陽性となる可能性を念頭に鑑別にあたる, *日本医事新報* 2016; 4828号: 56-57.
7. 八田和大: 【リウマチ性疾患における泌尿器・腎病変】クラミジア尿道炎による反応性関節炎 (ReA), *リウマチ科* 2016; 56 (2) : 165-170.
8. 石丸裕康: 【総合診療力をググッと上げる! 感染症診療 実はこんなことに困っていた! 現場の悩みから生まれた納得のコツ】 (第5章) 感染症科のない私たちの施設ではこうしています 大病院の総合診療科で行う感染症診療, *Gノート* 2016; 3 (2) : 333-337.
9. 長野広之: 【身体診察ってこういうことだったのか!】私が答えます! バイタルサイン・身体診察の「どうすればいいの!?’呼吸数きちんととっていますか?, *レジデントノート* 2016; 18 (3) : 492-495.
10. 笹井恒雄, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: What's your diagnosis? ご利益のない護符, *総合診療* 2016; 26 (5) : 368-371.
11. 石丸裕康: 【内科診断の道しるべ —その症候、どう診る どう考える】皮膚 くも状血管腫・手掌紅斑, *Medicina* 2016; 53 (4) : 140-144.

### ◇学会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 八田和大: ランチョンセミナー 乾癬および乾癬性関節炎 : メカニカルストレスとの関連について. 第26日本脊椎関節炎学会, 2016.9.24, 東京  
一般演題 (口演)
2. 笹井恒雄, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: 副腎不全を契機に診断に至った IgG4 関



連下垂体炎. 第60回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜

3. 石丸裕康: 内科と Generalism 過去・現在・未来 病院総合医の視点から. 米国内科学会 (ACP) 日本支部年次総会2016, 2016.6.4-5, 京都
4. 小西啓司, 竜野真維, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: 大動脈周囲炎をきたした顕微鏡的多発血管炎に対してリツキシマブが奏功した一例. 日本内科学会第214回近畿地方会, 2016.12.3, 大阪

一般演題 (ポスター)

5. 長野広之, 八田和大, 石丸裕康, 勝島將夫, 土橋直史, 明保洋之, 笹井恒雄, 竜野真維, 三宅啓史: ループス髄膜炎による頭痛がシクロフォスファミドで軽快した45歳女性の1例. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜
6. 土橋直史, 八田和大, 石丸裕康, 長野広之, 明保洋之, 笹井恒雄, 竜野真維, 三宅啓史, 勝島將夫: 網膜中心動脈閉塞症, 糸球体腎炎, 間質性肺炎, 脳梗塞, 肥厚性硬膜炎を合併した ANCA 関連血管炎の一例. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜
7. 竜野真維, 勝島將夫, 土橋直史, 明保洋之, 笹井恒雄, 三宅啓史, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: 関節リウマチの治療中に, 大量の心嚢液貯留をきたした一症例. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜
8. 三宅啓史, 今中雅子, 笹井恒雄, 竜野真維, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: MTX・ABT で治療中に血管炎と MTX-LPD を合併した RA の一例. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜
9. 笹井恒雄, 長野広之, 石丸裕康, 八田和大: 当院における維持透析患者の関節リウマチ症例に対する生物学的製剤の使用経験. 第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016.4.21-24, 横浜

◇その他の講演

1. 明保洋之, 田口智朗, 辻野絵美, 次橋幸男: ケースカンファレンス・グループワーク. 第4回「主治医力を磨くワークショップ」, 2016.6.18, 天理
2. 明保洋之, 岩崎 毅: Ruminococcus gnavus による慢性発熱. 佐久感染症セミナー, 2016.10.22, 佐久 (長野)
3. 明保洋之: Open ring を呈する脳内腫瘍性病変の鑑別. N4 カンファレンス, 2016.10.31, 奈良

◇院内集談会

1. 明保洋之, 相山佑樹: 肺エコー概論・ハンズオンセミナー. 第1回肺エコー勉強会, 2016.11.26, 西棟4階会議室
2. 明保洋之, 相山佑樹: 肺エコー概論・ハンズオンセミナー, 第2回肺エコー勉強会, 2017.2.4, 西棟4階会議室

(凡例) 1 = 耳鼻咽喉科たかきたクリニック, 2 = 東京医療センター, 3 = 江別市立病院, 4 = 北海道大学大学院医学研究科, 5 = 富山大学附属病院, 6 = 神戸市立医

## 救急診療部

### ◇その他の講演

1. 次橋幸男：救急業務に関する研究のすすめ。平成28年度第2回奈良県広域消防組合救急業務研修会，2016.12.7，天理

## リハビリセンター

### ◇学 会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 後藤総介，近藤博和，岡本 敦，市川桂子，北川実美，川邊晴樹，田巻庸道，山中一郎，中川義久：心疾患患者において最高酸素摂取量に影響する身体機能および能力指標の検討。日本心臓リハビリテーション学会，2016.7.16-17，東京
2. 市川桂子，後藤総介，山中一郎，中川義久，田村俊寛，田巻庸道，近藤博和：大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術と径カテーテル大動脈弁留置術の術前後の身体機能に関する検討。第20回日本心不全学会学術集会，2016.10.7-9，札幌
3. 田中 良：リハビリテーションで常食摂取が可能となった特発性輪状咽頭嚥下困難症の一例。第40回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，2017.2.24-25，東京

一般演題 (ポスター)

4. 鹿尾大喜，後藤総介，岡本 敦，奥中桂子，田巻庸道，近藤博和：心大血管術後リハビリテーションにおける遅延因子の検討。第2回日本心臓リハビリテーション学会近畿地方会，2017.2.25，大阪

### ◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 田中 良：リハビリテーションの経過中に常食摂取が可能となった特発性輪状咽頭嚥下困難症の一例。奈良県言語聴覚士会第12回症例検討会，2016.12.4，奈良

### ◇その他の講演

1. 池上健太郎：フィジカルアセスメント。奈良新人研修システム「呼吸器リハビリテーションコース」，2016.6.1，広陵町 (奈良)
2. 市川桂子：急性期の呼吸・循環器理学療法の実際。奈良新人研修システム「呼吸器リハビリテーションコース」，2016.6.8，広陵町 (奈良)
3. 後藤総介：心臓リハビリテーションの実際。奈良新人研修システム「循環器リハビリテーションコース」，2016.8.24，奈良

4. 村上康朗：攻める理学療法を求めて ～13年間の臨床を振り返る～. 平成28年度就進会理学療法分科会勉強会, 2017.2.11, 神戸
5. 岡本 敦：天理よろづ病院リハビリセンターの現状報告. 感染防止対策連携病院合同カンファレンス, 2017.2.22, 天理

◇院内集談会

1. 大西 悠：関節可動域, 廃用症候群の予防. 2016看護研修ステージⅡ, 2016.4.9, 南病棟リハビリ室
2. 田中 良：摂食嚥下のリハビリテーション. NST 活動報告会, 2016.7.22, 外来診療棟 5 階講堂
3. 後藤総介：運動と呼吸・循環との関係 ―運動を正しく理解するために―. 院内看護師勉強会, 2016.9.29, 外来診療棟リハビリテーション室
4. 市川桂子：安全な起き上がり・移乗を行うために. 入院生活支援チーム第 8 回転倒転落予防強化月間, 2016.10.19, 外来診療棟 5 階講堂
5. 西田勝治：超音波画像による多裂筋の筋厚測定の信頼性. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
6. 田中 良：リハビリテーションの経過中に常食摂取が可能となった特発性輪状咽頭嚥下困難症の一例. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
7. 新井麻里：代償的アプローチで実用的な箸操作を獲得できた続発性抗リン脂質抗体症候群の一症例. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
8. 村上康朗：当院における SCU 入室患者のリハビリテーション実施状況と白川分院転院患者の状況. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
9. 石見里帆：入退院を繰り返す慢性心不全患者に対する動作指導. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
10. 大西 悠：創傷治癒遅延患者において, 座圧測定を用いたシーティングが有効であった一例. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
11. 後藤総介：開胸術後のリハビリテーション遅延因子の検討. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
12. 市川桂子：インシデント報告紹介. 入院生活支援チーム第 8 回転倒転落予防強化月間・平成27年度報告会, 2016.10.27, 外来診療棟 5 階講堂
13. 村上康朗：脳卒中に対する急性期リハビリテーション. SCU 勉強会, 2016.10.27, 外来診療棟カンファレンス室
14. 有賀理恵子：多職種連携にてバルーン訓練法と間歇的食道経管栄養法を実施し, 経口摂取に至ったワレンベルグ症候群の若年症例. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.11.4, 外来診療棟 5 階講堂
15. 大西美江：限られた入院期間の中で他職種が連携した取り組みにより, 在宅退院になった慢性 GVHD の一症例. 天理よろづリハビリテーション研究会, 2016.11.4, 外来診療棟 5 階講堂

16. 岡本 敦：急性期リハビリの取り扱い説明書。天理よろづりハビリテーション研究会，2016.11.4，外来診療棟5階講堂
17. 後藤総介：腰痛のバイオメカニクスと予防。天理よろづクリパソ会，2016.12.20，外来診療棟5階講堂

#### ◇一般向け

(講演)

1. 村上康朗：転倒予防の話 ～体操の実践～。高齢者いい歯のコンクール，2015.10.1，奈良

## 緩和ケアセンター

#### ◇研究会

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

1. 久須美房子：緩和ケアチームにおける対人援助論の必要性。対人援助研究所前期末発表，2016.8.6，京都
2. 久須美房子：食べることと緩和ケア。奈良県 TCS 研究会，2016.11.11，奈良
3. 久須美房子：食べることとスピリチュアルペイン。対人援助研究所後期末発表，2017.1.28，京都

#### ◇その他の講演

1. 久須美房子：がん性疼痛事例検討。第48回まほろば PEACE。緩和ケア研修会，2016.5.28，奈良
2. 久須美房子：消化器症状。第49回まほろば PEACE 緩和ケア研修会，2016.8.7，生駒 (奈良)
3. 久須美房子：緩和ケア概論。第50回まほろば PEACE 緩和ケア研修会，2016.9.2，天理
4. 久須美房子：つらさの包括的評価と症状緩和。第50回まほろば PEACE 緩和ケア研修会，2016.9.2，天理
5. 久須美房子：がん性疼痛事例検討。第51回まほろば PEACE 緩和ケア研修会，2016.10.1，大和高田 (奈良)
6. 久須美房子：消化器症状。第53回まほろば PEACE 緩和ケア研修会，2016.12.11，桜井 (奈良)

#### ◇院内集談会

1. 久須美房子，松尾理代：頻回のナースコールが意味するもの ～ALS 患者さんとのコミュニケーションを通して～。第69回疼痛等緩和ケア対策チーム症例検討会，2016.6.20，外来診療棟5階中会議室
2. 久須美房子：緩和ケアのきほん。レジデント講義，2016.8.22，西病棟画像カンファレンスルーム 1

3. 久須美房子：緩和ケアのきほん。リハビリセンター勉強会，2016.10.11，外来診療棟5階カンファレンス室
4. 久須美房子，松尾理代：がん終末期にある患者さんの意志決定を支える ～患者・家族のそれぞれの思いをつないだ療養の場の選択支援。第70回疼痛等緩和ケア対策チーム症例検討会，2016.10.17，外来診療棟5階中会議室
5. 久須美房子，松尾理代：みんなで呼吸パニックを乗り越える。第71回疼痛等緩和ケア対策チーム症例検討会，2016.11.17，外来診療棟5階中会議室

◇一般向け

(講演)

1. 久須美房子：痛みに寄り添う。憩の家講座，2016.11.26，本館7階講堂

## 薬 剤 部

◇書籍

1. 奥野智之：注射剤調剤，薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト，pp44-53，日本病院薬剤師会近畿ブロック／日本薬剤師会大阪・近畿ブロック 編集，じほう(東京)，2016

◇学術雑誌

(欧文)

1. Miyazaki S<sup>1</sup>, Ikenishi M, Sakurai<sup>2</sup> M, Ueda M, Matsuyama<sup>3</sup> K, Nakatsuka E, Sawada Y<sup>1</sup>: Pharmacokinetic model analysis of interaction between phenytoin and capecitabine, *International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics* 2016 ; 54(9) : 657-665.
2. Ikenishi M, Tsukazaki H<sup>4</sup>, Takeuchi M<sup>5</sup>, Matsuda T<sup>6</sup>, Matsuyama K<sup>3</sup>, Sawada Y<sup>1</sup>, Ueda M: Fluoropyrimidines S-1 and capecitabine may prolong international normalized ratios of prothrombin time by 3-fold in cancer patients receiving warfarin, *Japanese Journal of Drug Informatics* 2016 ; 18(3) : 172-178.

(邦文)

3. 樽野麻依：優秀論文（大日本住友製薬賞）を受賞して「間質性肺炎患者に対するシクロスポリンA 1日1回投与方法における治療薬物モニタリングに関する検討」，*TDM研究* 2016 ; 33 (4) : 191-194.

◇学会

(国内学会)

一般演題(口演)

1. 雪矢良輔，奥田佳子，梶田貴司，奥野智之，上田睦明，石丸裕康，八田和大：関節リウマチ外来におけるリウマチ登録薬剤師の活動。第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2017.2.26，大阪

一般演題（ポスター）

2. 中島亜梨沙, 西川彩菜, 梶田貴司, 奥野智之, 上田睦明, 市川桂子, 後藤総介, 山中一郎, 田巻庸道, 近藤博和, 中川義久: 外来患者を対象とした心臓病教室における薬剤師の活動とその評価. 第26回日本医療薬学会年会, 2016.9.18, 京都
3. 黒松 誠, 梶田貴司, 山下加那子, 岩佐彩花, 足立達哉, 上田睦明: 多発性骨髄腫患者におけるポマリドミド・デキサメタゾン療法の有害事象発現状況についての調査. 第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2017.2.26, 大阪

◇院内集談会

1. 金松 誠: 消毒薬の適正使用. 感染対策講習会, 2016.11.18, 外来診療棟5階講堂
2. 上田睦明: 医薬品の適正使用. 医療安全講習会, 2017.3.3, 外来診療棟5階講堂

(凡例) 1 = 東京大学大学院薬学系研究科, 2 = 兵庫県立尼崎病院, 3 = 近畿大学薬学部, 4 = 済生会千里病院, 5 = 大阪市立総合医療センター, 6 = 東京労災病院

## 看 護 部

◇学術雑誌

(邦文)

1. 丹生淳子, 橋本裕子, 草場直子, 横山しのぶ: A病院の臨床看護研究における倫理審査についての研究者の考え, 日本看護学会論文集: 看護管理 2016; 46: 32-37.
2. 河合のり子, 横山しのぶ: 植本洋美退院調整看護分野における院内認定制度研修プログラムの有効性, 日本看護学会論文集: 看護管理 2016; 46: 131-134.
3. 高橋理子, 丹生淳子: 急性期病棟における看護師と介護福祉士の情報共有, 連携に関する課題 — 介護福祉士の視点から, 看護実践の科学 2016; 41 (9): 175-178.
4. 河野しづゑ, 石本真治, 泉 知里, 松倉富人<sup>1</sup>: 消防学校学生に対する教材を活用した産科救急講義の取り組み, プレホスピタルケア 2016; 29 (4): 19-22.
5. 河野しづゑ, 下平美代子, 中島壽恵, 下村陽子, 井上知子, 片岡美喜枝, 池嶋三賀: 治療・検査に伴う動線の問題解決 ~患者の安全と業務の合理化を目指す~, 主任看護師管理・教育・業務 2016; 25 (5): 70-76.
6. 岸 秀子, 田中英行, 玉井定子, 福田奈津子: グループで問題解決! 見せます! 主任が行う現場課題の改善プロセス (第2回) 部署間の情報共有の問題解決 病棟看護師と外来看護師の間で顔が見える関係性を構築する, 主任看護師 管理・教育・業務 2016; 25 (6): 100-104.
7. 正田世津子, 田口千里, 白井千春, 谷村千鶴: 看護ケアの標準化に向けた問題解決 ~手術後ケア・アンギオ検査後ケアの見直しから見えたもの, 主任看護師 管理・教育・業務 2016; 26 (1): 112-116.
8. 森 珠恵, 西田まゆみ, 小笠原芳恵, 下村大樹, 南 睦, 古家美幸, 中村文彦: 新鮮

凍結血漿の簡便な融解方法およびその看護師研修, 日本輸血細胞治療学会誌 2017; 63  
(1) : 15-22.

9. 平田研人: 現場に出る前にセクシュアリティの視点の確立を, 看護教育 2017; 58  
(3) : 184-189.

#### ◇学会

(国内学会)

一般演題 (口演)

1. 河合のり子, 横山しのぶ, 阪井眞利子: 急性期病院の退院調整看護の質保証 ~実践力向上をめざした院内認定制度研修2年目の比較~. 第20回日本看護管理学会学術集会, 2016.8.20, 横浜
2. 丹生淳子: ALS患者・家族の意思決定に関する外来での看護介入. 第21回日本難病看護学会学術集会, 2016.8.27, 当別町 (北海道)
3. 坂本厚子, 下村陽子, 奥村紀子, 金子嘉志, 西岡典枝: 透析困難症を理由に腹膜透析へ移行した1例. 第22回日本腹膜透析医学会, 2016.9.24, 札幌
4. 桐田みさえ, 岡田三枝: 一般病棟の看護師が抱える肺がん患者の看護に関する困難感と学習ニーズ, 第47回日本看護学会学術集会: 慢性期看護, 2016.11.11, 鳥取 (米子)
5. 成川郁恵, 丹生淳子, 正田世津子: 卒中急性期リハビリテーション看護に関する看護師のとらえ方. 平成28年奈良県看護研究学会, 2016.11.29, 橿原 (奈良)
6. 河合のり子, 轟井智佳子: 急性期病院から地域につながる看護を考える —在宅ターミナルケアの理解を深める合同研修会を企画して. 日本医療マネジメント学会第11回奈良支部学術集会, 2017.1.30, 橿原 (奈良)
7. 松田圭以子, 西岡典枝, 大成明日香, PD患者交流会の家族支援への有用性と今後の課題. 第41回奈良県透析学術総会, 2017.2.5, 奈良
8. 坂本厚子, 下村陽子, 奥村紀子, 金子嘉志: PD移行により Restless legs 症候群が軽快した1例. 第41回奈良透析学術総会, 2017.2.5, 奈良
9. 河合のり子, 辻田英樹, 奥村紀子, 金子嘉志: 腎代替療法と地域包括システムに関する研究 —腹膜透析患者の支援体制構築に向けた意識調査. 第41回奈良透析学術総会, 2017.2.5, 奈良

一般演題 (ポスター)

10. 河野しづゑ, 石本真治, 泉 知里, 松倉富人: 消防学校学生に対する教材を活用した産科救急講義の取組み. 第19回日本臨床救急医学学会学術集会, 2016.5.14, 郡山 (福島)
11. 田代彩乃, 吉田真悠, 千田里奈, 小野ひとみ: アブレーションを受ける患者の不安軽減の援助 —術前訪問を振り返る. 第63回日本不整脈心電学会学術大会, 2016.7.15, 札幌
12. 梅本旬男, 丹生淳子, 上田裕之, 平川綾乃, 河合晃子, 杉山倫子, 長島育子, 林田喜世, 後藤総介, 市川桂子, 岡本 敦, 川邊晴樹, 北川実美, 林口剛泰, 中島亜梨沙, 清水春江, 松好裕子, 多曾田邦江, 田巻庸道, 近藤博和, 山中一朗, 中川義久: 心大血管疾患術後患者が外来心臓リハビリテーションに移行できない要因の検討. 第22回日本心臓リ

ハビリテーション学会学術集会, 2016.7.16, 東京

13. 吉田真悠, 田代彩乃, 千田里奈, 小野ひとみ: 心房細動アブレーション治療後の沈静遷延例の検出. 第63回不整脈心電図学会学術大会, 2016.7.17, 札幌
14. 平田研人: 男性看護師が抱くモヤモヤの解消に向けたグループワークの効果. 第20回日本看護管理学会学術集会, 2016.8.19, 横浜
15. 西岡典枝: PD ネットワーク構築に向けての周辺施設・訪問看護ステーションへの取り組み ―セミナー参加者アンケート調査による評価. 第22回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2016.9.24, 札幌
16. 松田圭以子, 斉藤夕紀, 西岡典枝, 大成明香: PD 患者交流会が家族支援に役立つ内容であったか ―アンケート調査による評価―. 第22回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2016.9.25, 札幌
17. 生江優衣, 若林侑子, 多曾田邦江, 丹生淳子: 心不全とともに生きる患者と家族に対するエンド・オブライフケアを考える ―意思決定支援における看護師の関わりを振り返って. 第13回日本循環器看護学会学術集会, 2016.10.22, 仙台 (宮城)
18. 山中里美, 若林侑子, 多曾田邦江, 丹生淳子: 慢性心不全患者の望むエンド・オブ・ライフを支えるための看護師の関わり ―入退院を繰り返す患者とその患者を取り巻く家族との関りを通して. 第13回日本循環器看護学会学術集会, 2016.10.23, 仙台 (宮城)
19. 下野和恵, 米田あけみ, 大西良子, 丹生淳子: 禁煙治療を終了した成功者と不成功者が感じた禁煙効果の違い ―退院時の禁煙効果チェックリストの分析. 第11回日本禁煙科学学会学術集会, 2016.10.30, 京都
20. 石本真治: 奈良県災害支援ナースの現状漢 ―熊本地震における災害支援ナースの支援活動から見えた現状と課題―. 日本医療マネジメント学会第11回奈良支部学術集会, 2017.1.30, 橿原 (奈良)

#### ◇研究会

特別講演・教育講演

1. 丹生淳子: 入退院を繰り返す慢性心不全患者の活動調整在宅支援者との連携. 第5回奈良心臓リハビリテーションカンファレンス, 2016.6.18, 天理
  2. 古家さやか: 各施設で困っていること, Q & A (小児喘息). 第8回近畿アレルギーケア研究会, 2016.9.24, 大阪
  3. 丹生淳子: 慢性心不全患者の終末期ケア. 第16回先天性心疾患心理研究会, 2016.11.19, 天理
- 一般演題 (口演)
4. 丹生淳子: 慢性心不全患者の在宅支援者との連携. 第5回奈良心臓リハビリテーションカンファレンス, 2016.6.18, 天理
  5. 釣井美里, 下村陽子, 奥村紀子, 金子嘉志: PD 離脱を回避するための看護師が担える試み. 第25回奈良県医師会透析部会 PD 分科会, 2016.9.3, 橿原 (奈良)

#### ◇その他の講演

1. 西岡典枝: 1. 腹膜透析導入期看護 2. PD ネットワーク構築に向けての看護師長として



- の取り組み。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.4.28，天理
2. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.4.28，天理
  3. 西岡典枝：腹膜透析看護の実際。腹膜透析訪問看護セミナー，2016.4.9，田原本(奈良)
  4. 西岡典枝：1. 腹膜透析導入期看護 2. PD ネットワーク構築に向けての看護師長としての取り組み。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.5.26，天理
  5. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.5.26，天理
  6. 西岡典枝：1. 腹膜透析導入期看護 2. PD ネットワーク構築に向けての看護師長としての取り組み。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.6.23，天理
  7. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.6.23，天理
  8. 西岡典枝：CAPD 基礎講座 CAPD 看護の実際。テルモ腎不全看護セミナー CAPD 基礎講座，2016.6.26，大阪
  9. 池嶋三賀：がん性疼痛のケア，がん症状マネジメント，がん患者のセルフケア。奈良県看護協会中堅看護職員スキルアップ研修「がん看護」，2016.7.11，橿原（奈良）
  10. 松尾理代：緩和ケアの概要，がん患者の在宅療養への支援 ～一般病棟から在宅へ～。奈良県看護協会中堅看護職員スキルアップ研修「がん看護」，2016.7.11，橿原（奈良）
  11. 西岡典枝：1. 腹膜透析導入期看護 2. PD ネットワーク構築に向けての看護師長としての取り組み。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.7.28，天理
  12. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.7.28，天理
  13. 西岡典枝：1. 腹膜透析導入期看護 2. PD ネットワーク構築に向けての看護師長としての取り組み。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.8.25，天理
  14. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.8.25，天理
  15. 柏田真由：看護経営者論。2016年度大阪府看護協会認定看護管理者教育課程サードレベル，2016.8.26，大阪
  16. 松尾理代：がん診療に携わる医師のための緩和ケア。第50回まほろば PEACE 全てのがん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会，2016.9.3，天理
  17. 水嶋親美：がん診療に携わる医師のための緩和ケア。第50回まほろば PEACE 全てのがん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会，2016.9.3，天理
  18. 池嶋三賀：がん診療に携わる医師のための緩和ケア。第50回まほろば PEACE 全てのがん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会，2016.9.3，天理
  19. 松村尚子：がん診療に携わる医師のための緩和ケア。第50回まほろば PEACE 全てのがん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会，2016.9.3，天理
  20. 水嶋親美：ファシリテーター。第50回まほろばピース 緩和ケア研修会，2016.9.3，天理
  21. 松尾理代：がんの痛みの症状マネジメント。平成28年度奈良県看護連盟第2区・第2区天理支部合同研修会，2016.10.11，天理
  22. 西岡典枝：1. 腹膜透析導入期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.10.27，天理
  23. 大成明香：PD 維持期看護。日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.10.27，天理

24. 水嶋親美：がん治療と看護：がんの病態とがん治療，がん化学療法看護．憩エキスパートナースがん看護分野平成28年度第1回院外公開講座，2016.11.5，天理
25. 池嶋三賀：症状マネジメント：がん性疼痛看護．憩エキスパートナースがん看護分野平成28年度第1回院外公開講座，2016.11.5，天理
26. 松尾理代：がんの痛みと緩和ケア．平成28年度がん診療連携拠点病院事業，2016.11.16，天理
27. 西岡典枝：CAPD 導入期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.11.24.天理
28. 大成明香：PD 維持期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.11.24，天理
29. 喜多まり：①褥瘡ケア ②ストーマケア．H28年度看護職復職支援研修，2016.12.6，橿原
30. 河野しづゑ：周産期救急医療について．平成28年度第2回奈良県広域消防組合業務研修会，2016.12.7，天理
31. 石本真治：災害支援ナースの活動について．奈良県看護協会災害看護スキルアップ研修，2016.12.9，橿原
32. 石本真治：一次救命処置技術について．日本救急医学会認定 ICLS コース天理よろづ相談所病院二次救命処置講習会，2016.12.18，天理
33. 西岡典枝：CAPD 導入期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.12.22，天理
34. 大成明香：PD 維持期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2016.12.22，天理
35. 西岡典枝：CAPD 導入期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2017.1.26，天理
36. 大成明香：PD 維持期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2017.1.26，天理
37. 松村尚子：がん治療と看護：がん放射線療法看護．憩エキスパートナースがん看護分野平成28年度第2回院外公開講座，2017.1.28，天理
38. 池嶋三賀：症状マネジメント：気持ちのつらさ・不眠・せん妄．憩エキスパートナースがん看護分野平成28年度第2回院外公開講座，2017.1.28天理
39. 松尾理代：がん患者の倦怠感・呼吸器・消化器症状マネジメントの実際とケアの具体策．日総研グループ公開セミナー，2017.2.11，大阪
40. 西岡典枝：CAPD 導入期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2017.2.23，天理
41. 大成明香：PD 維持期看護．日本腹膜透析医学会 CAPD 教育研修，2017.2.23，天理
42. 石本真治：一次救命処置・モニター除細動について．日本救急医学会認定 ICLS コース大和高田市立病院二次救命処置講習会，2017.2.25，大和高田（奈良）
43. 青山弘子：患者とのコミュニケーション 経験から学んだこと伝えたいこと．平成28年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会，2017.3.4，天理
44. 田中英行：小児の事故予防．第14回なら小児看護研究会，2017.3.4，天理
45. 水谷元樹：「かしこく」育とう・育てられよう，男性看護師！．第3回全国男性看護師交流集会，2017.3.4，名古屋

◇院内集談会発表

1. 井岡洋子，堀井有紗，谷村千鶴，浅野美和子，河野しづゑ，横山しのぶ：助産師キャリア

アサポート委員会の立ち上げの成果と今後の課題。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂

2. 中村富美，今井友理，飯田さやか，吉田道子，渡辺奈保子，野本寿子，次橋幸男，中村義徳：仙骨部褥瘡を保有する在宅療養患者の栄養管理 ～経腸栄養中，嘔吐を繰り返す患者の関わり～。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂
3. 坂本厚子，速水きよの，西岡典枝，奥村紀子，金子嘉志：透析導入時よりPD+HD併用療法を施行したダウン症患者の1例。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂
4. 明道 薫：長期に化学療法を受ける患者の外見変化への支援 ～セルフケア支援の大切さを見直す～。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂
5. 杉山朋子：慢性心不全患者・家族の関わり。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂
6. 安藤理裕，富島大地，小野ひとみ：TAVI治療に関するチーム活動の現状と今後の課題～TAVIに関する業務改善を経て。平成28年度第1回憩の家看護発表会，2016.7.1，外来診療棟5階講堂
7. 平田研人：男性看護師が抱くモヤモヤの解消に向けたグループワークの効果。平成28年度第2回憩の家看護発表会，2016.10.14，外来診療棟5階中会議室
8. 丹生淳子，安仲 恵，喜多まり：当院の看護外来での実践について。平成28年度第2回憩の家看護発表会，2016.10.14，外来診療棟5階中会議室
9. 梅本旬男，丹生淳子，上田裕之，平川綾乃，河合晃子，杉山倫子，長島育子，林田喜世，後藤総介，市川桂子，岡本 敦，川邊晴樹，北川実美，林口剛泰，中島亜梨沙，清水春江，松好裕子，多曾田邦江，田巻庸道，近藤博和，山中一朗，中川義久：心大血管疾患術後患者が外来心臓リハビリテーションに移行できない要因の検討。平成28年度第2回憩の家看護発表会，2016.10.14，外来診療棟5階中会議室
10. 河合のり子，横山しのぶ，阪井眞利子：急性期病院の退院調整看護の質保証 ～実践力向上をめざした院内認定制度研修2年目の比較～。平成28年度第2回憩の家看護発表会，2016.10.14，外来診療棟5階中会議室
11. 岡 千尋：初めて心臓カテーテル検査・治療を受ける患者への看護 ―不安を軽減されるための関わり。第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
12. 吉田真悠：心房アブレーション後の沈静遷延の検出。第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
13. 富嶋大地：Door to Balloon Time 達成に向けてのメディカルスタッフの動き。第51回放射線部研究発表会，2017.1.19，外来診療棟5階講堂
14. 嶋本有加里：抑制中の身体的苦痛を軽減するために ―抑制具の体験で感じたことから―。平成28年度第3回憩の家看護発表会，2017.2.24，外来診療棟5階講堂
15. 中井晴佳：脳炎意識障害に陥った成人期患者 ―その終末期における家族看護―。平成28年度第3回憩の家看護発表会，2017.2.24，外来診療棟5階講堂
16. 高山翔平：癌ターミナル期患者家族への関わり，平成28年度第3回憩の家看護発表会，

2017.2.24, 外来診療棟5階講堂

17. 佐治小春：4点支持台を使用した腹臥位手術での褥瘡予防について考える ―女性の胸部に注目して。平成28年度第3回憩の家看護発表会，2017.2.24，外来診療棟5階講堂

(凡例) 1 = 奈良県消防学校

## 栄 養 部

### ◇研 究 会

一般演題 (口演)

1. 村上麻智, 南本直子, 森川久恵, 福原真美, 辻井 悟：消化器外科患者の実態調査を通して ―管理栄養士の今後の方向性について―. 第20回関西栄養管理技術研究会, 2016.10.29, 大阪

### ◇一 般 向 け

(口 演)

1. 森川久恵：食事療法を楽しむ方法 ～患者さんから学ぶコツ～. 天理市民公開講座, 2016.8.7, 天理 (奈良)

## 地域医療連携室

### ◇学 術 雑 誌

(邦 文)

1. 次橋幸男：天理地区における在宅医療導入プロセスの見える化，日本医療マネジメント学会雑誌 2017；17：92－196.

### ◇その他の講演

1. 次橋幸男：医療・他職種との効果的な連携法. 平成28年度奈良県介護支援専門員協会スキルアップ研修会, 2017.2.5, 天理

## 医 学 研 究 所

### ◇学 術 雑 誌

(欧 文)

1. Hayashida M, Daibata M<sup>1</sup>, Maekawa F, Takeoka K, Fukutsuka K, Hayashi T<sup>2</sup>, Ohno H: Establishment and characterization of a novel Hodgkin lymphoma cell line, AM-HLH, carrying the Epstein-Barr virus genome integrated into the host

chromosome, Hematological Oncology 2016 ; doi : 10.1002/hon. 2369.

(邦 文)

2. 林田雅彦, 永井直治, 津田勝代, 岸森千幸, 和泉清隆, 大野仁嗣: MYC-BCL2 double-hit リンパ腫症例の細胞形態と免疫形質, Cytometry Research 2016 ; 26 ( 1 ) : 37-44.
3. 林田雅彦: 【検査室で活用されるフローサイトメトリー】 3. 各検査領域におけるフローサイトメトリーの活用 2) 骨髄検査 ②悪性リンパ腫, Medical Technology 2016 ; 44 ( 7 ) : 725-733.
4. 林田雅彦: 臨床検査における好塩基球, 臨床検査 2016 ; 60 ( 8 ) : 810-818.
5. 大林 準: ロジスティック回帰分析と傾向スコア (propensity score) 解析, 天理医学紀要 2016 ; 19 ( 2 ) : 71-79.
6. 福塚勝弘, 林田雅彦, 中村文彦, 大野仁嗣: 造血器腫瘍関連の PCR 測定の標準化 — 新たに保険適用になった Major BCR-ABL mRNA IS がもたらしたもの —, 日本染色体遺伝子検査学会雑誌 2016 ; 34 ( 1 ) : 19-21.
7. 大蘆裕子<sup>3</sup>, 福塚勝弘: 本態性血小板血症における MPL W 515 L/K 遺伝子変異検出法の比較検討, 天理医学紀要 2016 ; 19 ( 1 ) : 51-57.

#### ◇学 会

(国内学会)

特別講演・教育講演

1. 林田雅彦: マルチカラーサイトメーターを用いた悪性リンパ腫の解析. 第61回日本臨床検査医学会近畿支部例会, 2016.11.12, 大阪

特別企画 (シンポジウム・パネルディスカッション)

2. 林田雅彦, 津田勝代, 岸森千幸, 大野仁嗣, 橋本成修: 自己免疫疾患に対する副腎皮質ステロイド剤投与後に出現した CD10陽性成熟 B 細胞の解析. 第26回日本サイトメトリー学会学術集会, 2016.7.24, 福岡
3. 林田雅彦: 「急性白血病の診断・治療における臨床検査の役割」フローサイトメトリー—マルチカラー解析の応用—. 第65回日本医学検査学会学術集会, 2016.9.3, 神戸
4. 林田雅彦: 臨床検査におけるフローサイトメトリーの活用と可能性. 第29回日本臨床化学学会近畿支部総会, 2017.2.26, 天理

一般演題 (口演)

5. 福塚勝弘, 前川ふみよ, 竹岡加陽, 林田雅彦, 大野仁嗣: 骨髄増殖性腫瘍における JAK 2, MPL, CALR 遺伝子変異の当院での検出状況と検査の進め方. 第34回日本染色体遺伝子検査学会, 2016.11.19, 静岡

一般演題 (ポスター)

6. 林田雅彦, 竹岡加陽, 福塚勝弘, 大野仁嗣, 林 孝昌<sup>4</sup>, 田上恵里香<sup>1</sup>, 大畑雅典<sup>1</sup>: EB ウイルスゲノムが染色体にインテグレートされたホジキンリンパ腫細胞株 AM-HLH の樹立. 第56回日本リンパ網内系学会総会, 2016.9.3, 熊本

## ◇研究会

### 特別講演・教育講演

1. 林田雅彦：マルチカラーサイトメーターを用いたリンパ球系腫瘍の解析。奈良県臨床検査技師会 血液・遺伝子染色体検査分野合同研修会，2016.12.10，橿原（奈良）

### 一般演題（口演）

2. 福塚勝弘：t(16;16)転座を認めたM4Eo症例。染色体遺伝子検査勉強会，2016.9.23，大阪
3. 林田雅彦：慢性リンパ性白血病とマンツル細胞リンパ腫のFCM解析。第6回ベックマンコールター関西FCMユーザー会，2016.10.15，豊中（大阪）
4. 福塚勝弘：血液疾患診断における染色体・FISH・遺伝子検査の実際。染色体遺伝子検査勉強会，2017.3.24，大阪

## ◇その他の講演

1. 福塚勝弘：CALR, MPL 遺伝子変異の解析。第23回臨床細胞遺伝学セミナー，2016.8.20，東京
2. 林田雅彦：サイトメトリー技術者として「独り立ち」のために DNA-ploidy 検査およびマルチカラー解析の利用について。第65回日本医学検査学会スキルアップセミナー，2016.9.2，神戸
3. 林田雅彦：平成28年度日本サイトメトリー技術者認定講習会。マルチカラーサイトメーターを用いた悪性リンパ腫の解析，2016.11.12，枚方（大阪）
4. 福塚勝弘：血液疾患における遺伝子検査のデータの見方・考え方。平成28年度日臨技近畿支部血液研修会，2017.2.4，大阪
5. 福塚勝弘：血液疾患診断における染色体・FISH・遺伝子検査の実際。シーメンス東北ヘマトロジーセミナー，2017.3.18，盛岡（岩手）

## ◇院内集談会

1. 大林 準：医療統計学初級講座 統計手法の選び方。くりばそ学術勉強会，2017.2.21，外来診療棟5階講堂

（凡例） 1 = 高知大学医学部， 2 = 兵庫県立尼崎総合医療センター， 3 = 天理医療大学医療学部臨床検査学科， 4 = 兵庫県立尼崎病院血液内科，

## 在宅世話どりセンター

## ◇研究会

### 特別講演・教育講演

1. 中村義徳：地域連携の重要性と今後の展開 ～在宅でも施設でも病院でも，やる・できる・つながる 褥瘡創傷ケア～。第24回道南創傷治癒研究会，2016.9.10，函館（北海道）

#### ◇その他の講演

1. 中村義徳：床ずれ予防のためのいくつかのコツ．同志社女子大薬学部学生卒業前講義，2016.4.14，天理
2. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会北海道地区床ずれセミナー，2016.6.25，札幌
3. 中村義徳：在宅でも施設でも病院でも，やる・できる・つながる褥瘡創傷ケア，宇陀在宅褥瘡創傷ケアセミナー，2016.7.10，宇陀（奈良）
4. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会東北地区床ずれセミナー，2016.8.6，青森
5. 中村義徳：こうすれば，在宅褥瘡治療は上手くいく ～易しい床ずれケアの考え方～．天理地区病診連携講演会，2016.8.27，天理
6. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会近畿地区床ずれセミナー，2016.9.24，彦根（滋賀）
7. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会九州地区床ずれセミナー，2016.10.15，福岡
8. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会中部北陸地区床ずれセミナー，2016.10.23，浜松（静岡）
9. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会関東甲信越地区床ずれセミナー，2016.11.12，前橋（群馬）
10. 中村義徳：在宅医療における地域連携の推進 ～在宅でも施設でも病院でも，やる・できる・つながる褥瘡創傷ケア～．第10回奈良県在宅褥瘡ケアセミナー，2016.11.20，天理
11. 中村義徳：こうすれば床ずれケアは上手くいく ～在宅でも，施設でも，病院でも．2016年度日本褥瘡学会在宅褥瘡創傷ケア推進協会中国四国地区床ずれセミナー，2016.11.26，岡山
12. 中村義徳：楽しく易しい床ずれ予防と治療のためのコツ．宇陀在宅医療を推進する会セミナー，2017.2.1，宇陀（奈良）

#### ◇院内集談会

1. 中村義徳：事例から学ぶ褥瘡ケア．奈良天理多職種ネットワーク，2016.11.9，白川分院
2. 中村義徳：症例検討 ～傷を見て何を思うか．奈良天理多職種ネットワーク，2017.1.18，白川分院

## 白川分院

### ◇書籍

#### 【内科】

1. 橋本修治：アナログ／デジタル（A/D）変換と加算平均法，ここが知りたい！臨床神経生理，pp85－87，飛松省三 編集，中外医学社（東京），2016
2. 橋本修治：近接電場電位と遠隔電場電位．ここが知りたい！臨床神経生理，pp88－90，飛松省三 編集，中外医学社（東京），2016

#### 【薬剤部】

3. 生島繁樹：第4章 脂溶性ビタミンのはたらき ビタミンE，ビタミンK，イラスト図鑑の決定版！ 消化・吸収・代謝のしくみと栄養素のはたらき（Nutrition Care 2016年秋季増刊），pp120－127，山中英治 編集，メディカ出版（大阪）2016

### ◇学術雑誌

#### （邦文）

#### 【薬剤部】

1. 生島繁樹：奈良県病院薬剤師会平成28年度総会報告．週刊 薬事新報 2016；第2951号：20－21.
2. 生島繁樹：10月の顔．奈良県薬剤師会誌 寧楽 2016；第169号：4－5.

### ◇学会

#### （国内学会）

特別企画（シンポジウム・パネルディスカッション）

#### 【薬剤部】

1. 生島繁樹：シンポジウム 地域での褥瘡診療のレベルアップ「薬剤師として地域で展開している褥瘡診療の実際と地域の学習会に期待すること」．第18回日本褥瘡学会学術集会，2016.9.2，横浜

一般演題（口演）

#### 【リハビリテーション科】

2. 前岡伸吾：当院精神科病棟における転倒事故要因の調査 ～転倒と転倒転落アセスメントシートとの関連について～．第11回奈良県作業療法学会，2016.6.5，奈良
3. 後藤健一：回復期リハビリテーション病棟の転倒と認知機能評価の各項目との関連．第26回奈良県理学療法士学会，2016.6.19，奈良
4. 後藤健一：コブクロのコンサートに行きたい ～悪性脳腫瘍術後にコンサート鑑賞ができた一症例～．リハビリテーション・ケア合同研究大会2016茨木，2016.10.27，つくば（茨城）
5. 松村安希子：転移性脳腫瘍後，復職を諦めていた症例への関わり ～MTDLPの活用～．リハビリテーション・ケア合同研究大会2016茨木，2016.10.27，つくば（茨城）
6. 姫野百合香：生活行為向上マネジメントを用いたことで対象者の望む生活が可能となった例 ～家族との情報共有を経て～．回復期リハビリテーション病棟協会第28回研究大



会, 2017.2.10, 広島

一般演題 (ポスター)

【リハビリテーション科】

7. 田岡久嗣: 健常成人における BMI と車いす座位時における坐骨圧との関係性. 第18回日本褥瘡学会学術集会, 2016.9.2, 横浜
8. 鈴木拓真: 車椅子座位の褥瘡予防に座圧測定器を使用し体験・視覚要素を取り入れた家族指導について. 第18回日本褥瘡学会学術集会, 2016.9.2, 横浜
9. 伊藤泰裕: 病棟内での歩行自立の判断として, 歩行チェックシートを活用した症例. 回復期リハビリテーション病棟協会第28回研究大会, 2017.2.10, 広島

#### ◇研究会

特別講演・教育講演

【薬剤部】

1. 生島繁樹: 骨吸収抑制剤の作用機序と副作用. 平成28年度第3回奈良県歯科衛生士会研修会, 2016.10.2, 大和郡山 (奈良)
2. 生島繁樹: 褥瘡について. 奈良県民医連薬剤師研修会, 2017.3.4, 橿原 (奈良)

一般演題 (口演)

【看護部】

3. 金重 繁: 患者の生活の様子を描くイメージ図を用いた実習指導の効果 ~学生の気づく力を育てやすい指導方法を目指して~. 日本精神科看護協会奈良県支部研修, 2016.11.19, 橿原 (奈良)

#### ◇その他の講演

【内科】

1. 橋本修治: デジタル脳波計におけるフィルタ構成. 第10回脳波・筋電図セミナー, 2017.1.21, 京都
2. 橋本修治: 電気生理学の基礎 —活動電位と EPSP の発生機序—. 第10回脳波・筋電図セミナー, 2017.1.21, 京都

【薬剤部】

3. 生島繁樹: 糖尿病患者に寄り添うための療養指導 ~薬剤師の出来ること~, 糖尿病地域連携の会, 2016.7.9, 奈良
4. 生島繁樹: 褥瘡治療に対する薬剤師の関わり. 同志社女子大学講義, 2016.8.5, 天理
5. 生島繁樹: KJ 法. 第85回認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ (薬学教育者ワークショップ) in 近畿. 2017.2.11, 富田林 (大阪)

#### ◇院内集談会

【薬剤部】

1. 早見めぐみ: 内服薬の配合変化について ~簡易懸濁法~. 白川 A1 病棟看護師勉強会, 2016, 10.27, 白川 A-1 病棟
2. 生島繁樹: 褥瘡治療介入の実践 ~DESIGN-R~. 白川分院看護部教育勉強会, 2016.11.27, 白川分院 A 棟 3 階会議室

### 【リハビリテーション科】

3. 後藤健一：コブクロのコンサートに行きたい ～悪性脳しゅよう術後にコンサート観賞ができた一症例. 白川分院事例研究発表会, 2016.6.20, 白川分院 B 棟 3 階会議室
4. 鈴木拓真：車椅子座位の褥瘡予防に座圧測定器を使用し体験・視覚要素を取り入れた家族指導について. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
5. 姫野百合香：生活行為向上マネジメントを用いたことで対象者の望む生活が可能となった例 ～家族との情報共有を経て～. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
6. 伴 知成：TKA 術後の 1 症例 ～犬の散歩に必要な身体機能を求めて～. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
7. 松村安希子：転移性脳腫瘍後, 復職を諦めていた症例への関わり ～MTDLP の活用～. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
8. 吉村暢浩：誤嚥性肺炎による絶食状態から経口摂取が確立した症例. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.10.22, 外来診療棟 5 階講堂
9. 田岡久嗣：健常成人における BMI と車いす座位時における坐骨圧との関係性. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.11.4, 外来診療棟 5 階講堂
10. 伊藤泰裕：病棟内での歩行自立の判断として, 歩行チェックシートを活用した症例. 第13回天理よろづりハビリテーションセンター発表会, 2016.11.4, 外来診療棟 5 階講堂
11. 前岡伸吾：白川分院における転倒・転落に関する調査報告. 第13回天理よろづり相談所白川分院研究発表会, 2017.3.6, 白川分院 B 棟 3 階会議室

### 【看護部】

12. 東 真理：高次機能障害のある患者への援助と関わりについて. 看護部教育研修 ケーススタディー研修会, 2016.11.12, 外来診療棟 5 階会議室
13. 佐藤瑞紀：ケーススタディー「不安が強い患者の看護介入について考える ―快刺激を用いたコミュニケーションを行って考えたこと―」. 看護部教育研修 ケーススタディー研修会, 2016.11.12, 外来診療棟 5 階会議室
14. 永嶋隆盛：ケーススタディー「病識が乏しく, 認知機能の低下した患者へのセルフケア維持に向けた関わり」. 看護部教育研修 ケーススタディー研修会, 2016.11.12, 外来診療棟 5 階会議室
15. 岩藤順子：患者と家族に寄り添う退院支援・退院調整看護. 白川分院 教育委員勉強会, 2017.1.27, 白川分院 B 棟 3 階会議室
16. 金重 繁：患者の生活の様子を描くイメージ図を用いた実習指導の効果 ～学生の気づく力を育てやすい指導方法を目指して～. 第13回天理よろづり相談所白川分院研究発表会, 2017.3.6, 白川分院 B 棟 3 階会議室
17. 大宮春奈：ケーススタディー「慢性心不全をもつ後期高齢者のセルフケア獲得を目指して ～その人らしい1000ml～」. 第13回天理よろづり相談所白川分院研究発表会, 2017.3.6,

白川分院 B 棟 3 階会議室

18. 岡本典子：失語症患者の安全面への援助と生活行動の再獲得を支援した事例 ～回復期リハビリテーション病棟での看護過程を振り返る～. 第13回天理よろづ相談所白川分院研究発表会, 2017.3.6, 白川分院 B 棟 3 階会議室

◇一般向け

(雑誌・書籍)

【内科】

1. 西村 理：HIA (Head Injury Assessment) 始まる, 奈良ラグビー 2016 ; 31 : 19.

(講演)

【薬剤部】

2. 生島繁樹：潰瘍性大腸炎の薬物療法. 第7回 IBD 交流会, 2016.2.18, 天理  
3. 生島繁樹：クローン病の薬物療法と栄養療法の基礎知識. 第6回 IBD 交流会, 2016.7.23, 天理